

令和4年度  
南砺市総合計画市民意識調査  
調査報告書

令和4年9月  
南砺市

## 目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計と回収状況	1
3. 回答者の属性	1
II. 調査結果	5
III. 自由意見集計結果	60
1. 記入状況	60
2. 意見分類一覧	60
3. 意見詳細	61

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

この調査は、「第2次南砺市総合計画」におけるKPIの進捗状況などから施策の実行度合いや成果の把握の参考資料とすることを目的とする。

### 2. 調査設計と回収状況

#### (1) 調査の設計

調査対象者	南砺市在住の満18歳以上の方から2,500人
抽出方法	男女、年齢、地域に偏りがないよう無作為抽出
配布方法	郵送による配布
回収方法	郵送及びインターネット回答による回収
調査時期	令和4年

#### (2) 有効回答数と回収率

調査票発送数（人）	有効回答数（人）	回収率（%）
2,500	1,270	50.8

### 3. 回答者の属性

#### (1) 性別・年齢

(上段：人、下段：%)

	18～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	不明	合計
男性	7 0.6	42 3.3	50 3.9	88 6.9	90 7.1	79 6.2	84 6.6	127 10.0	0 0.0	567 44.6
女性	8 0.6	46 3.6	76 6.0	105 8.3	128 10.1	74 5.8	122 9.6	135 10.6	1 0.1	695 54.7
不明	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.2	1 0.1	4 0.3	8 0.6
全体	15 1.2	89 7.0	126 9.9	193 15.2	218 17.2	153 12.0	208 16.4	263 20.7	5 0.4	1,270 100.0

(2)家族

図1 家族構成 N=1,258

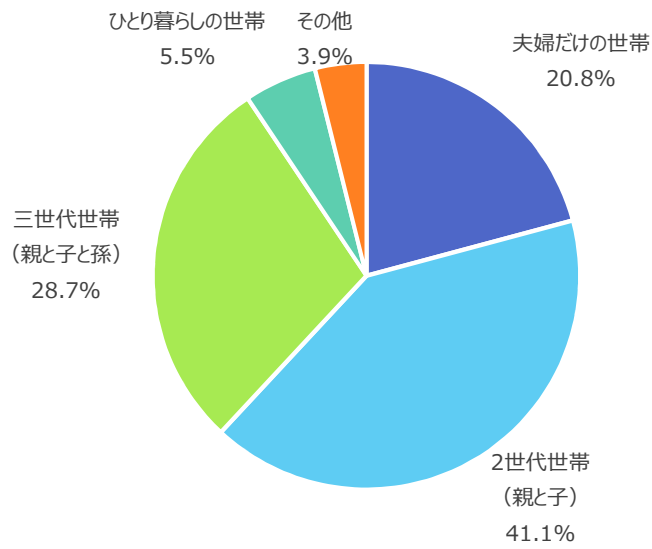


図2 配偶者 N=1,256

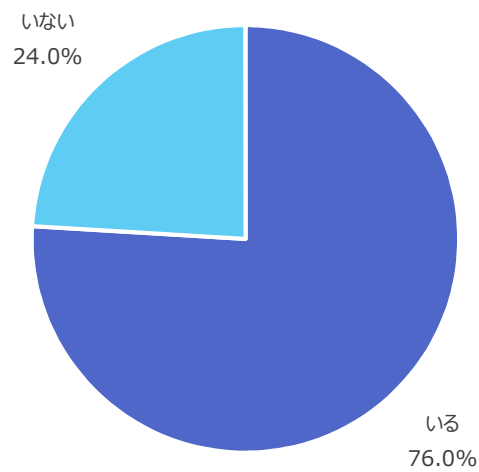
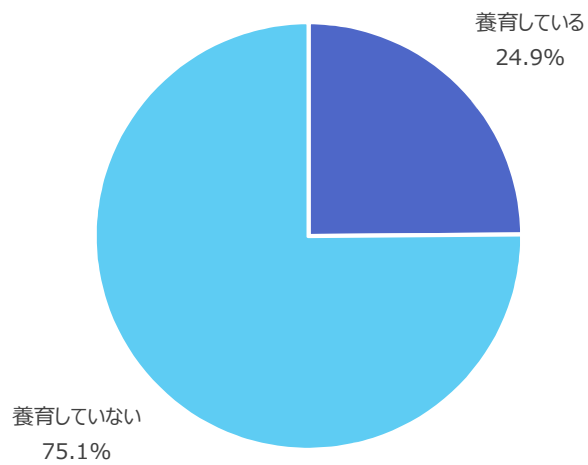


図3 子供 (0歳~中学生) N=1,057



(3) 就労・就学

図4 就労・就学状況

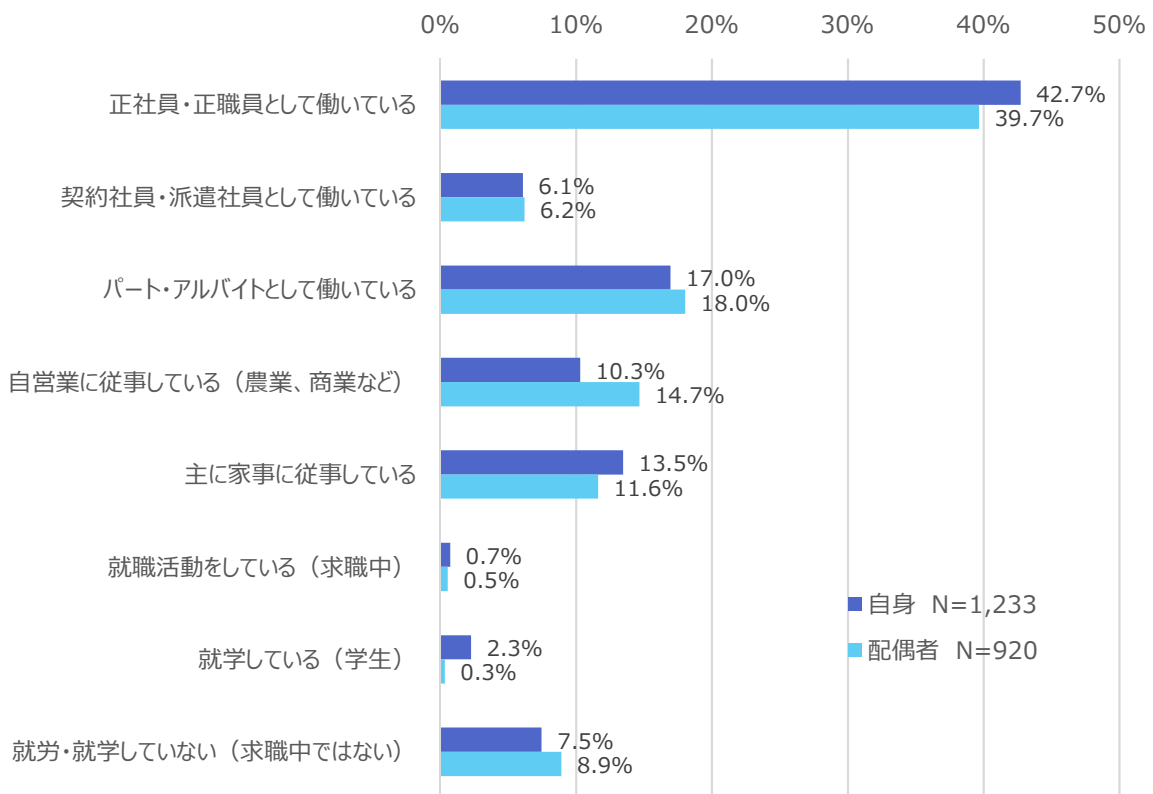
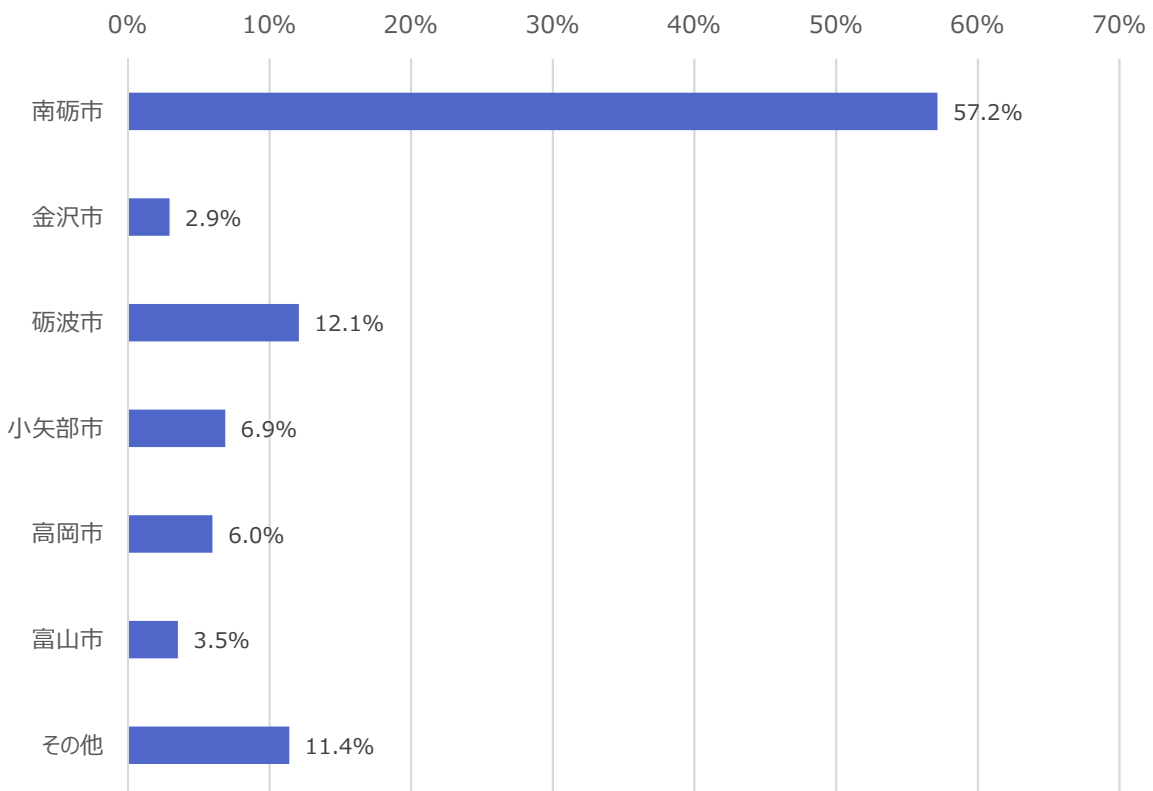


図5 就労・就学場所 N=1,018



#### (4) 住まい

図6 お住まいの地域 N=1,257

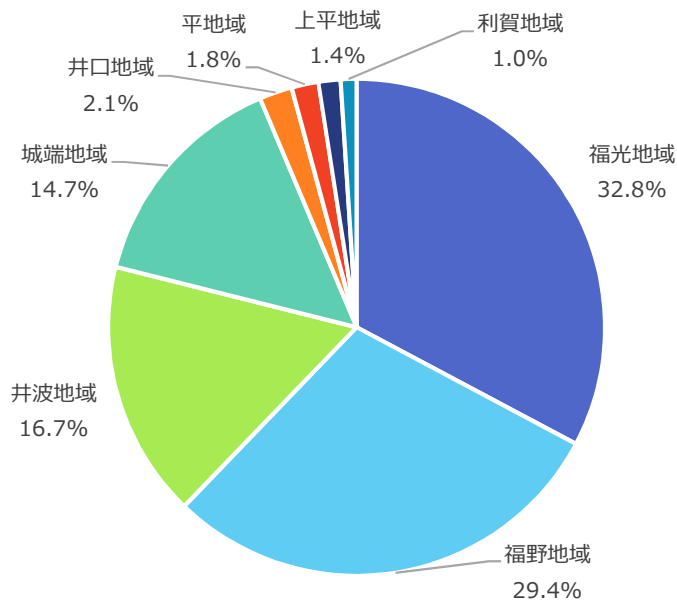
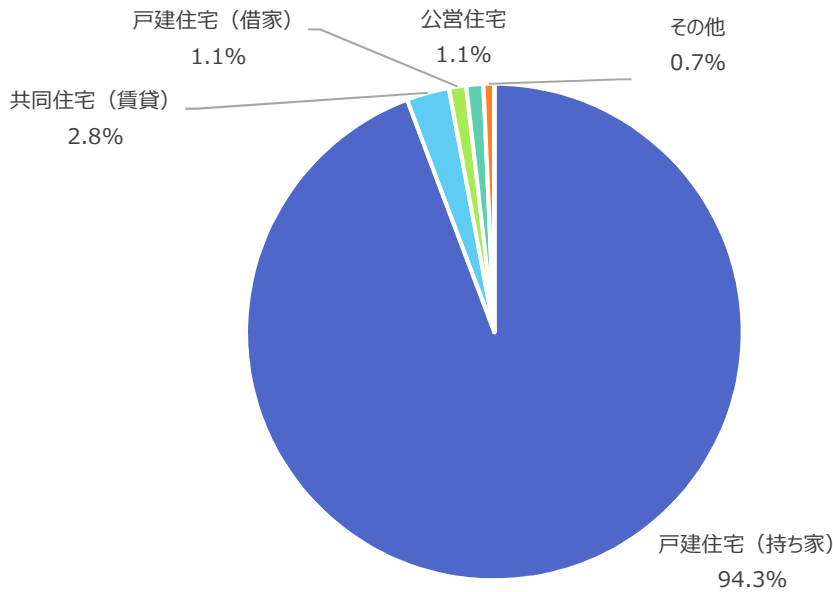


図7 お住まいの形態 N=1,259



#### 本報告書を読む際の注意点

- ・調査結果は百分率で表示した。その百分率は少数第2位を四捨五入した。したがって、個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しないことがある。
- ・図表中に「N」とあるのは、質問に対する回答者総数で、回答比率 (%) が何人の回答に相当するかを示す比率算出用である。
- ・全体の「N」は、属性不明の回答を含んでいるため、各属性個々の「N」の合計と合致しない。
- ・図表中に「MA」(Multiple Answer) と記してあるのは、1つの質問に対して2つ以上の回答 (複数回答) を求めた場合を示し、その百分率は回答数を回答者数 (N) で割った比率である。

## II 調査結果

問10 あなたが買い物をする主な行き先はどこですか。

「買い物の目的」ごとの「買い物をする主な行き先」を、それぞれ2つまで○を付けてください。

### 食料品、日用雑貨の買い物は南砺市内が最も多くなっている。

目的ごとの買い物場所をみると、食料品は「南砺市内」が88.3%と最も多く、次いで「砺波市」が56.1%、「金沢市」が2.9%となっている。

日用雑貨は、「南砺市内」が78.0%と最も多く、次いで「砺波市」が61.3%、「インターネット」が6.2%となっている。

衣料品は、「砺波市」が61.3%と最も多く、次いで「南砺市内」が35.0%、「高岡市」が23.5%となっている。

電化製品は、「砺波市」が76.3%と最も多く、次いで「南砺市内」が32.6%、「インターネット」が20.5%となっている。

趣味に関するものは、「砺波市」が44.1%と最も多く、次いで「インターネット」が34.3%、「南砺市内」が26.2%と

図1 目的ごとの買い物場所 (MA)

	南 砺 市 内	砺 波 市	小 矢 部 市	高 岡 市	射 水 市	富 山 市	金 沢 市	イン ター ネ ット	そ の 他 通 信 販 売	そ の 他	(%)
食料品 N=1,261	88.3	56.1	1.0	1.4	0.6	0.7	2.9	1.5	0.6	1.3	
日用雑貨 N=1,253	78.0	61.3	0.6	5.4	0.3	0.7	3.8	6.2	0.4	1.0	
衣料品 N=1,238	35.0	61.3	4.1	23.5	0.0	4.2	12.1	16.1	3.7	2.2	
電化製品 N=1,230	32.6	76.3	0.3	8.7	0.0	1.9	4.9	20.5	2.0	1.0	
趣味に関するもの N=1,186	26.2	44.1	1.7	18.6	0.3	7.5	13.3	34.3	3.7	3.8	

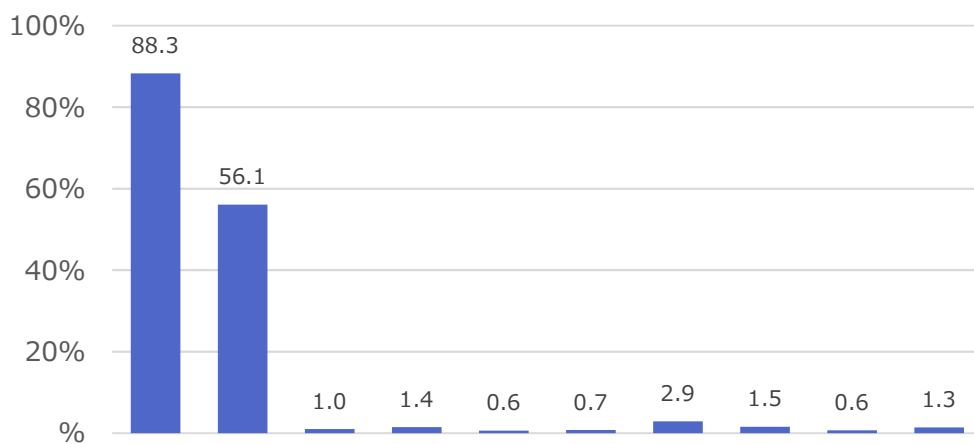
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

(1) 食料品

**全体の約9割は食料品を南砺市内で購入している。**

食料品についてみると、「南砺市内」が88.3%と最も多く、次いで「砺波市」が56.1%、「金沢市」が2.9%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ南砺市内で購入する傾向がある。また、地域別にみると、南砺市以外ではそれぞれ隣接している地域で購入しているように思われる。



			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
R4 N=1,261			88.3	56.1	1.0	1.4	0.6	0.7	2.9	1.5	0.6	1.3
年度別	R3年	N=1,353	89.9	53.1	0.5	1.6	0.7	0.7	2.4	1.6	0.6	1.4
	R2年	N=1,439	89.0	51.6	0.8	2.4	0.5	0.4	2.9	2.1	0.6	1.5
	R1年	N=1,305	87.8	48.3	0.5	2.1	0.8	0.8	3.2	0.9	0.6	0.8
	H30年	N=1,367	87.5	48.8	0.7	1.6	0.4	0.5	3.2	0.7	0.7	1.5
	H29年	N=1,337	89.9	48.8	1.0	0.9	0.1	0.5	3.4	0.5	0.7	1.4
年齢別	18~19歳	N=15	73.3	46.7	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
	20~29歳	N=88	80.7	58.0	3.4	5.7	1.1	2.3	4.5	3.4	0.0	0.0
	30~39歳	N=126	87.3	69.0	0.8	4.0	0.0	1.6	1.6	2.4	0.0	0.0
	40~49歳	N=193	86.5	65.3	1.6	2.1	1.6	0.5	3.6	0.5	0.5	1.0
	50~59歳	N=217	87.6	58.1	0.5	0.9	0.9	0.0	4.1	2.3	0.0	0.9
	60~64歳	N=152	88.2	59.2	1.3	1.3	0.7	2.0	3.9	2.0	1.3	0.7
	65~69歳	N=206	89.3	51.0	0.0	0.0	0.0	0.5	2.9	1.0	1.5	4.4
	70歳以上	N=261	93.5	43.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.8	0.8
地域別	城端地域	N=185	93.0	46.5	1.1	1.6	2.2	0.5	1.1	2.2	1.6	0.5
	平地地域	N=22	86.4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0
	上平地域	N=18	94.4	72.2	0.0	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	利賀地域	N=13	61.5	84.6	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0
	井波地域	N=208	75.0	76.9	1.0	2.9	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.4
	井口地域	N=27	85.2	63.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0
	福野地域	N=369	86.4	67.5	1.1	0.5	0.3	0.8	0.8	1.9	0.3	1.6
	福光地域	N=409	95.8	37.7	1.0	1.0	0.0	0.2	6.4	1.0	0.2	1.5

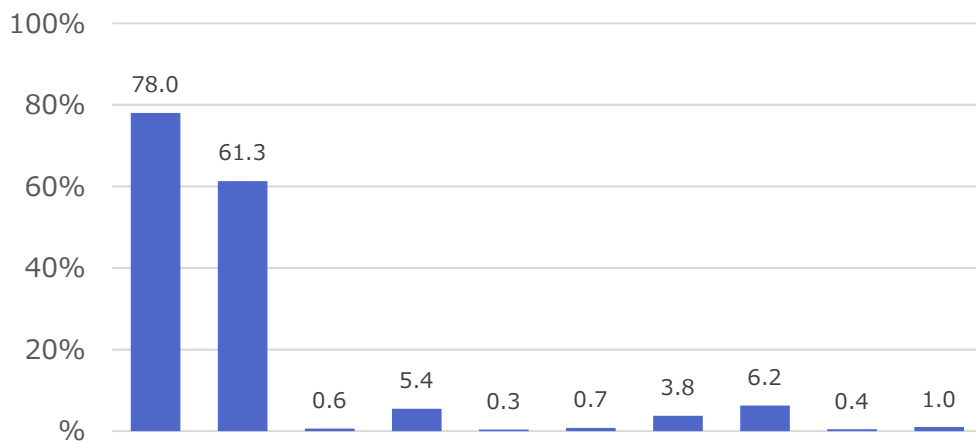


(2) 日用雑貨

**全体の約8割は日用雑貨を南砺市で購入している。**

日用雑貨についてみると、「南砺市内」が78.0%と最も多く、次いで「砺波市」が61.3%、「インターネット」が6.2%となっている。

年齢別、地域別にみると、食料品の傾向とほぼ同じで、年齢が高くなるにつれ南砺市内で購入し、それぞれの地域では隣接している地域で購入している。



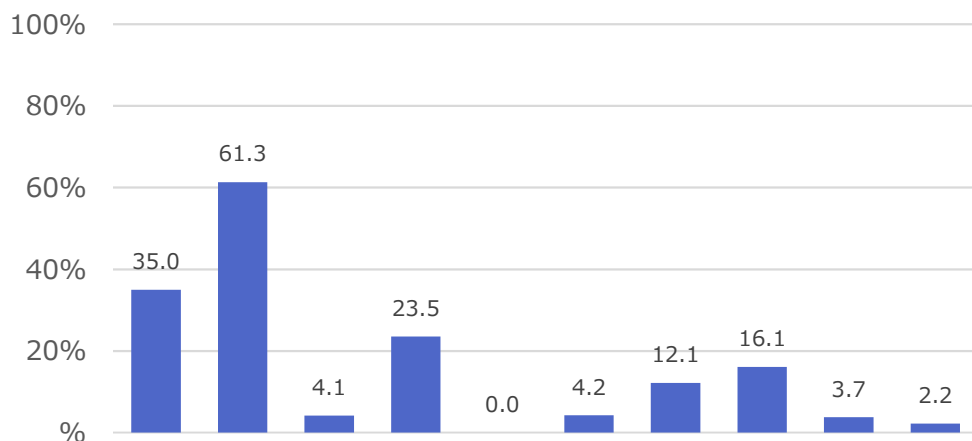
			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
R4 N=1,253			78.0	61.3	0.6	5.4	0.3	0.7	3.8	6.2	0.4	1.0
年度別	R3年	N=1,329	79.1	60.5	0.2	3.8	0.4	1.1	4.0	5.3	1.1	1.4
	R2年	N=1,415	78.6	56.0	0.4	5.0	0.3	0.8	5.1	6.6	1.1	1.0
	R1年	N=1,287	73.0	56.5	0.5	4.7	0.4	1.4	5.7	6.2	0.9	0.8
	H30年	N=1,345	73.2	56.0	0.5	6.1	0.2	1.3	5.3	5.3	0.8	1.0
	H29年	N=1,318	76.9	54.1	0.2	5.1	0.4	0.9	4.8	3.3	1.1	1.1
年齢別	18~19歳	N=15	40.0	66.7	6.7	13.3	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0
	20~29歳	N=87	58.6	67.8	1.1	21.8	2.3	2.3	8.0	10.3	0.0	0.0
	30~39歳	N=126	80.2	67.5	0.0	7.1	0.0	2.4	4.0	12.7	0.0	0.0
	40~49歳	N=191	75.9	72.8	0.5	9.4	0.5	0.5	3.1	5.2	0.5	0.0
	50~59歳	N=217	76.5	62.7	0.5	4.1	0.5	0.5	5.1	9.7	0.0	1.4
	60~64歳	N=152	79.6	63.2	0.0	3.3	0.0	0.7	5.3	7.9	0.0	0.0
	65~69歳	N=205	80.0	61.0	0.5	1.5	0.0	0.5	1.5	4.4	0.5	2.4
	70歳以上	N=257	86.0	45.5	0.8	0.8	0.0	0.0	1.9	0.0	1.2	1.6
地域別	城端地域	N=181	83.4	54.7	0.6	6.1	0.6	0.6	3.3	6.1	1.1	0.6
	平地地域	N=22	81.8	59.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	4.5
	上平地域	N=18	77.8	72.2	0.0	11.1	5.6	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0
	利賀地域	N=13	69.2	84.6	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0
	井波地域	N=209	62.2	75.1	1.0	8.1	0.5	1.0	1.0	7.2	0.5	1.0
	井口地域	N=27	85.2	70.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	福野地域	N=368	76.6	71.7	0.0	3.8	0.3	0.5	1.9	4.9	0.0	1.1
	福光地域	N=405	84.9	46.2	1.0	5.4	0.0	0.2	7.2	7.2	0.5	1.0

(3) 衣料品

**全体の6割は衣料品を砺波市で購入している。**

衣料品についてみると、「砺波市」が61.3%と最も多く、次いで「南砺市内」が35.0%、「高岡市」が23.5%、「インターネット」が16.1%となっている。

年度別にみると、昨年度までは「南砺市内」は増加傾向にあったが本年度は減少し、「インターネット」が増加している。また、年齢が高いほど「南砺市内」が多く、年齢が低いほど「高岡市」が多い傾向にある。



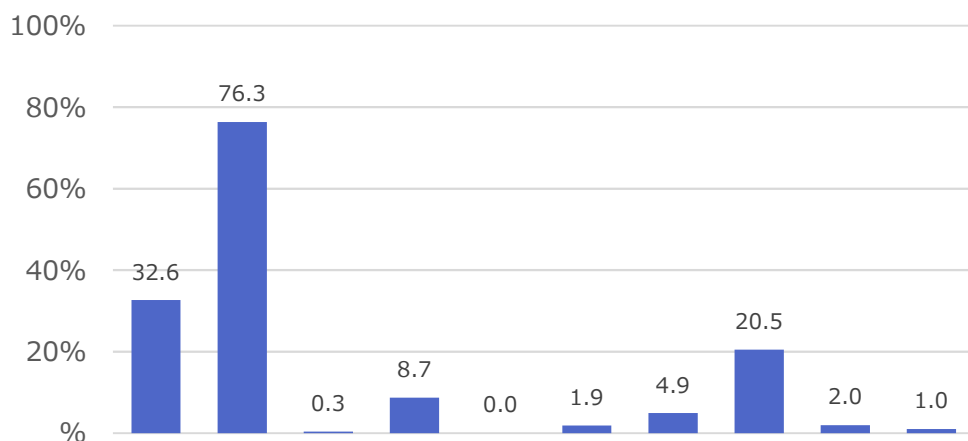
			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
R4 N=1,238			35.0	61.3	4.1	23.5	0.0	4.2	12.1	16.1	3.7	2.2
年度別	R3年	N=1,326	38.3	64.1	3.5	18.8	0.2	5.2	14.0	12.4	4.3	2.3
	R2年	N=1,407	37.2	60.9	4.5	20.5	0.2	4.3	16.6	12.4	3.1	2.1
	R1年	N=1,289	30.9	60.5	4.1	18.6	0.4	4.6	21.6	10.9	4.1	1.7
	H30年	N=1,352	32.7	61.1	3.6	19.6	0.1	5.7	18.1	8.9	3.6	2.1
	H29年	N=1,305	34.6	58.3	3.4	19.5	0.1	5.6	20.2	9.6	4.5	2.0
年齢別	18~19歳	N=15	6.7	73.3	6.7	46.7	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0
	20~29歳	N=88	10.2	45.5	10.2	52.3	0.0	4.5	19.3	26.1	1.1	2.3
	30~39歳	N=125	16.8	56.8	4.8	34.4	0.0	8.0	20.8	33.6	0.8	0.0
	40~49歳	N=190	20.5	63.7	5.3	38.9	0.0	6.8	16.3	23.2	0.0	1.1
	50~59歳	N=217	21.7	62.2	4.6	25.3	0.0	2.8	16.1	24.9	4.6	4.1
	60~64歳	N=151	42.4	70.9	3.3	18.5	0.0	6.6	8.6	9.3	4.0	0.0
	65~69歳	N=198	53.0	61.6	3.0	10.6	0.0	3.5	7.1	6.1	6.6	4.5
	70歳以上	N=251	58.6	60.2	1.6	6.8	0.0	0.8	4.8	3.2	5.6	2.0
地域別	城端地域	N=181	30.9	57.5	1.7	23.8	0.0	2.8	15.5	22.1	4.4	0.6
	平地地域	N=22	27.3	63.6	4.5	27.3	0.0	4.5	4.5	18.2	0.0	13.6
	上平地域	N=18	44.4	66.7	11.1	5.6	0.0	16.7	5.6	27.8	5.6	0.0
	利賀地域	N=13	46.2	76.9	7.7	15.4	0.0	23.1	0.0	7.7	0.0	0.0
	井波地域	N=207	26.6	69.6	3.9	27.1	0.0	6.3	7.2	16.9	4.3	1.0
	井口地域	N=27	44.4	81.5	3.7	11.1	0.0	7.4	3.7	3.7	0.0	0.0
	福野地域	N=363	32.5	67.2	6.6	23.1	0.0	4.1	8.8	13.5	3.6	1.9
	福光地域	N=398	42.7	51.5	2.8	23.1	0.0	2.5	17.8	15.6	3.5	3.5

(4) 電化製品

**全体の約8割は電化製品を砺波市で購入している。**

電化製品についてみると、「砺波市」が76.3%と最も多く、次いで「南砺市」が32.6%、「インターネット」が20.5%となっている。

年度別にみると、「砺波市」と「インターネット」が増加傾向にあり、年齢別にみると年齢が高いほど「南砺市内」が多くなる傾向がある。



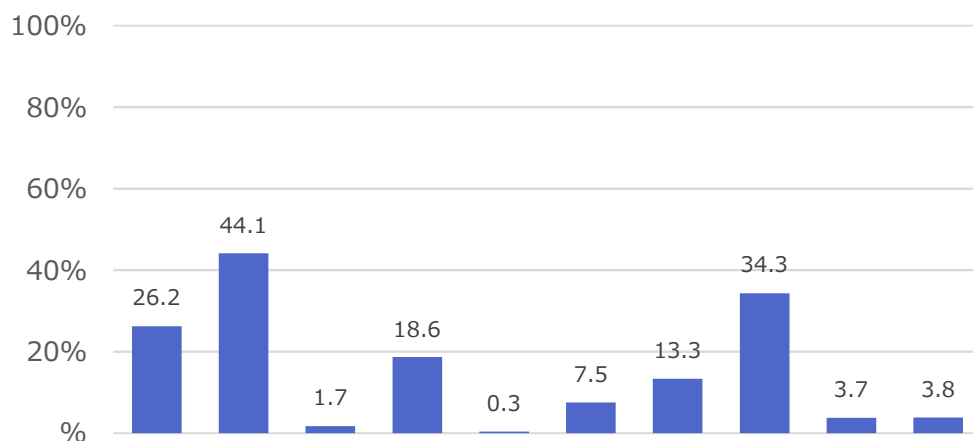
			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
R4 N=1,230			32.6	76.3	0.3	8.7	0.0	1.9	4.9	20.5	2.0	1.0
年度別	R3年	N=1,326	35.6	75.8	0.2	7.3	0.1	1.4	5.1	14.9	2.7	1.3
	R2年	N=1,402	35.0	74.4	0.3	9.6	0.2	1.7	5.8	15.5	1.6	1.0
	R1年	N=1,276	30.2	74.7	0.5	7.6	0.2	1.8	7.3	14.1	1.5	0.9
	H30年	N=1,338	30.7	76.2	0.1	7.8	0.1	1.6	5.8	12.1	1.4	1.4
	H29年	N=1,303	32.3	75.4	0.5	7.4	0.0	1.4	6.3	11.4	1.1	1.5
年齢別	18~19歳	N=14	21.4	64.3	7.1	21.4	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0
	20~29歳	N=87	8.0	67.8	0.0	25.3	0.0	3.4	8.0	35.6	1.1	1.1
	30~39歳	N=126	16.7	77.8	1.6	17.5	0.0	4.8	7.9	34.1	1.6	0.0
	40~49歳	N=189	23.8	84.1	0.5	12.2	0.0	2.1	4.8	28.0	0.0	1.1
	50~59歳	N=217	24.9	77.4	0.0	9.2	0.0	0.9	7.4	25.3	1.4	1.4
	60~64歳	N=147	34.7	82.3	0.0	4.8	0.0	1.4	5.4	20.4	1.4	0.7
	65~69歳	N=197	45.2	76.1	0.0	3.0	0.0	1.0	1.0	13.7	4.1	1.0
	70歳以上	N=250	52.0	69.2	0.0	1.2	0.0	0.8	2.0	4.4	3.2	1.2
地域別	城端地域	N=179	35.8	75.4	0.0	7.8	0.0	1.1	3.9	22.9	1.1	0.6
	平地地域	N=22	31.8	68.2	0.0	0.0	0.0	4.5	9.1	36.4	0.0	9.1
	上平地域	N=18	50.0	66.7	0.0	11.1	0.0	11.1	5.6	27.8	0.0	0.0
	利賀地域	N=12	16.7	75.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	25.0	8.3	0.0
	井波地域	N=207	20.8	88.9	1.0	9.2	0.0	2.9	2.4	19.8	1.0	0.5
	井口地域	N=26	38.5	76.9	0.0	7.7	0.0	3.8	0.0	15.4	0.0	0.0
	福野地域	N=361	18.3	88.1	0.0	11.1	0.0	1.1	2.5	19.4	2.2	0.8
	福光地域	N=396	49.2	61.4	0.5	6.8	0.0	1.3	8.8	19.7	2.8	1.3

(5) 趣味に関するもの

**趣味に関するものの買い物場所は分散傾向にある。**

趣味に関するものについてみると、「砺波市」が44.1%と最も多く、次いで「インターネット」が34.3%、「南砺市内」が26.2%、「高岡市」が18.6%、「金沢市」が13.3%となっている。

年度別にみると、「インターネット」が増加傾向にあり、年齢別にみると、年齢が高いほど「南砺市」が多い傾向にある。地域別では買い物場所は分散傾向にある。



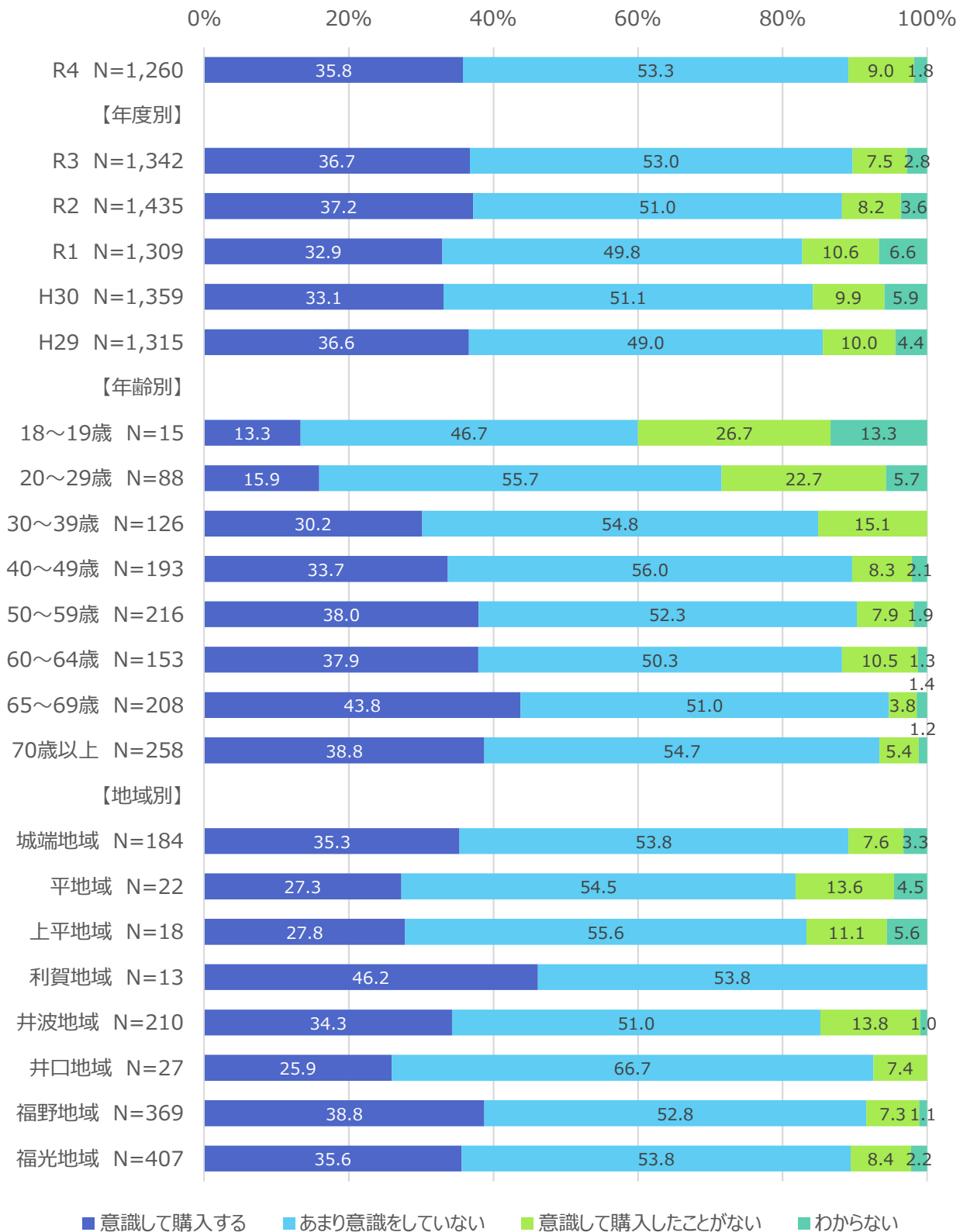
			南砺市内	砺波市	小矢部市	高岡市	射水市	富山市	金沢市	インターネット	その他通信販売	その他
R4 N=1,186			26.2	44.1	1.7	18.6	0.3	7.5	13.3	34.3	3.7	3.8
年度別	R3年	N=1,278	28.2	44.1	0.9	17.9	0.6	7.0	14.1	30.0	4.7	4.4
	R2年	N=1,350	26.1	43.6	1.0	20.5	0.1	6.4	16.2	29.6	4.3	3.9
	R1年	N=1,216	21.4	42.4	1.3	18.7	0.6	6.2	19.1	31.4	4.4	4.1
	H30年	N=1,338	22.0	46.0	0.8	17.0	0.2	6.9	18.1	26.2	4.4	4.6
	H29年	N=1,303	26.5	42.9	1.1	19.9	0.2	7.8	17.5	25.6	5.3	4.8
年齢別	18~19歳	N=14	0.0	28.6	14.3	35.7	0.0	7.1	7.1	28.6	7.1	7.1
	20~29歳	N=89	2.2	31.5	4.5	36.0	0.0	9.0	23.6	51.7	0.0	7.9
	30~39歳	N=124	11.3	37.9	1.6	25.8	0.8	11.3	16.9	54.0	0.8	3.2
	40~49歳	N=187	13.9	44.9	2.1	21.9	0.0	10.7	13.9	50.8	2.1	2.1
	50~59歳	N=212	18.4	42.5	0.9	17.9	0.5	6.6	14.2	46.2	4.2	4.2
	60~64歳	N=145	28.3	48.3	2.8	18.6	0.7	9.0	14.5	26.9	3.4	2.1
	65~69歳	N=186	40.9	44.1	0.0	16.1	0.5	7.0	11.8	21.0	5.4	3.2
	70歳以上	N=227	49.8	52.0	0.9	6.6	0.0	2.6	6.2	8.4	6.2	4.8
地域別	城端地域	N=169	24.9	42.0	1.2	17.8	1.2	4.7	16.6	38.5	3.6	1.8
	平地地域	N=21	4.8	42.9	0.0	19.0	0.0	9.5	9.5	57.1	4.8	9.5
	上平地域	N=18	38.9	50.0	0.0	16.7	0.0	22.2	11.1	38.9	0.0	5.6
	利賀地域	N=12	16.7	58.3	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0
	井波地域	N=199	19.1	54.3	3.0	21.1	1.0	10.6	6.5	30.7	3.0	4.0
	井口地域	N=26	34.6	50.0	3.8	23.1	0.0	11.5	15.4	19.2	0.0	0.0
	福野地域	N=345	23.5	50.1	1.4	19.1	0.0	7.0	9.9	34.8	2.6	4.6
	福光地域	N=387	33.3	33.6	1.6	17.3	0.0	6.5	18.6	33.9	4.9	3.9

問11 あなたは、地場産の食材を意識して購入していますか。

**全体の3割は地場産の食材を意識して購入している。**

「意識して購入する」が35.8%、「あまり意識をしていない」が53.3%、「意識して購入したことがない」が9.0%、「わからない」が1.8%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「意識して購入する」が多い傾向にあるが、年齢別、地域別どちらでも、半数以上が「あまり意識をしていない」となっている。



問12 あなたは、1日のうち平均どの程度、家事や育児などを行っていますか。

**男性の約2割が休日2時間以上家事等を行っている。**

休日の男女別家事・育児・介護時間をみると、「2時間以上（「2時間以上3時間未満」+「3時間以上4時間未満」+「4時間以上」）」家事等を行う男性の割合は19.7%で女性は66.7%となった。

男性の家事の平均時間をみると、平日で「していない」+「1時間未満」が81.4%、休日で72.4%となり、女性の家事平均時間は、「1時間以上」の割合が平日で81.5%、休日で82.9%となった。

図8 [全体] 平日・休日の家事・育児・介護時間

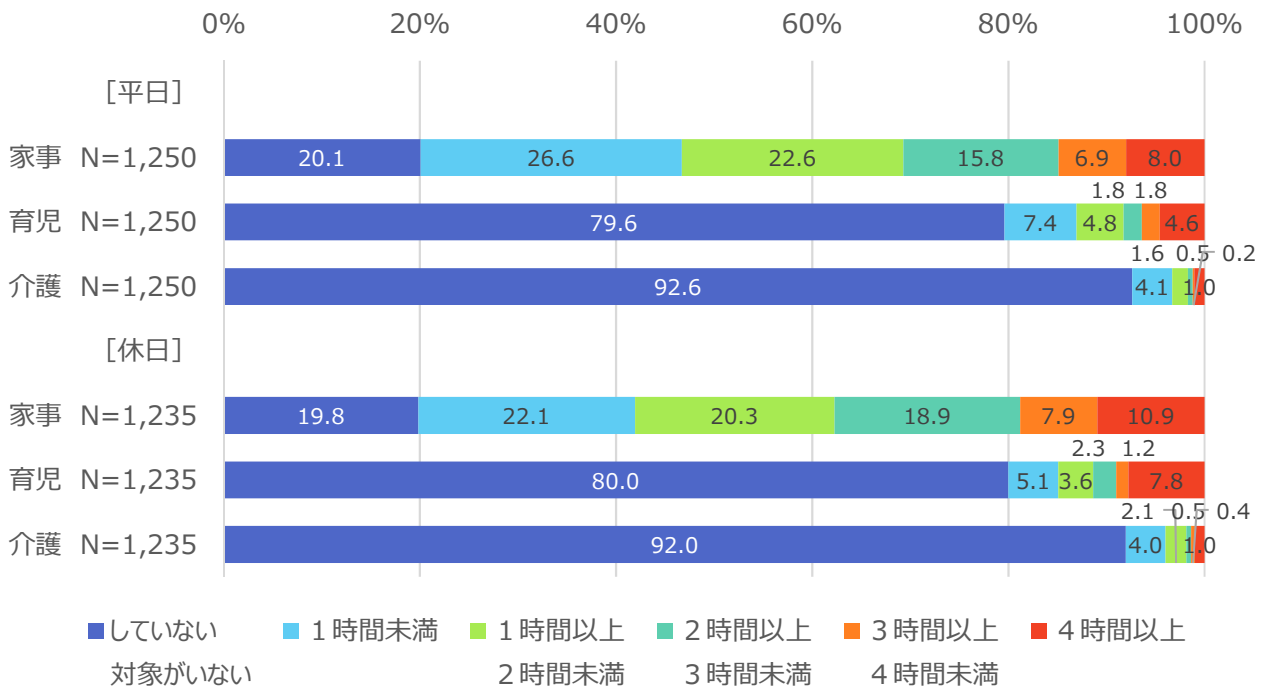


図9 [男女別] 休日の家事・育児・介護時間

(1時間未満 0.5 / 1時間以上、2時間未満 1.5 / 2時間以上、3時間未満 2.5 / 3時間以上、4時間未満 3.5 / 4時間以上 4.5 として計算)

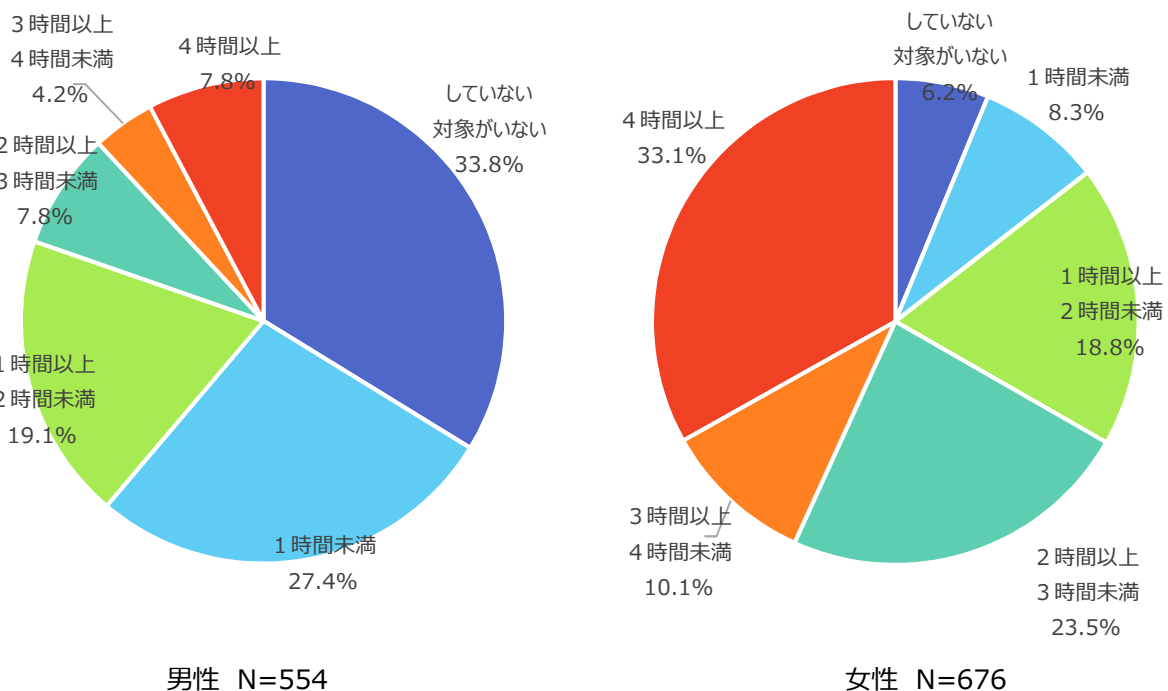


図10 [男女別] 平日の平均家事・育児時間

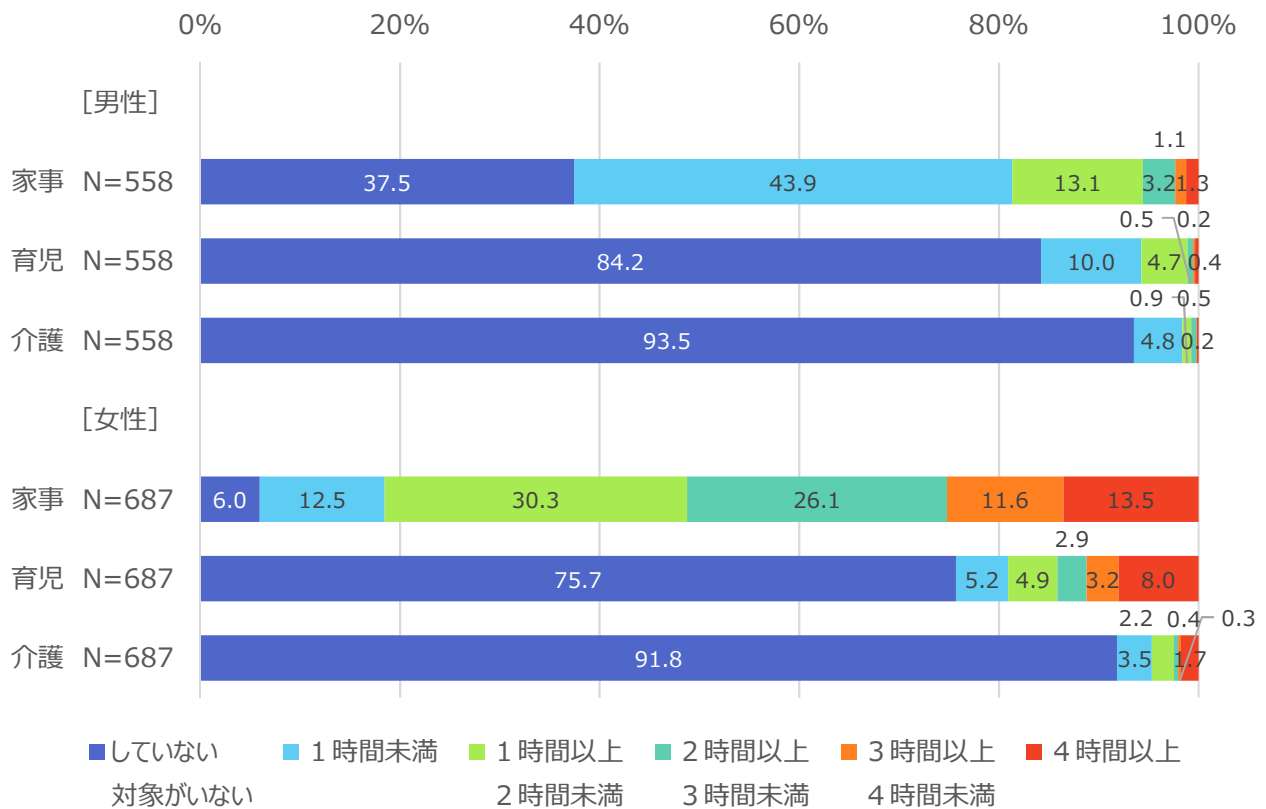
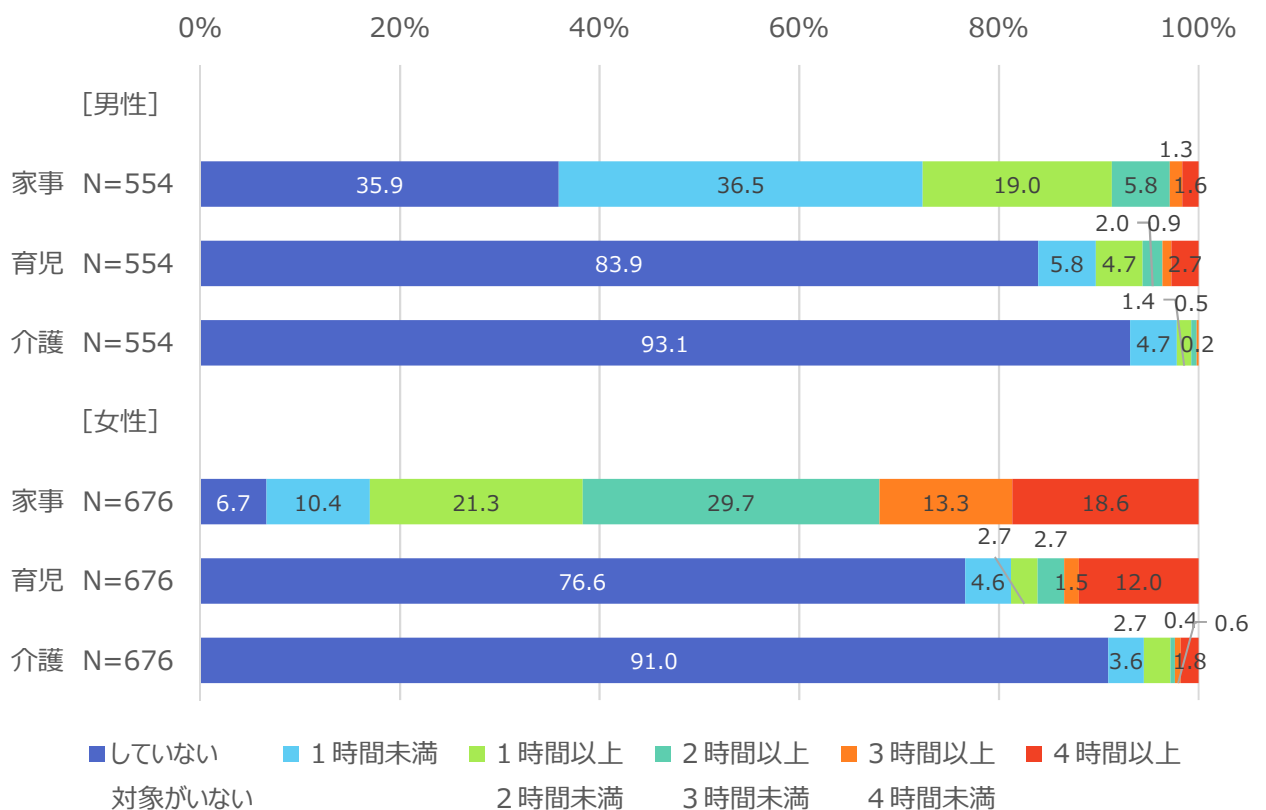


図11 [男女別] 休日の平均家事・育児時間



問13 あなたは、次の情報通信サービスを利用していますか。利用している場合は、それらを快適に利用できていますか。

**全体の8割はインターネットを快適に利用できている。**

情報通信機器を快適に利用できているかについてみると、「快適に利用できている割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う）」はパソコンでインターネットを利用している方が84.6%、スマートフォン、タブレットでインターネットを利用している方は85.5%、従来型携帯電話を利用している方は80.8%、FAXを利用している方は73.9%となった。

図12 情報通信機器の利用状況

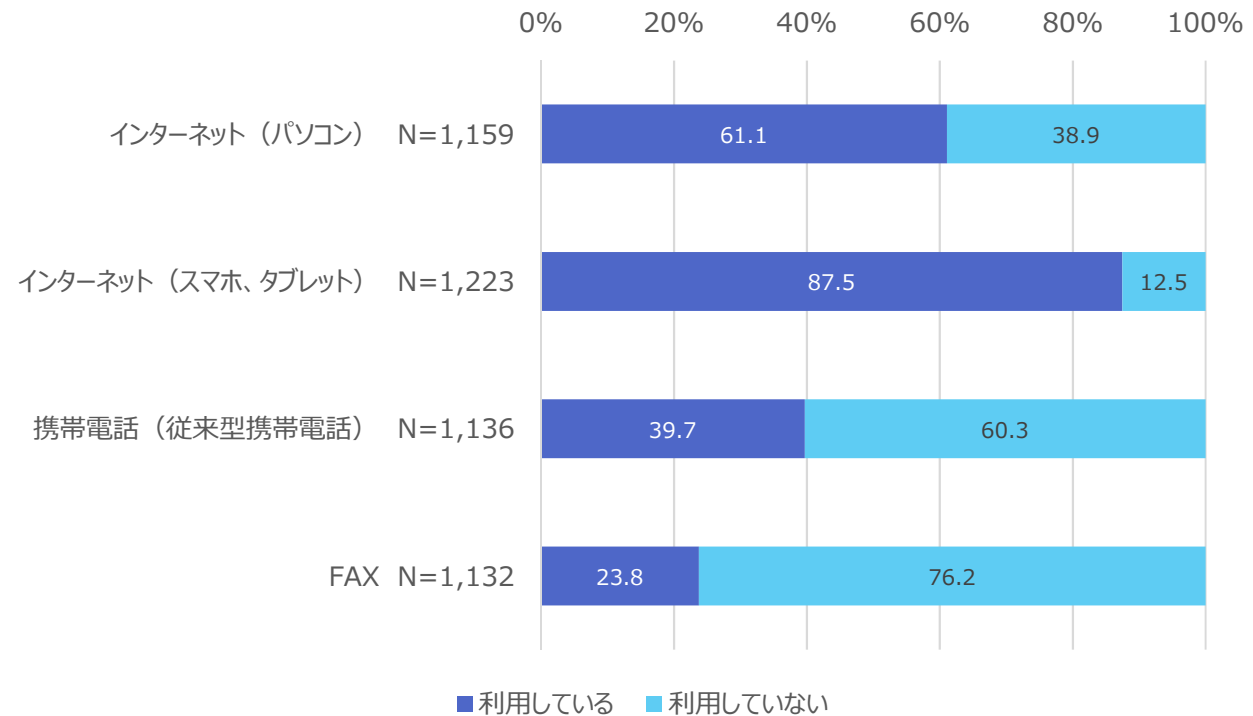
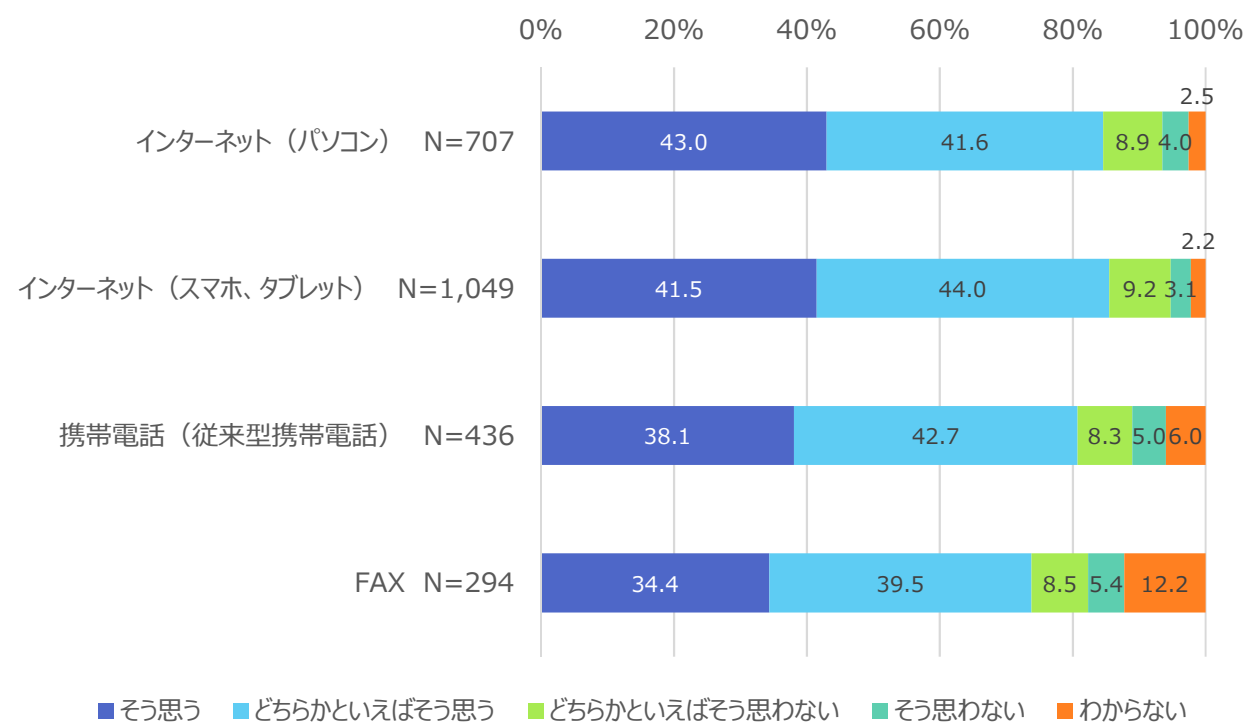


図13 情報通信機器の快適さ





問14 問13でインターネット（スマホ、タブレット）を利用している「1」と回答した方にお聞きます。使うアプリは何か。

**スマートフォン、タブレット利用者の約3割がLINEを使用している。**

スマートフォン、タブレットを利用している方が使用するアプリについてみると、「LINE」が29.2%と最も多く、次いで「Youtube」が20.0%、「キャッシュレス決済」が18.5%となっている。

使用者の年齢層をみると、「Twitter」と「Instagram」は若い年齢の利用者が多く、「LINE」はすべての年齢層で使用されている。

図14 スマートフォン、タブレット利用者の使用アプリ N=3,190

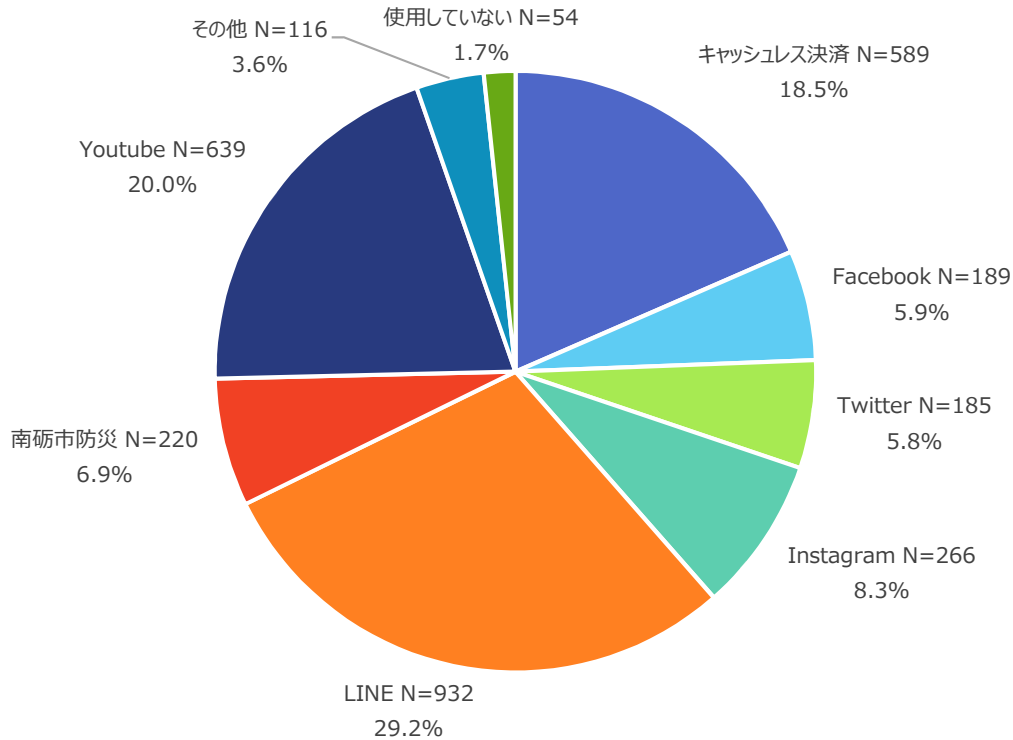
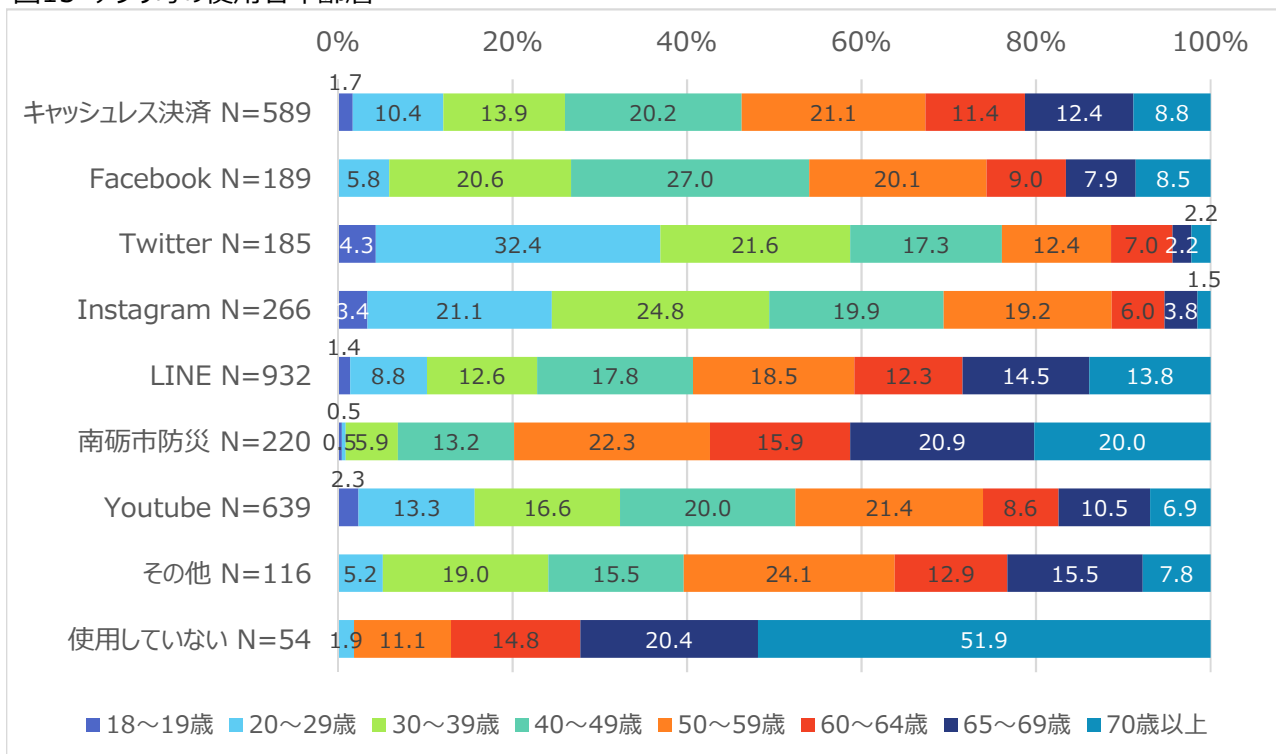


図15 アプリ毎の利用者年齢層



問15 テレワークの実施やオンライン授業に参加したことはありますか。

**全体の6割はテレワークやオンライン授業に参加したことがない。**

テレワークやオンライン授業の参加状況を見ると、「参加したことはない」が62.2%となっている。

選択肢別にみると、「テレワークの実施」、「オンライン授業に参加」、「オンライン講演会に参加」と回答した人の年齢は59歳までの方が7割以上を占めているが、「参加したことはない」と回答した方の年齢は分散傾向にある。

図16 テレワーク等の参加状況 N=1,212

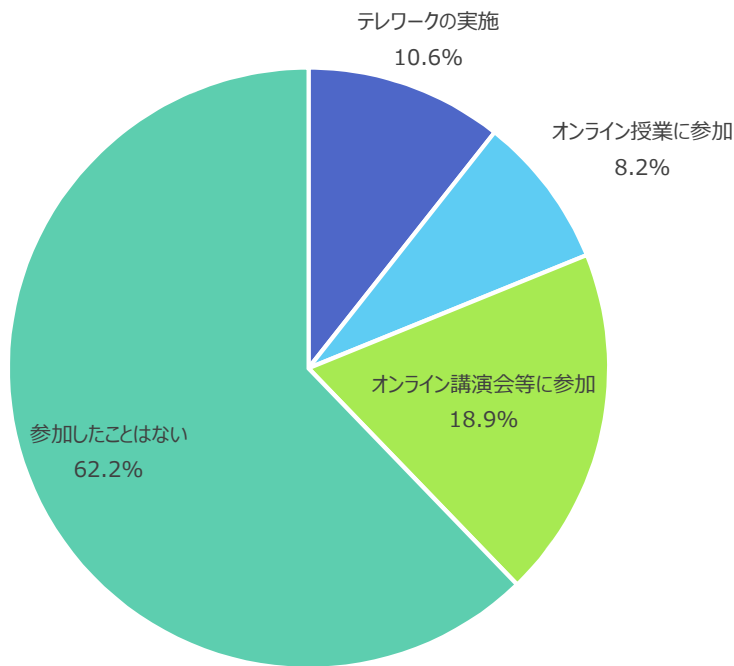
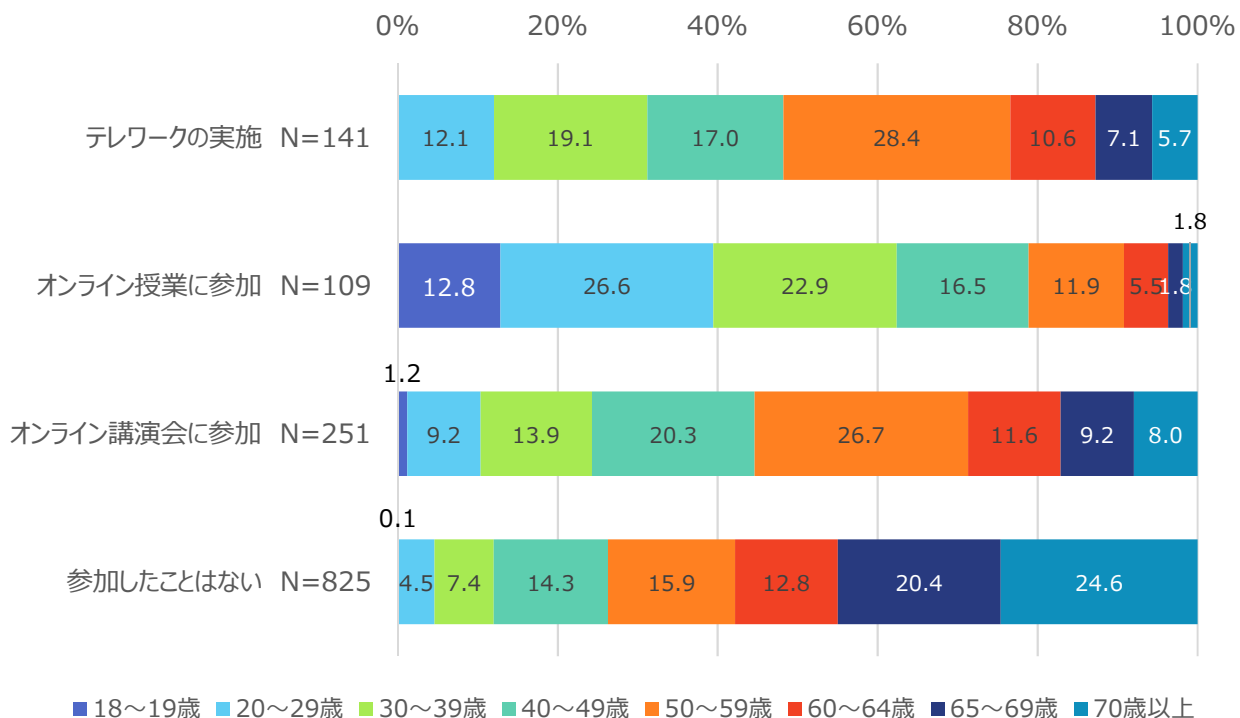


図17 テレワーク等の参加年齢層



問16 今後、デジタル化されることを期待する行政手続きや行政サービスは何ですか。

**「各種届出・証明書の取得」のデジタル化が期待されている。**

デジタル化を期待する行政手続きや行政サービスについては、「各種届出・証明書の取得」が61.2%と最も多く、次いで「医療・健康」41.1%、「防災、災害」が29.3%となっている。

項目別にみると、「学校教育」と「子育て、保育」と回答した方の内、30～49歳がどちらも半数を占めている。

図18 デジタル化を期待する行政サービス N=1196

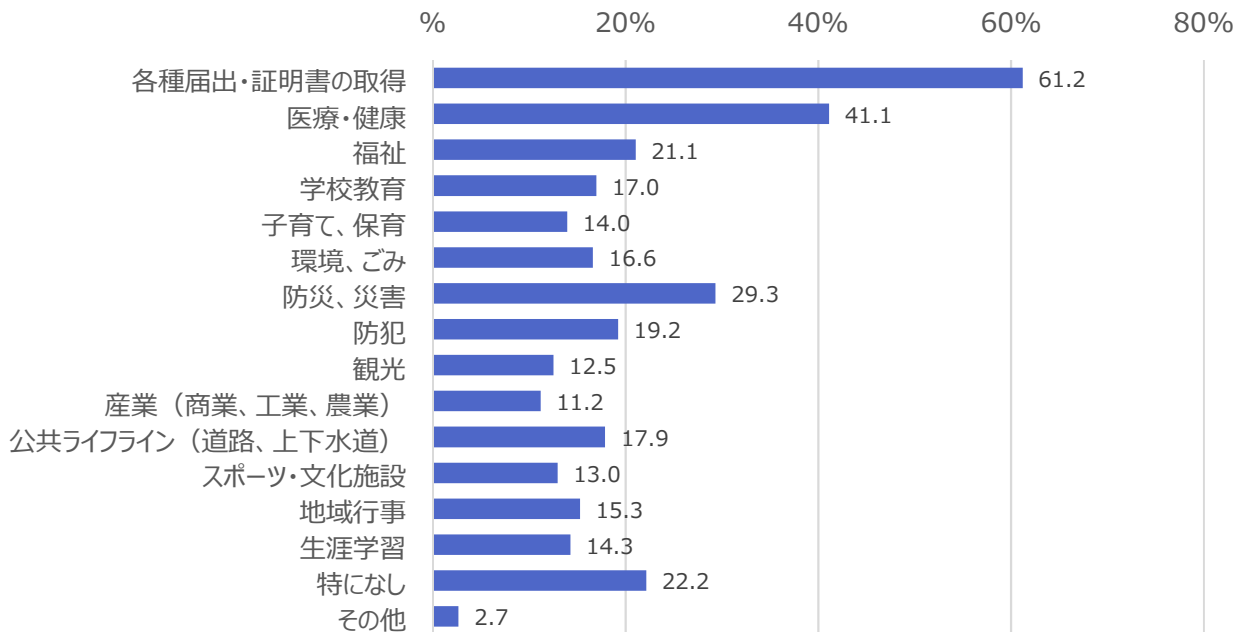
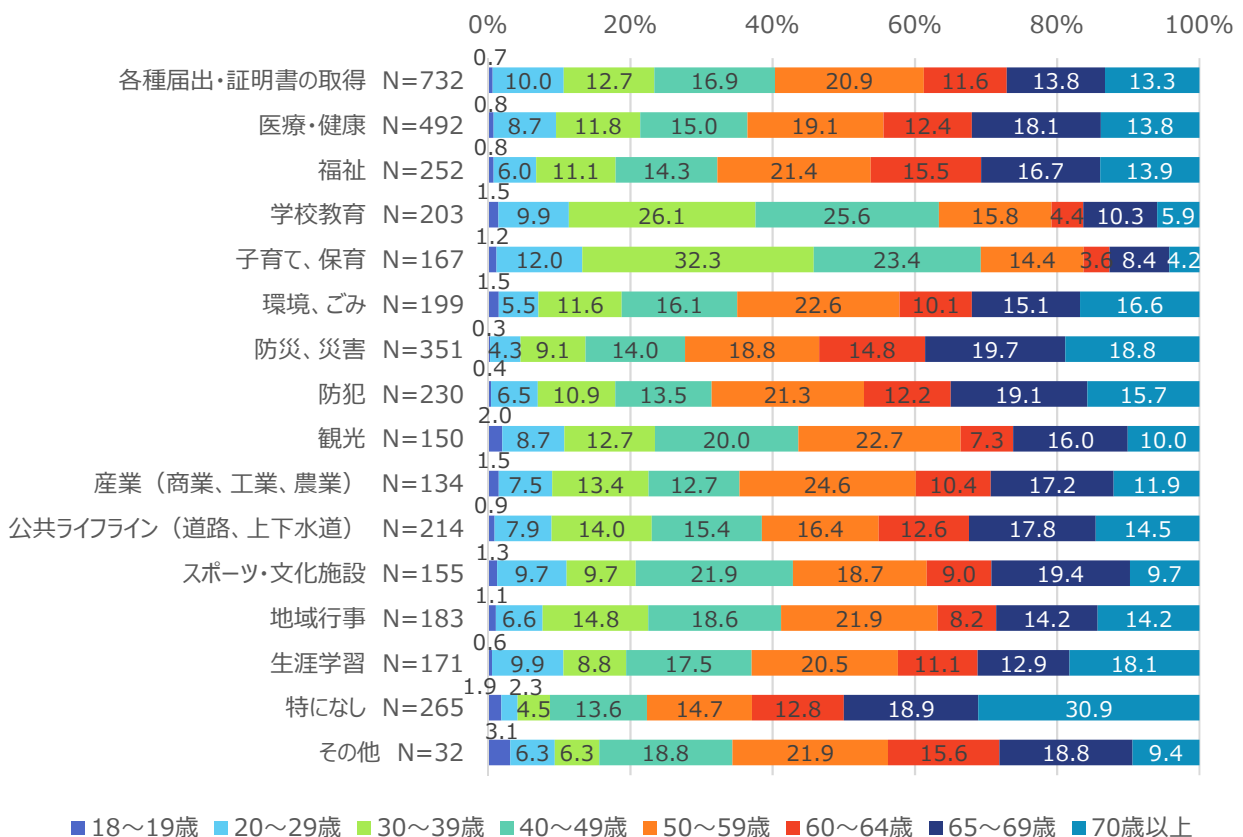


図19 デジタル化を期待する行政サービス毎の年齢層

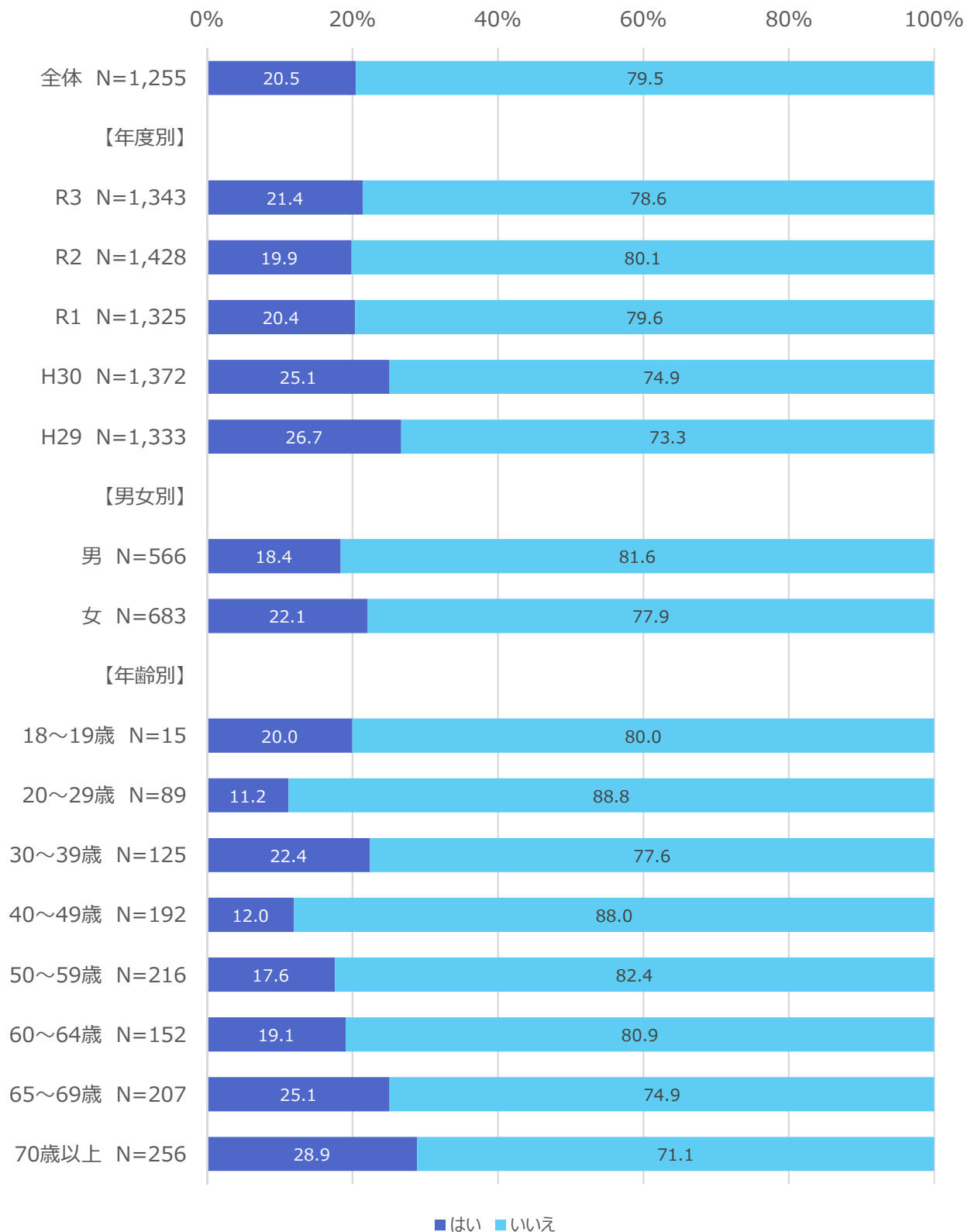


問17 あなたは、日頃から学習活動（市や交流センター、民間が開催する講座、教室、サークル、講演会及び個人が自宅等で行う学習）に取り組んでいますか。

**全体の2割が日頃から学習活動に取り組んでいる。**

日頃の学習活動の取組状況を見ると、「はい（取り組んでいる）」が20.5%、「いいえ（取り組んでいない）」が79.5%となっている。男女別にみると女性が男性に比べて「はい（取り組んでいる）」がわずかに多くなっている。

図20 学習活動の取組状況



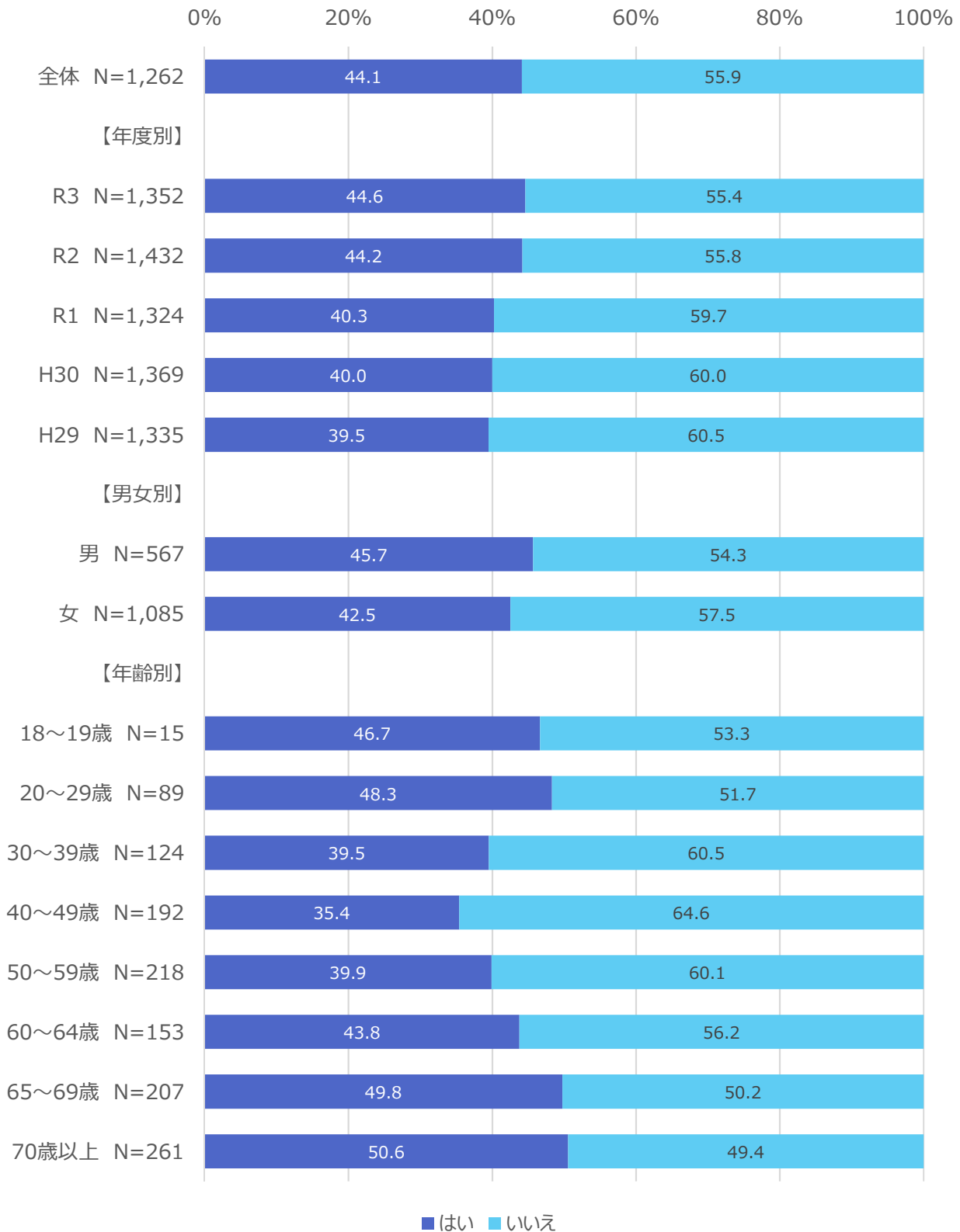
問18 あなたは、日頃からスポーツ・運動（散歩・体操を含む）を行っていますか。

**全体の4割が日頃からスポーツ・運動を行っている。**

日頃のスポーツ・運動の状況を見ると、「はい」が44.1%、「いいえ」が55.9%となっている。

年齢別にみると、70歳以上は「はい」が50.6%と最も多く、男女別にみると、男性が女性に比べて「はい」がわずかに多くなっている。

図21 スポーツ・運動の実施状況

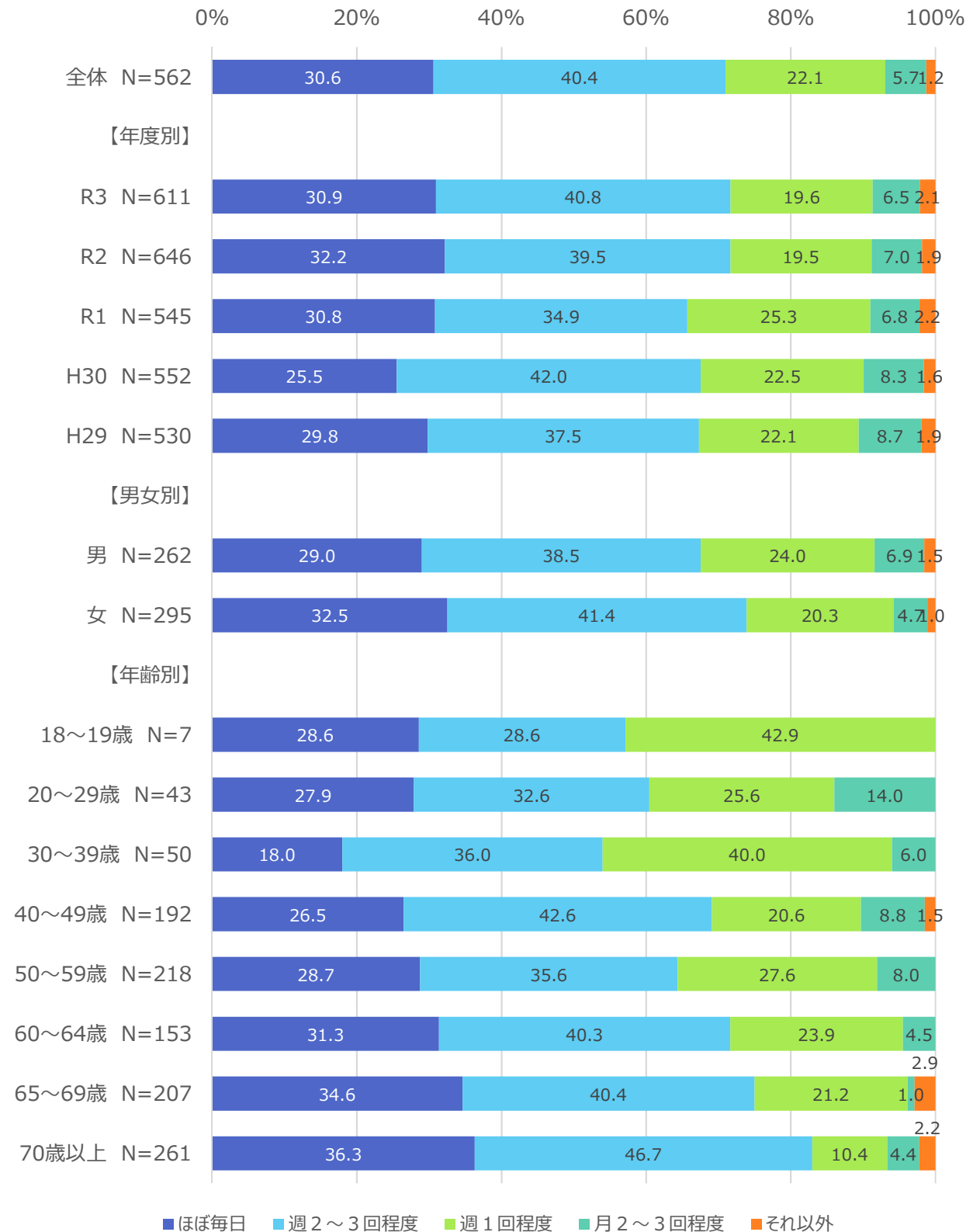


問19 問18で「1.はい」と回答した方にお聞きます。どれぐらいの頻度でスポーツ・運動（散歩・体操を含む）を行っていますか。

**スポーツ・運動の頻度は週2～3回が最も多い。**

スポーツ・運動を行っている方について、スポーツ・運動の頻度をみると、「ほぼ毎日」が30.6%、「週2～3回程度」が40.4%、「週1回程度」が22.1%、「月2～3回程度」が5.7%となっている。

図22 スポーツ・運動の頻度

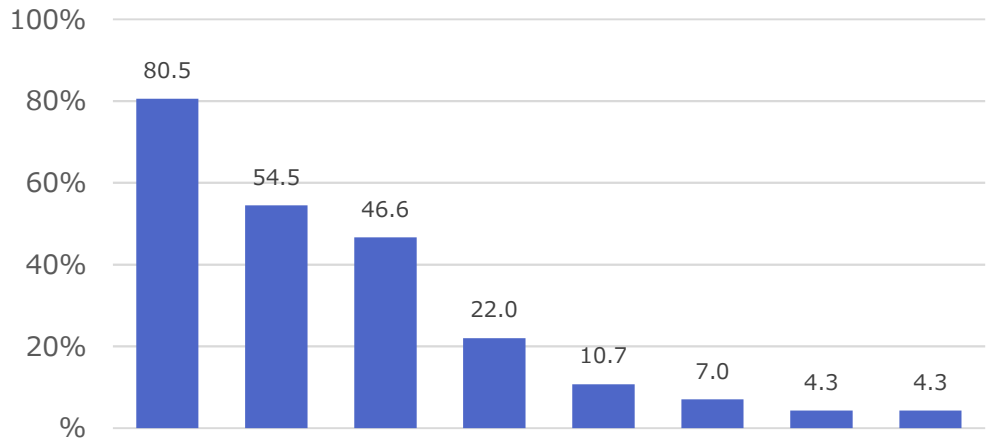


問20 問18で「1. はい」と回答した方にお聞きます。あなたがスポーツ・運動（散歩、体操を含む）をする主な理由は何ですか。

**スポーツ・運動をする理由は健康維持・体力増進のためが最も多い**

スポーツ・運動をする理由をみると、「健康維持・体力増進のため」が80.5%と最も多く、年度別にみても、「健康維持・体力増進のため」が増加傾向にある。

図23 スポーツ・運動をする理由（MA）



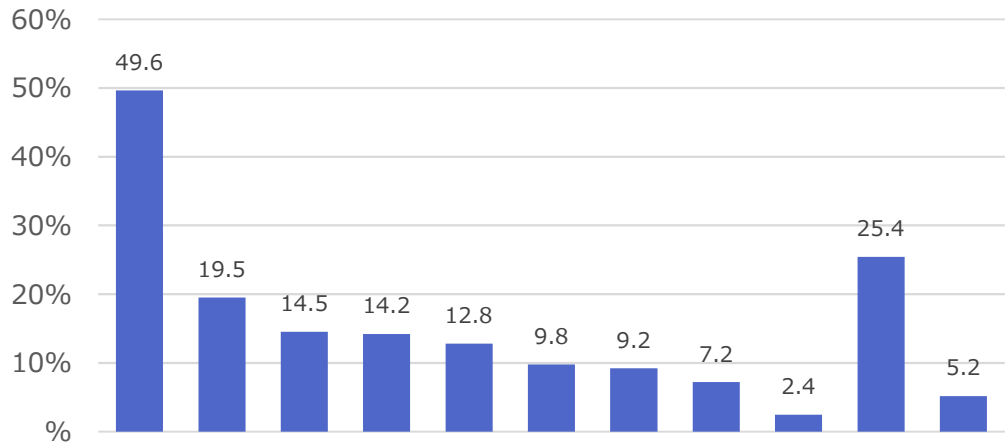
			健康維持・体力増進のため	楽しみやストレス解消・気分転換のため	運動不足を感じるから	美容や肥満解消のため	家族の触れ合いや友人・仲間との親睦のため	心身の鍛錬や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	その他
R4 N=560			80.5	54.5	46.6	22.0	10.7	7.0	4.3	4.3
年度別	R3年	N=603	76.9	51.5	47.3	22.1	15.0	9.6	5.1	3.7
	R2年	N=636	74.2	51.1	51.1	19.7	13.1	7.7	4.9	3.6
	R1年	N=529	72.2	54.3	46.1	18.5	17.6	11.5	6.2	4.2
	H30年	N=554	69.7	51.6	48.2	17.1	16.8	10.5	3.8	4.9
	H29年	N=526	71.1	51.7	50.0	21.5	18.8	11.0	5.9	4.0
年齢別	18～19歳	N=15	40.0	20.0	13.3	20.0	0.0	6.7	6.7	0.0
	20～29歳	N=89	33.7	33.7	15.7	15.7	9.0	12.4	4.5	1.1
	30～39歳	N=126	27.8	25.4	14.3	10.3	7.9	4.8	3.2	1.6
	40～49歳	N=193	28.0	17.1	13.5	9.3	4.7	3.1	2.1	2.6
	50～59歳	N=218	31.2	21.1	21.6	12.8	2.8	0.9	1.4	1.4
	60～64歳	N=153	37.9	20.9	17.0	11.8	2.0	2.6	0.7	0.7
	65～69歳	N=208	40.9	30.8	28.8	7.7	2.9	1.4	1.0	3.4
	70歳以上	N=263	43.7	24.3	25.9	4.6	6.8	2.3	1.9	1.9
地域別	城端地域	N=72	76.4	51.4	38.9	20.8	6.9	5.6	4.2	4.2
	平地地域	N=11	90.9	54.5	45.5	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1
	上平地地域	N=7	85.7	71.4	42.9	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
	利賀地域	N=10	80.0	60.0	60.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0
	井波地域	N=108	86.1	51.9	50.0	27.8	11.1	6.5	4.6	1.9
	井口地域	N=11	81.8	72.7	27.3	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0
	福野地域	N=168	81.0	56.0	47.0	27.4	10.7	6.0	4.2	5.4
	福光地域	N=165	79.4	53.9	53.9	16.4	12.7	7.9	4.2	5.5

問21 問18で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。あなたがスポーツ・運動（散歩、体操を含む）をしない理由は何ですか。

**仕事が忙しくて時間が取れないが最も多くなっている。**

スポーツ・運動をしない理由をみると、「仕事が忙しくて時間がとれない」が49.6%と最も多く、次いで「特に理由はない」が25.4%、「運動が好きではない、苦手だから」が19.5%などとなっている。

図24 スポーツ・運動をしない理由（MA）



		仕事が忙しくて時間がとれないから	また、苦手だから	運動がすきではない、他にやりたいことがあるから	年をとって体力に自信がないから	お金がかかるから	仲間がいないから	身近に場所が施設がないから	体が弱いから	指導者がいないから	特に理由はない	その他
R4 N=697		49.6	19.5	14.5	14.2	12.8	9.8	9.2	7.2	2.4	25.4	5.2
年度別	R3年 N=740	46.6	20.4	14.9	17.2	10.5	9.1	8.6	6.5	3.1	24.5	7.0
	R2年 N=783	45.6	20.7	17.5	11.5	10.6	10.7	7.9	5.5	2.9	26.8	5.9
	R1年 N=784	55.5	19.6	11.5	15.4	12.9	9.9	7.9	5.4	1.5	24.1	6.1
	H30年 N=832	52.5	18.0	11.9	16.2	13.9	11.9	10.2	5.2	3.4	23.8	6.4
	H29年 N=808	50.0	18.6	12.3	15.5	9.4	11.0	9.8	4.8	2.1	21.3	5.4
年齢別	18～19歳 N=7	28.6	28.6	42.9	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0
	20～29歳 N=45	55.6	28.9	17.8	4.4	13.3	20.0	6.7	4.4	2.2	13.3	4.4
	30～39歳 N=77	76.6	20.8	11.7	5.2	14.3	11.7	13.0	3.9	2.6	9.1	3.9
	40～49歳 N=123	59.3	17.9	10.6	2.4	17.1	9.8	8.1	2.4	0.8	28.5	2.4
	50～59歳 N=130	60.0	16.2	12.3	13.1	17.7	13.8	10.0	9.2	3.1	20.0	5.4
	60～64歳 N=87	36.8	20.7	14.9	11.5	10.3	8.0	4.6	6.9	0.0	27.6	10.3
	65～69歳 N=104	44.2	22.1	13.5	25.0	11.5	5.8	18.3	9.6	4.8	29.8	2.9
	70歳以上 N=123	25.2	17.1	20.3	30.1	4.9	5.7	3.3	11.4	3.3	36.6	7.3
地域別	城端地域 N=109	50.5	16.5	15.6	13.8	11.9	8.3	6.4	8.3	3.7	29.4	3.7
	平地地域 N=11	45.5	9.1	27.3	18.2	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	18.2	18.2
	上平地地域 N=11	45.5	27.3	18.2	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	18.2	9.1
	利賀地域 N=3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	井波地域 N=99	52.5	26.3	17.2	9.1	13.1	9.1	12.1	10.1	1.0	17.2	5.1
	井口地域 N=15	60.0	6.7	20.0	13.3	13.3	0.0	13.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	福野地域 N=202	49.5	23.8	15.8	15.8	13.9	11.4	10.4	5.4	2.5	23.8	5.0
	福光地域 N=243	48.1	16.0	11.1	15.6	13.6	10.3	8.2	8.2	2.5	27.2	5.8



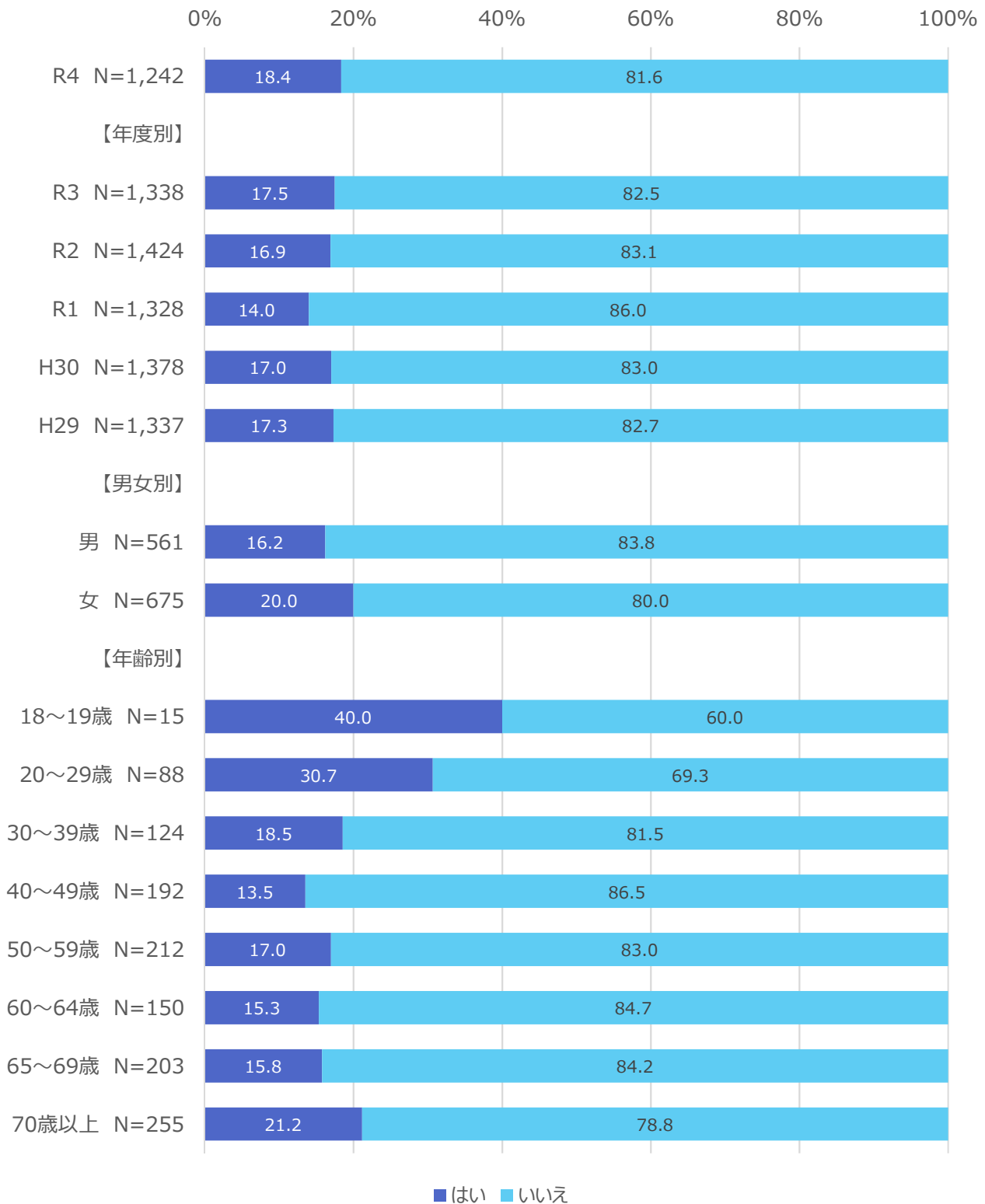
問22 あなたは、積極的に文化活動（音楽、踊り、文芸、写真など）を行っていますか。

**積極的に文化活動を行っているのは全体の約2割となっている。**

文化活動の取組状況を見ると、「はい（行っている）」が18.4%、「いいえ（行っていない）」が81.6%となっている。

年齢別にみると、母体数の少ない19歳以下を除くと、20～29歳は「はい（行っている）」が30.7%と最も多く、次いで70歳以上が21.2%となっている。

図25 文化活動の取組み状況



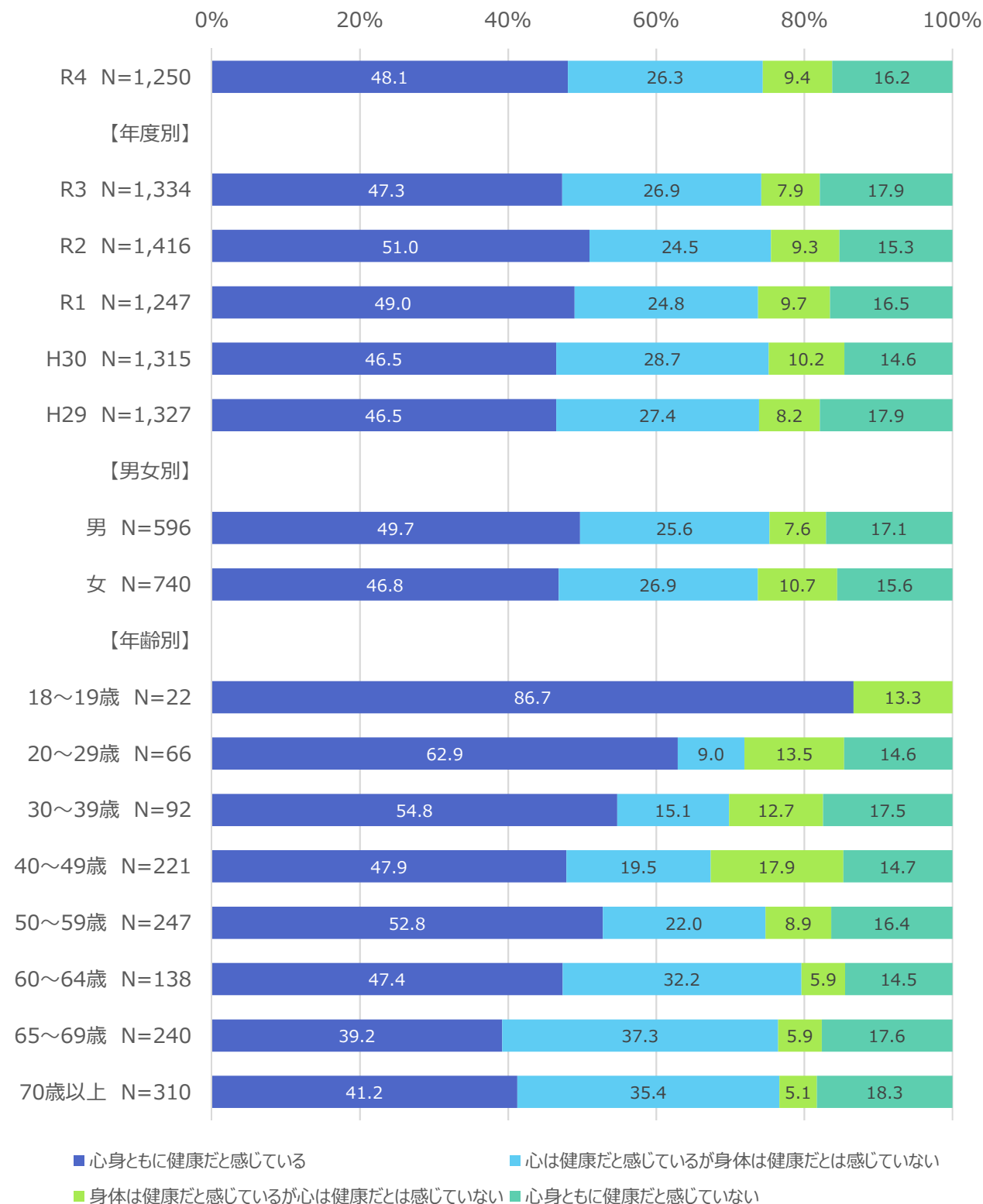
問23 あなたは、心身ともに健康ですか。

**全体の約5割は心身ともに健康だと感じている。**

心身ともに健康かについてみると、「心身ともに健康だと感じている」が48.1%、「心は健康だと感じているが身体は健康だとは感じていない」が26.3%、「体は健康だと感じているが心は健康だとは感じていない」が9.4%、「心身ともに健康だと感じていない」が16.2%となっている。

年齢別にみると、年齢が若いほど「心身ともに健康だと感じている」が多い傾向にある。

図26 心身ともに健康か



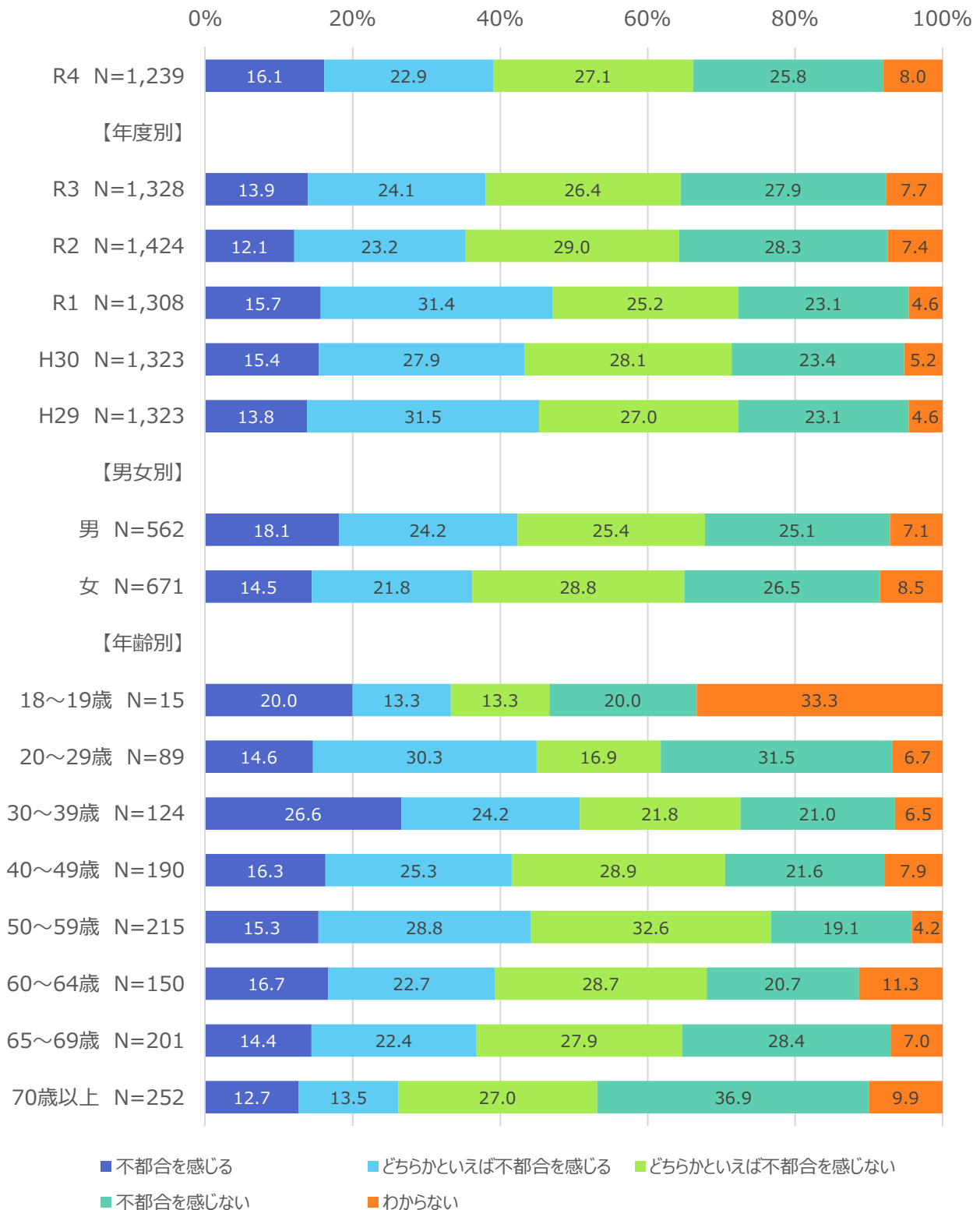
問24 あなたの身近な生活道路（市道等）を通行する際に不都合を感じますか。

**全体の約4割は生活道路に不都合を感じている。**

生活道路の状況を見ると、「不都合を感じる」が16.1%、「どちらかといえば不都合を感じる」が22.9%となっており、「不都合を感じている割合（「不都合を感じる」+「どちらかといえば不都合を感じる）」は39.0%となっている。

年齢別にみると、30～39歳が「不都合を感じている割合」が50.8%が最も多く、年齢が離れるにつれ割合が低くなる傾向となっている。

図27 生活道路の状況



問25 あなたは、次の公共交通機関を使いやすいと感じますか。また、最近1年間に次の公共交通機関をよく利用しましたか。

**全体の9割以上が公共交通機関をあまり利用していない。**

公共交通機関の最近一年間の利用状況をみると、いずれの公共交通機関も「あまり利用しなかった」が9割を超えている。公共交通機関の使いやすさをみると、「使いやすいと感じている割合（「使いやすいと感じる」+「どちらかといえば使いやすいと感じる）」はタクシーが18.6%と最も多く、次いで「JR城端線」が17.1%となっている。

図28 最近1年間の利用状況

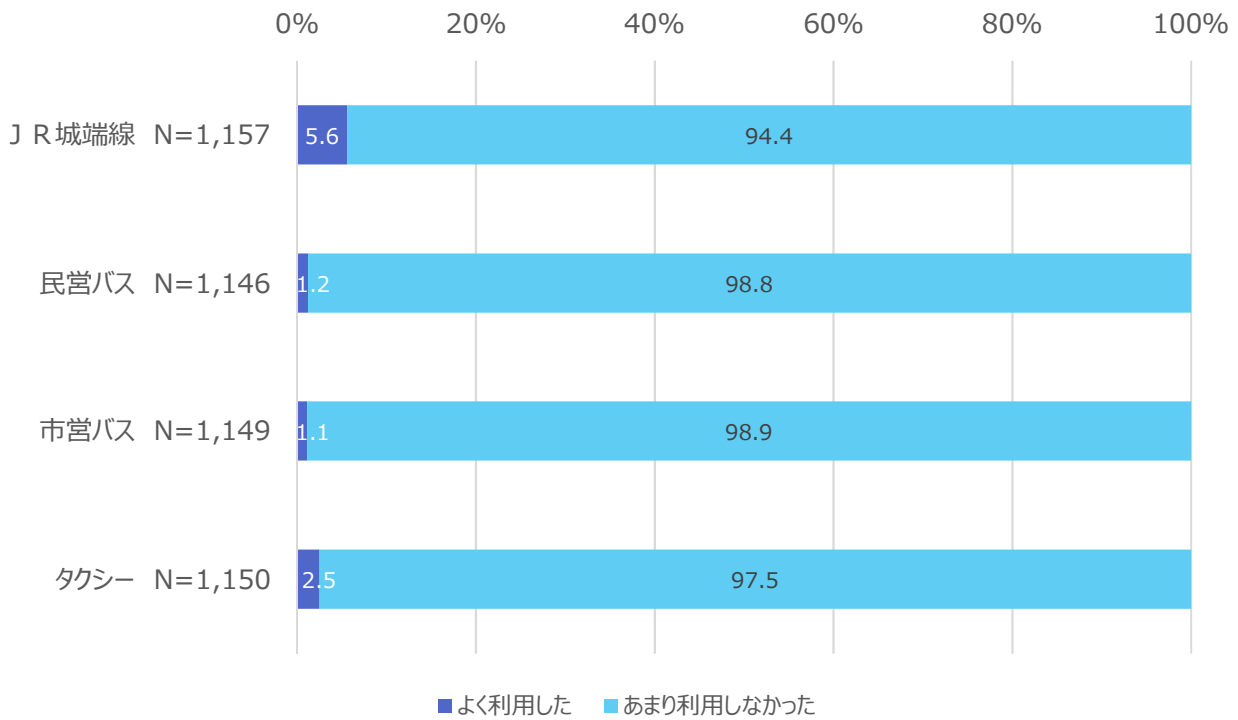
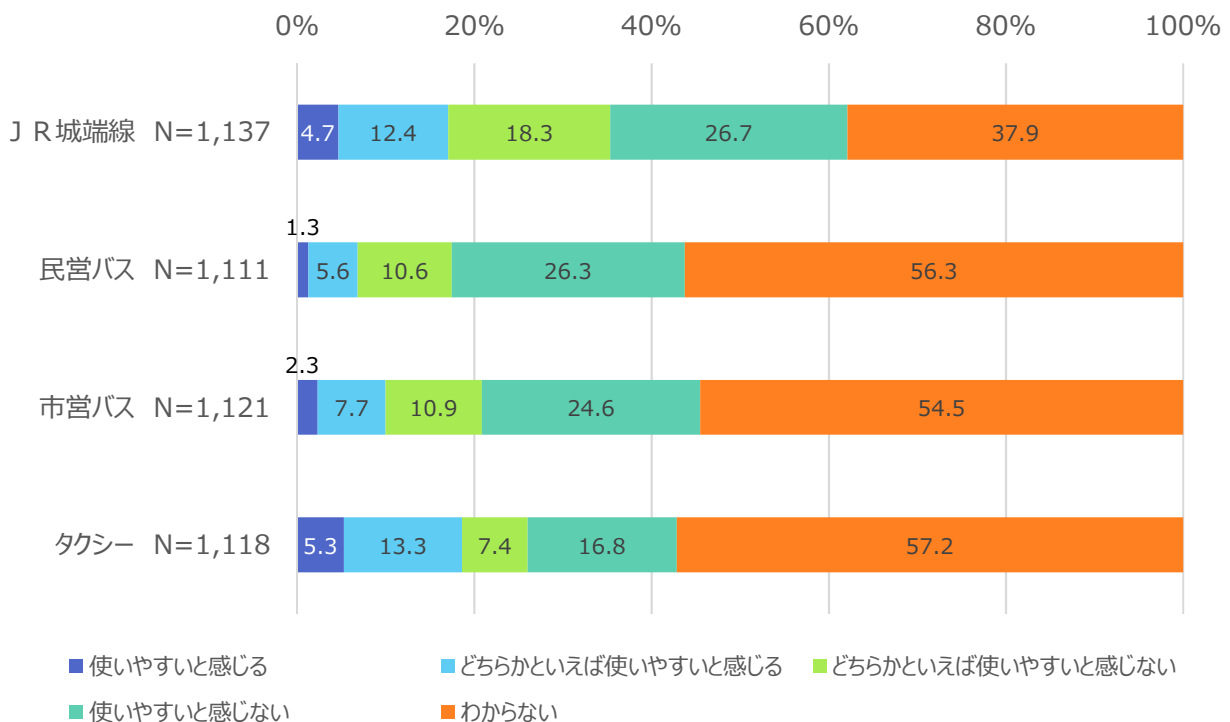


図29 公共交通機関の使いやすさ

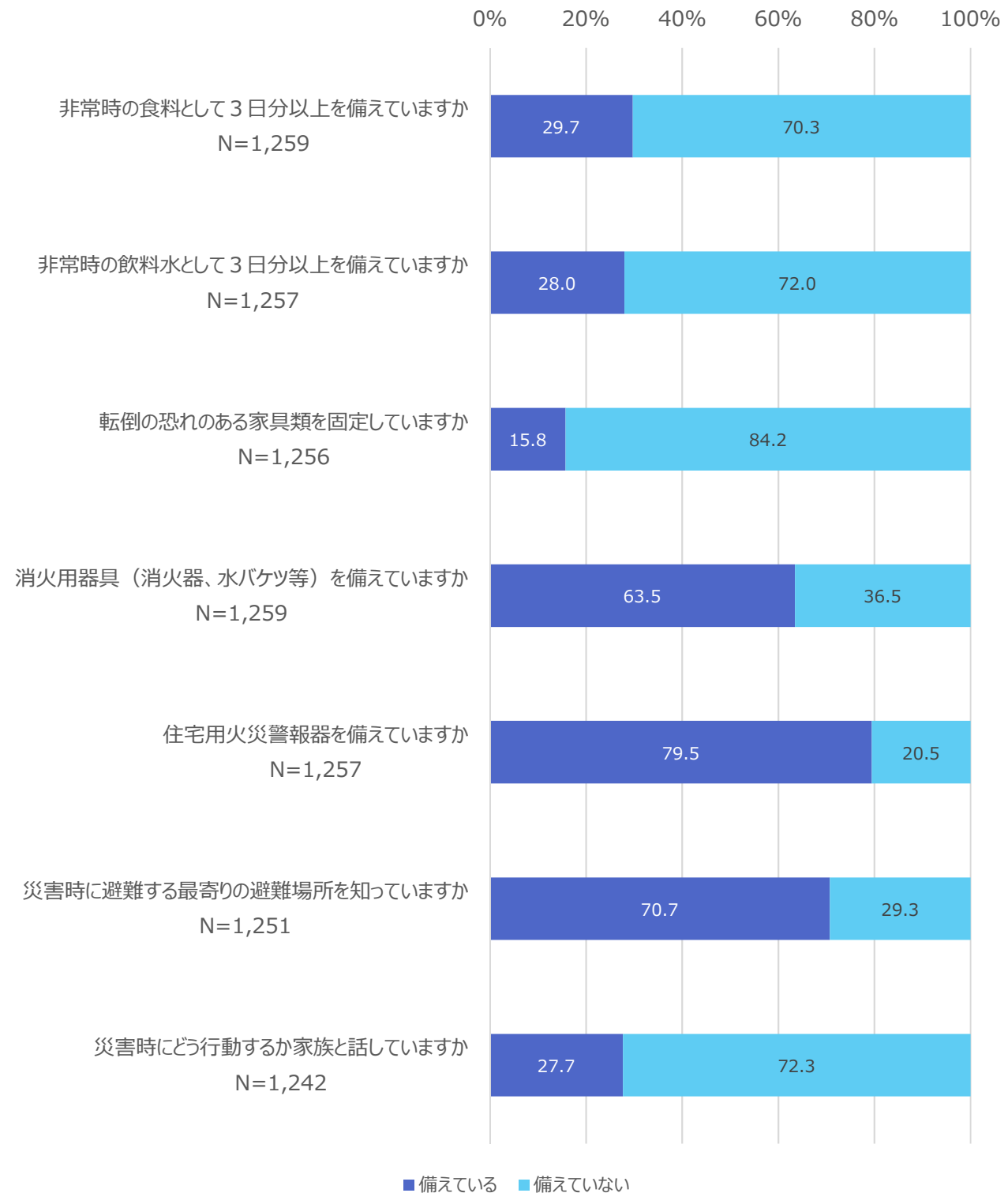


問26 あなたのお宅では、災害等（地震や水害など）の発生に対して、日頃から以下の備えをしていますか。

**火災に対する備えが主になっており、大規模な災害への備えは万全とは言えない。**

災害の発生に対する備えの状況を見ると、「住宅用火災警報器を備えている」が79.5%、「災害時に避難する最寄りの避難場所を知っている」が70.7%、「消火器具を備えている」が63.5%と、大半の家庭は火災への対策を行っている。一方で、非常用食料や飲料水の備蓄、家具の固定等の大規模災害への対策を行っている家庭は少ない状況となっている。

図30 災害等の発生に対する備えの状況



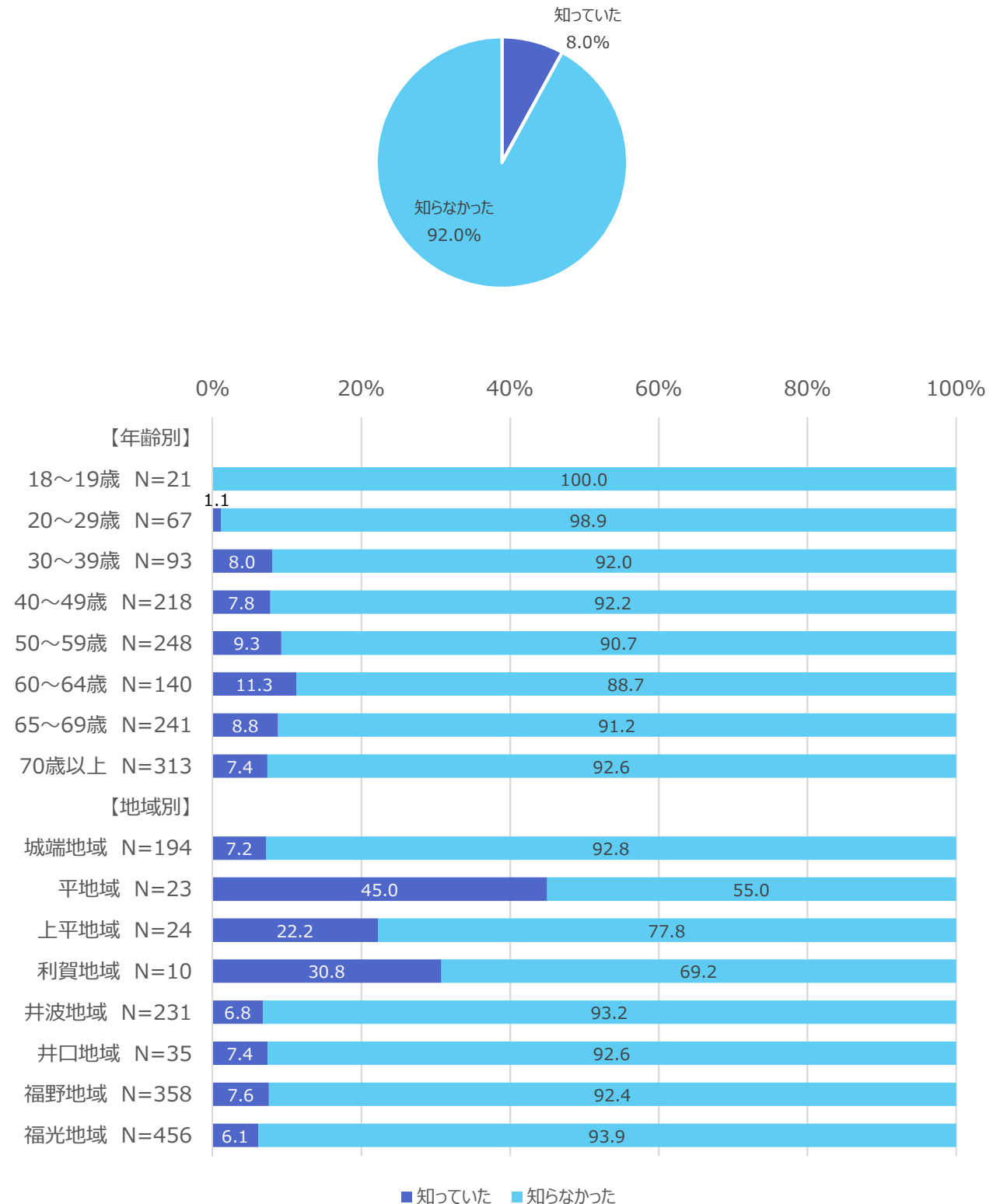
問27 行政防災無線の内容が聞き取れなかった場合、「聞き直しサービス（電話0763-53-2580）」で内容を確認することができます。あなたは、このサービスを知っていましたか。

**全体の9割は聞き直しサービスを知らない。**

行政防災無線の聞き直しサービスの認知状況を見ると、「知らなかった」が92.0%となっている。

地域別にみると、母数は少ないが、平地域、上平地域、利賀地域は「知っていた」が他の地域に比べ高くなっている。

図31 行政防災無線「聞き直しサービス」の認知状況 N=1,254



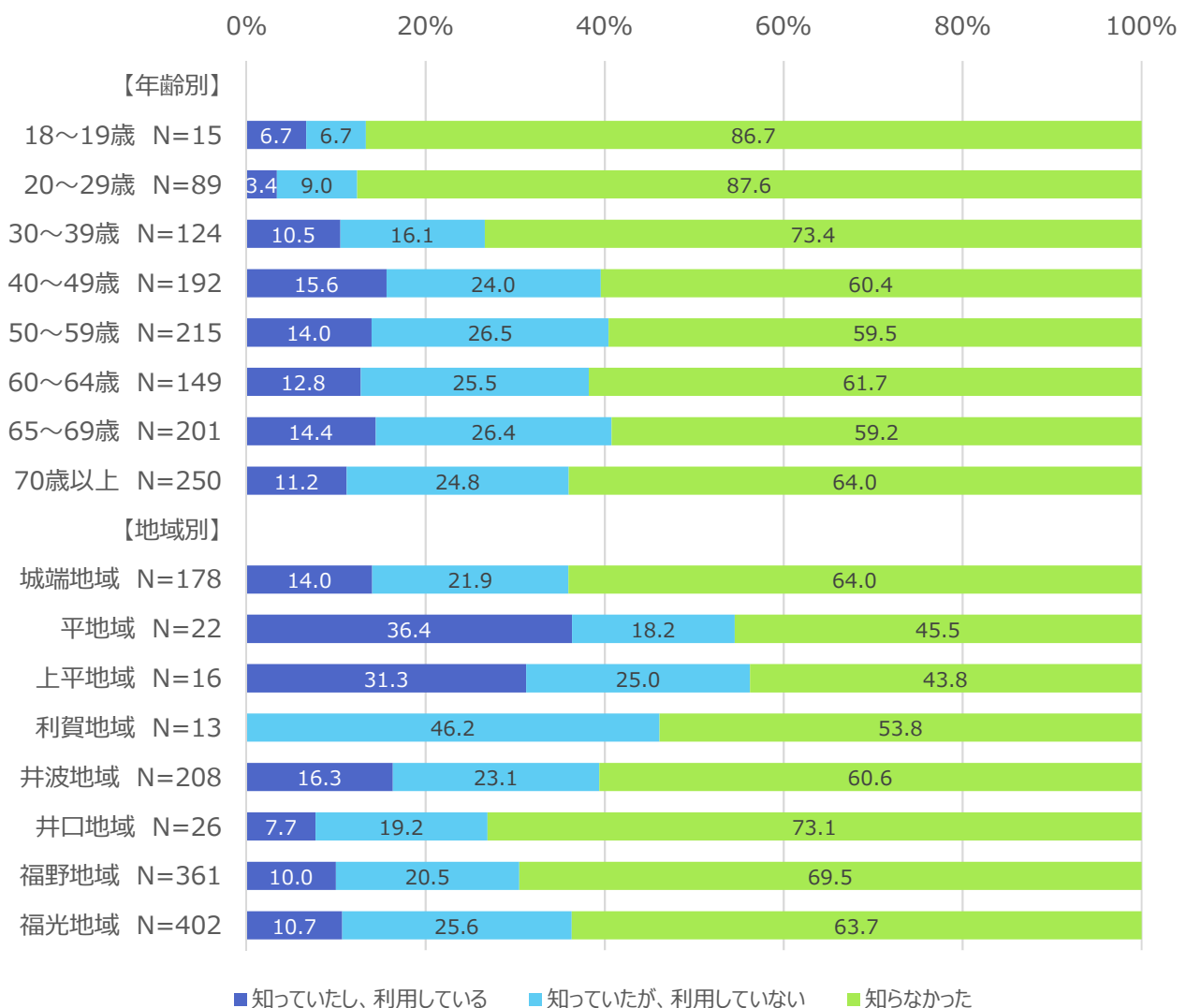
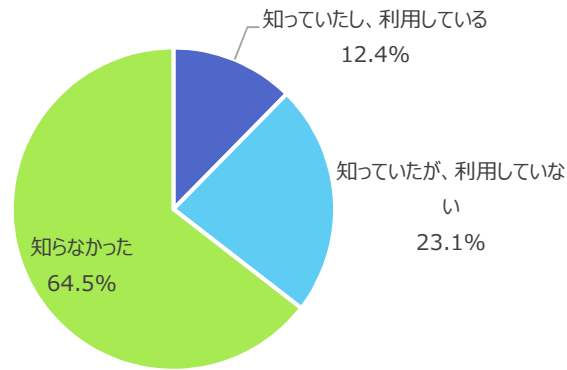
問28 あなたは、気象警報、避難情報やクマの出没情報などの防災情報や緊急情報を南砺市がメールやアプリで配信している以下のサービスを知っていましたか。

**全体の6割がなんと！緊急メールサービスを知らない。**

なんと！緊急メールサービスの認知状況をみると、「知っていたし、利用している」が12.4%、「知っていたが、利用していない」が23.1%、「知らなかった」が64.5%となっている。

年齢別みにみると、年代が高いほど「知っていた」が多い傾向にある。

図32 なんと！緊急メールサービスの認知状況 N=1,237

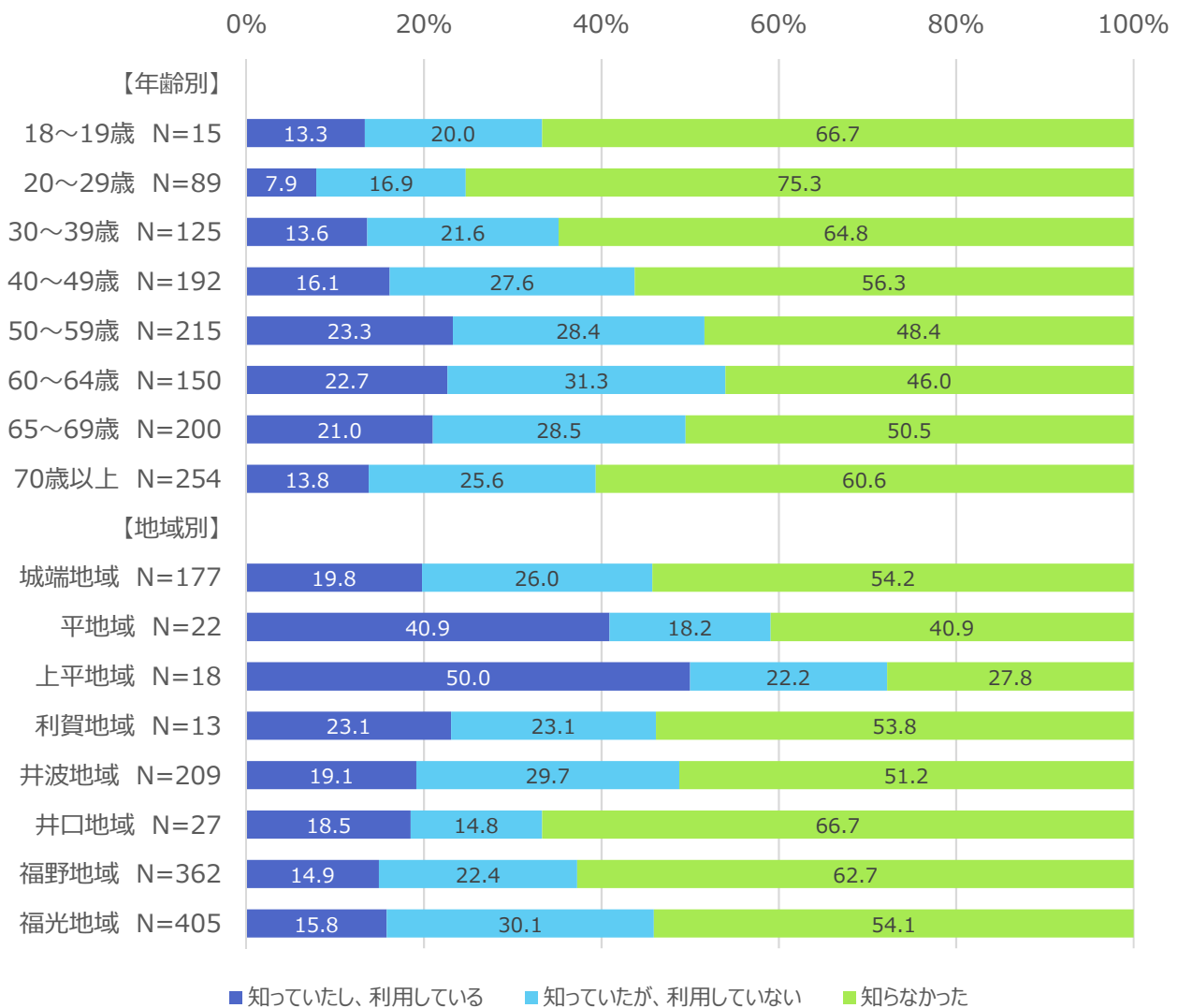
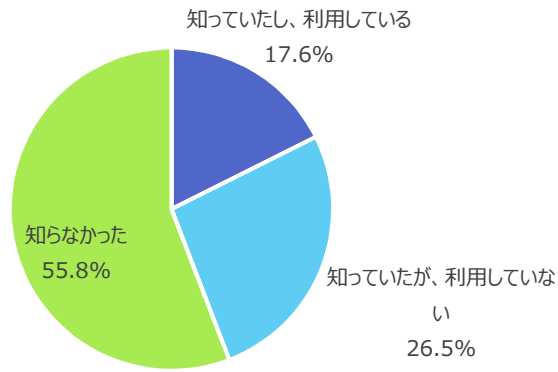


**全体の5割が南砺市防災アプリを知らない。**

南砺市防防災アプリの認知状況をみると、「知っていたし、利用している」が17.6%、「知っていたが、利用していない」が26.5%、「知らなかった」が55.8%となっている。

地域別みにみると、上平地域は「知っていた」が72.2%と最も多く、次いで平地域が59.1%となっている。

図33 南砺市防災アプリの認知状況 N=1,243





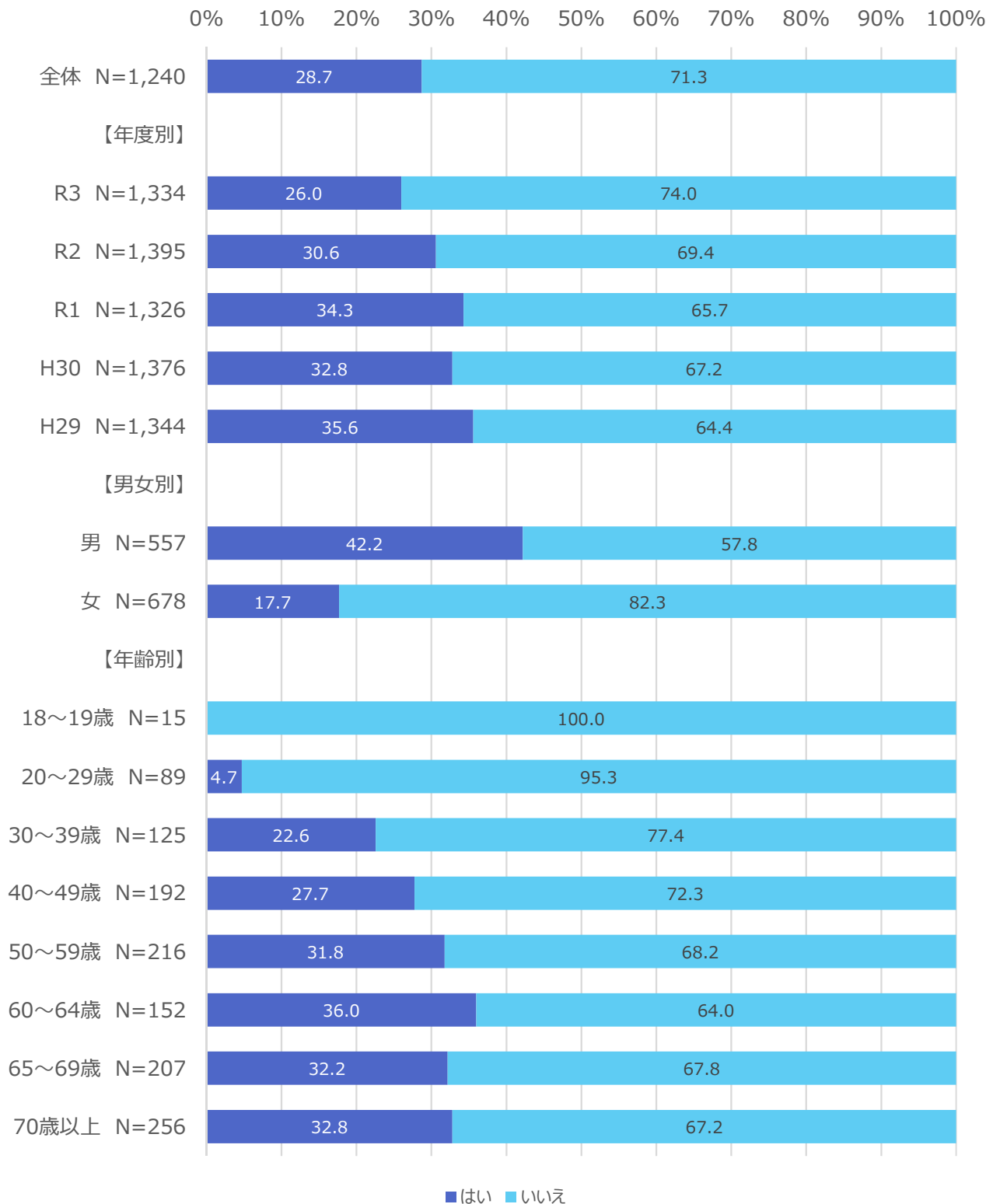
問29 あなたは、過去1年間に交通安全の活動や行事に参加しましたか。

**全体の約3割が過去1年間に交通安全の活動や行事に参加している。**

過去1年間の交通安全の活動や行事への参加状況をみると、「はい（参加した）」が28.7%、「いいえ（参加していない）」が71.3%となっている。

男女別にみると、男性が女性に比べて「はい（参加した）」が多く、年齢別にみると年齢が高くなるにつれて「はい（参加した）」が多くなる傾向にある。

図34 交通安全の活動や行事への参加状況



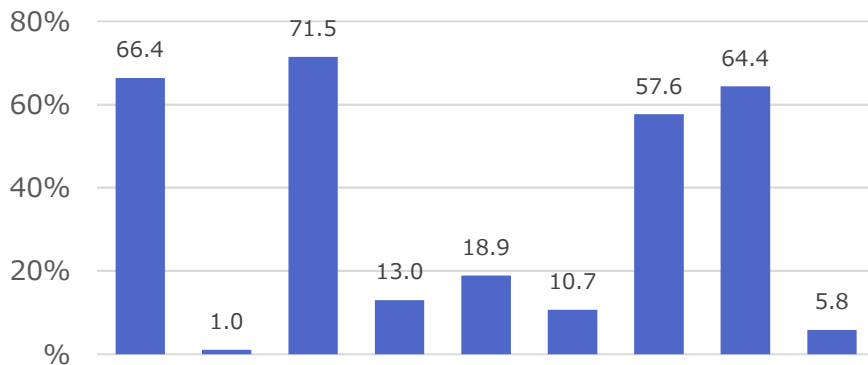
問30 あなたは、日常生活の中で犯罪に遭わないようにどのような取り組みをしていますか。

**全体の約7割が「住居の戸締り」に取り組んでいる。**

日常生活の中で防犯への取組状況をみると、「住居の戸締り」が71.5%と最も多く、次いで「自動車に関する防犯対策」が66.4%、「悪質商法対策」が64.4%となっている。

年齢別にみると、「悪質商法対策」は年代が高いほど多く取り組んでいる傾向にある。

図35 防犯への取り組み状況 (MA)



			自動車に関する防犯対策	防犯対策グッズの携帯	住居の戸締り	空き巣対策設備の設置	自動車に関する防犯対策	犯罪情報の入手	ネット犯罪対策	悪質商法対策	特に何も行っていない	その他
R4 N=1,258			66.4	1.0	71.5	13.0	18.9	10.7	57.6	64.4	5.8	
年度別	R3年	N=1,348	72.9	10.9	77.2	20.7	27.7	19.2	58.0	69.4	16.2	
	R2年	N=1,433	70.1	3.0	69.5	15.1	20.2	16.2	57.2	68.7	5.4	
	R1年	N=1,329	74.4	1.4	70.1	11.8	22.1	14.4	50.1	63.4	5.2	0.8
	H30年	N=1,378	70.8	1.2	68.5	11.5	23.7	12.1	46.7	61.8	5.9	1.2
	H29年	N=1,344	70.9	0.7	69.9	11.0	24.6	13.4	46.1	65.1	5.0	1.3
年齢別	18～19歳	N=15	53.3	0.0	66.7	6.7	86.7	6.7	53.3	33.3	0.0	
	20～29歳	N=89	53.9	2.2	70.8	9.0	24.7	7.9	56.2	42.7	10.1	
	30～39歳	N=126	38.1	3.2	65.9	12.7	17.5	10.3	65.1	61.9	7.1	
	40～49歳	N=191	25.1	1.6	71.2	14.7	23.0	7.9	62.3	57.6	7.9	
	50～59歳	N=218	22.0	1.4	69.3	10.1	20.2	12.4	64.2	61.0	5.0	
	60～64歳	N=153	31.4	0.7	70.6	18.3	15.0	11.8	64.7	62.7	3.3	
	65～69歳	N=206	23.3	0.0	74.8	14.1	14.1	11.2	52.4	69.9	4.9	
	70歳以上	N=258	18.6	0.0	74.4	12.0	15.9	11.6	45.7	79.5	5.4	
地域別	城端地域	N=182	73.1	1.6	69.2	11.0	11.0	11.5	54.9	69.2	1.6	
	平地域	N=22	54.5	0.0	45.5	9.1	9.1	4.5	72.7	68.2	13.6	
	上平地域	N=18	66.7	5.6	55.6	5.6	5.6	16.7	61.1	66.7	0.0	
	利賀地域	N=13	69.2	0.0	53.8	0.0	0.0	7.7	61.5	69.2	0.0	
	井波地域	N=209	65.1	1.0	72.7	14.4	19.1	12.4	62.7	60.8	5.7	
	井口地域	N=26	61.5	0.0	42.3	3.8	7.7	3.8	50.0	61.5	19.2	
	福野地域	N=368	64.9	0.8	76.6	14.1	21.2	11.1	56.5	64.1	6.0	
	福光地域	N=409	66.0	0.7	71.6	13.7	22.7	9.3	57.2	63.8	6.8	

※図中の回答項目は、調査票の表現を要約し記載しています。

※H29年からR1年は設問内容に相違があります。

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

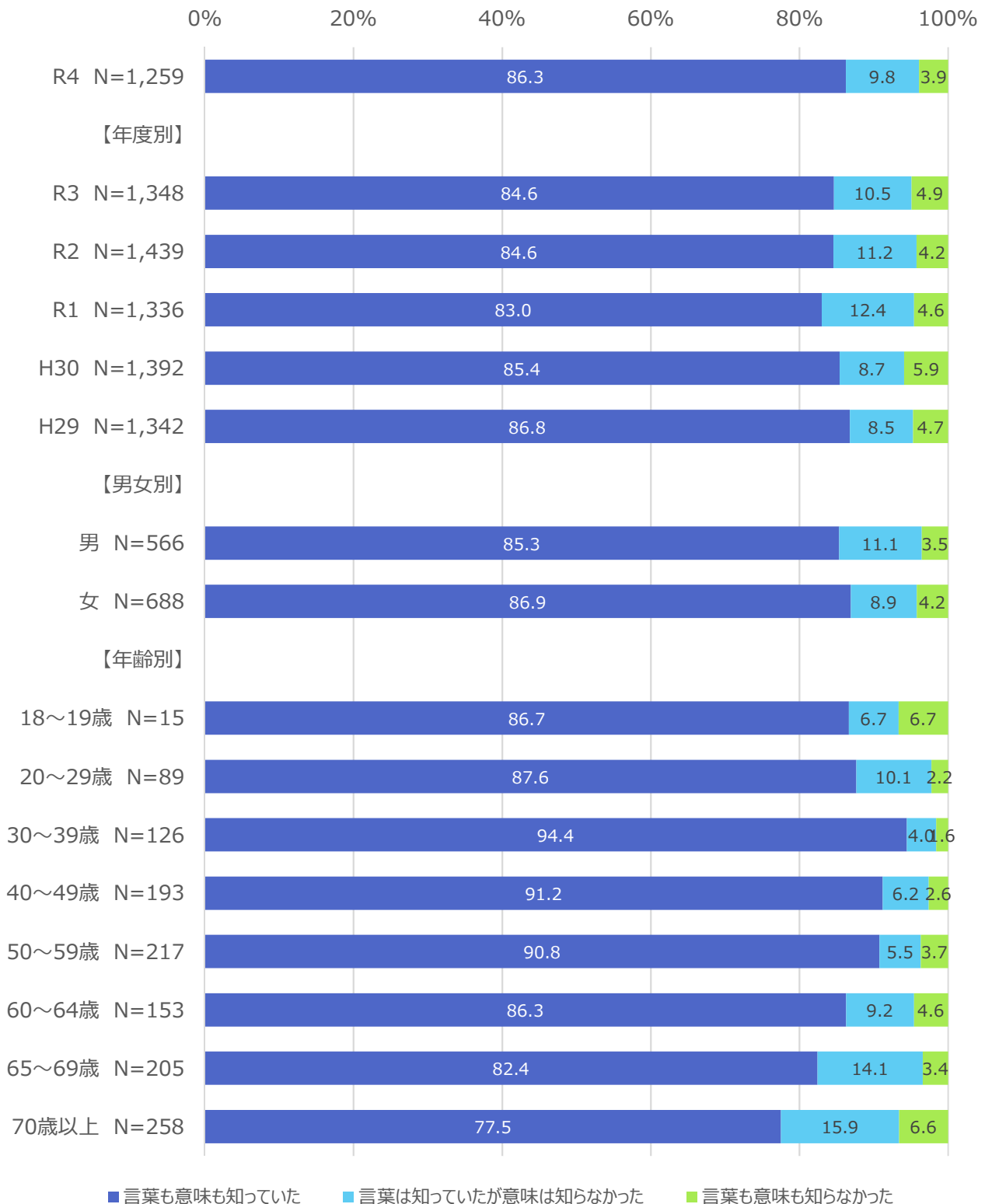
問31 クーリング・オフ制度とは、訪問販売など特定の取引について、いったん契約した場合でも、一定期間は消費者からの一方的な契約解除を認める制度です。あなたは、この制度のことを知っていましたか。

**全体の約9割はクーリング・オフの言葉も意味も認知している。**

クーリング・オフ制度の認知状況をみると、「言葉も意味も知っていた」が86.3%と最も多く、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が9.8%、「言葉も意味も知らなかった」が3.9%となっている。

年度別にみると、クーリング・オフ制度の認知度は増加してきている。

図36 クーリング・オフ制度の認知状況



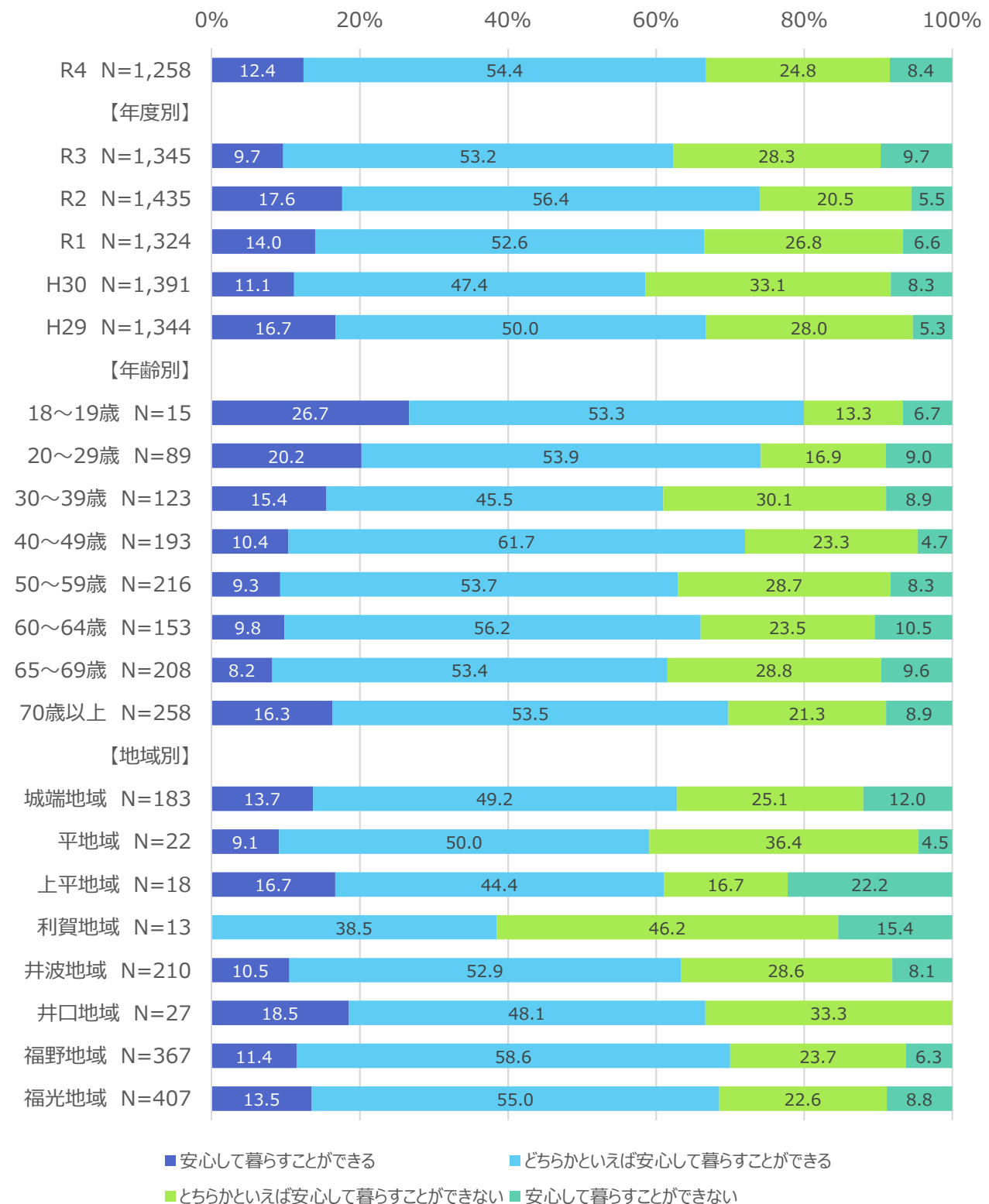
問32 あなたは、冬期に安心して暮らすことができると感じますか。

**全体の約7割が冬期に安心して暮らすことができている。**

冬期の暮らしをみると、「安心して暮らすことができる」が12.4%、「どちらかといえば安心して暮らすことができる」が54.4%となっている。

地域別にみると、利賀地域は「安心して暮らすことができない割合（「どちらかといえば安心して暮らすことができない」+「安心して暮らすことができない）」が61.6%と最も高くなっている。

図37 冬期の暮らし



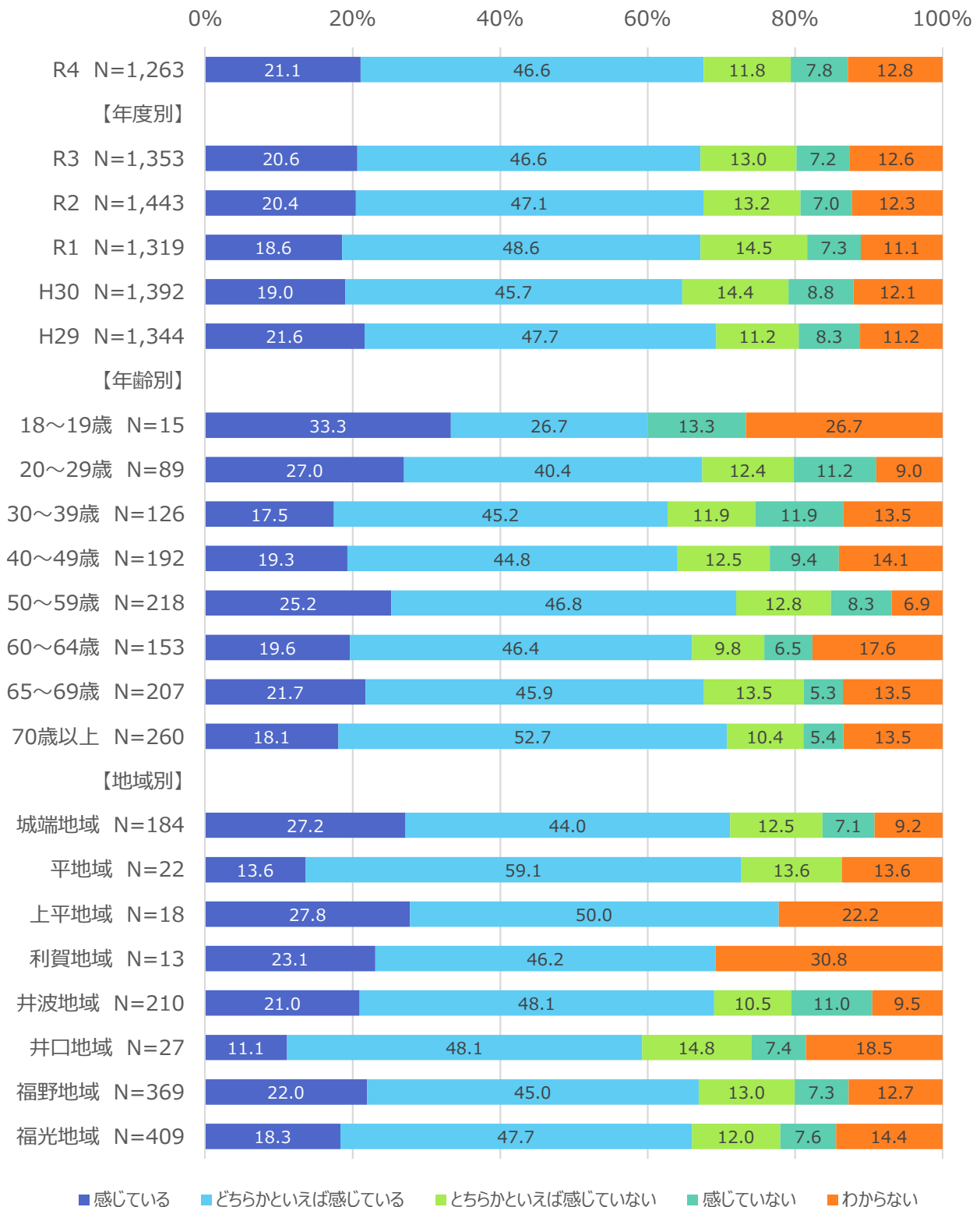
問33 あなたは、南砺市への「誇り」や「愛着」を感じていますか。

**全体の6割が南砺市への「誇り」や「愛着」を感じている。**

南砺市への「誇り」や「愛着」を感じているかをみると、「感じている」が21.1%、「どちらかといえば感じている」が46.6%、「どちらかといえば感じていない」が11.8%、「感じていない」が7.8%などとなっている。

地域別でみると、上平地域が「感じている割合（「感じている」+「どちらかといえば感じている」）が77.8%と最も多く、次いで平地域が72.7%となっている。

図38 南砺市への「誇り」や「愛着」



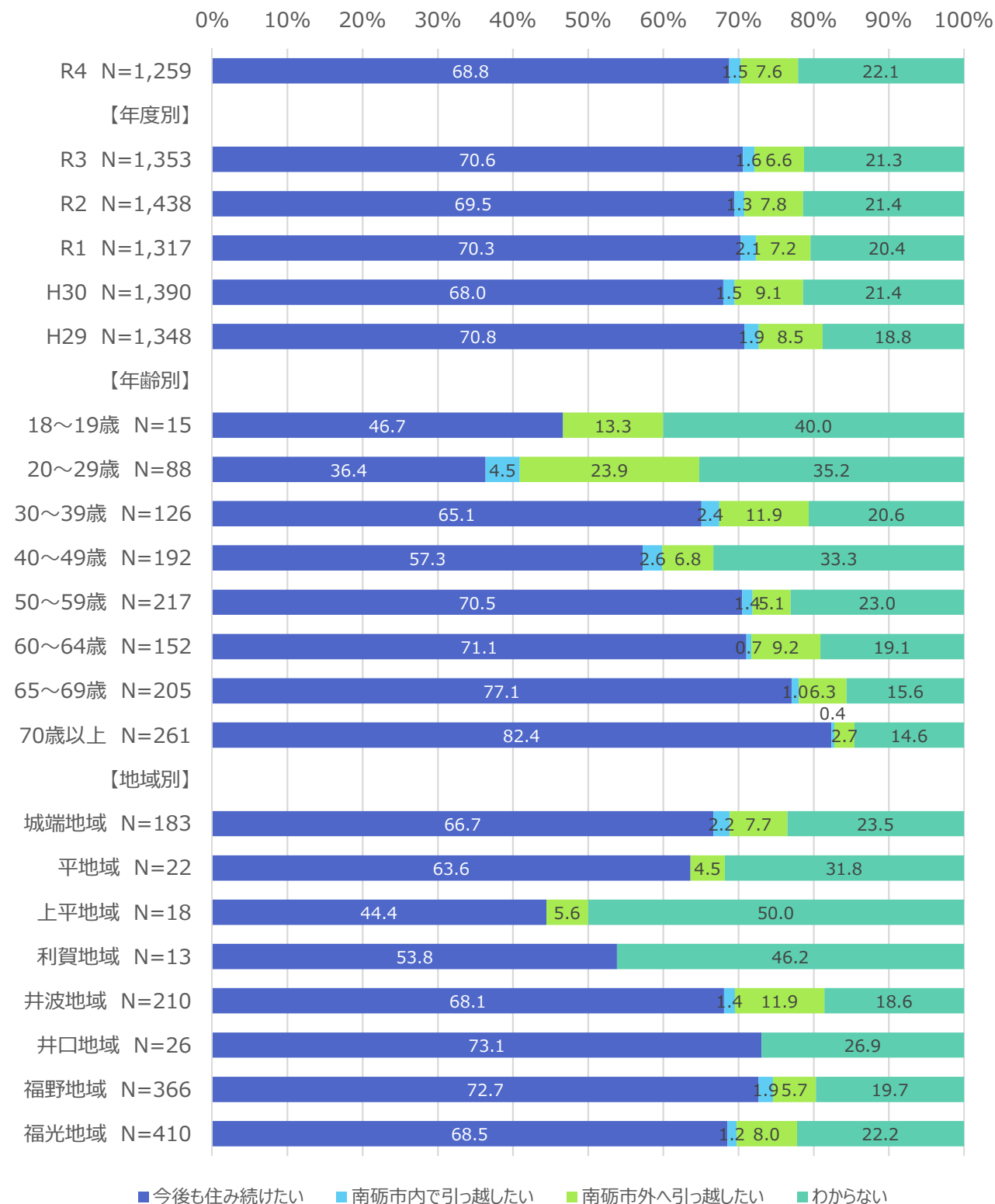
問34 あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。

**全体の約7割は、今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思っている。**

今後も現在住んでいる地域に住み続けたいかをみると、「今後も住み続けたい」が68.8%、「南砺市内で引越したい」が1.5%、「南砺市外へ引越したい」が7.6%、「わからない」が22.1%となっている。

年齢別にみると、年齢が高いほど「今後も住み続けたい」が多い傾向にあり、70歳以上が82.4%で最も多い。一方で年齢が若いほど「わからない」が多い傾向にある。

図39 今後も現在住んでいる地域に住み続けたいか



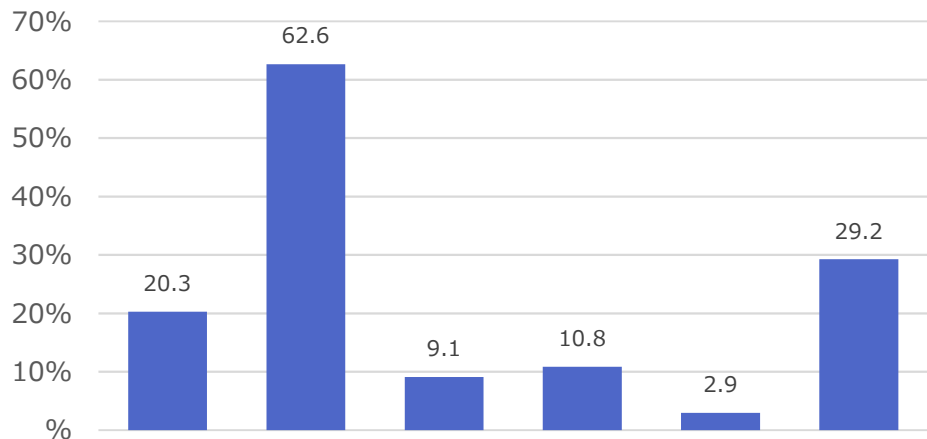
問35 問34で「1. 今後も住み続けたい」と回答した方にお聞きます。そう思う理由は何ですか。

**現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由は「自然が豊かだから」。**

今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由をみると、「自然が豊かだから」が62.6%と最も多く、次いで「通勤・通学に便利な立地だから」が20.3%、「高齢者支援が充実しているから」が10.8%となっている。

年齢別にみると、「子育て支援が充実しているから」は30～39歳が41.2%と最も多かった。

図40 今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思う理由 (MA)



		立地から	自然が豊かだから	子育て支援が充実しているから	高齢者支援が充実しているから	教育が充実しているから	その他
R4 N=859		20.3	62.6	9.1	10.8	2.9	29.2
年度別	R3年 N=940	22.1	61.1	7.6	12.9	2.9	30.3
	R2年 N=998	25.7	60.5	10.9	11.4	3.3	26.1
	R1年 N=918	22.2	61.1	9.5	9.6	2.8	29.0
	H30年 N=936	24.3	60.9	9.2	11.5	2.1	29.0
	H29年 N=930	24.1	64.7	7.6	11.2	3.8	24.4
年齢別	18～19歳 N=7	0.0	85.7	28.6	0.0	14.3	42.9
	20～29歳 N=33	27.3	51.5	15.2	3.0	0.0	27.3
	30～39歳 N=85	27.1	55.3	41.2	3.5	4.7	28.2
	40～49歳 N=112	32.1	53.6	20.5	6.3	5.4	32.1
	50～59歳 N=151	26.5	63.6	2.6	6.0	2.6	31.8
	60～64歳 N=107	17.8	61.7	3.7	7.5	1.9	31.8
	65～69歳 N=152	13.2	66.4	1.3	13.8	2.0	27.0
	70歳以上 N=211	12.8	68.2	1.4	20.9	2.4	26.5
地域別	城端地域 N=120	18.3	65.0	10.0	9.2	2.5	34.2
	平地地域 N=14	0.0	78.6	0.0	7.1	0.0	21.4
	上平地地域 N=8	12.5	75.0	12.5	25.0	12.5	37.5
	利賀地域 N=7	0.0	71.4	14.3	0.0	0.0	14.3
	井波地域 N=143	15.4	65.0	9.1	11.9	3.5	28.7
	井口地域 N=18	16.7	61.1	11.1	11.1	11.1	33.3
	福野地域 N=264	25.0	53.8	11.7	7.2	1.5	34.5
	福光地域 N=279	21.5	67.4	6.5	14.3	3.6	22.6

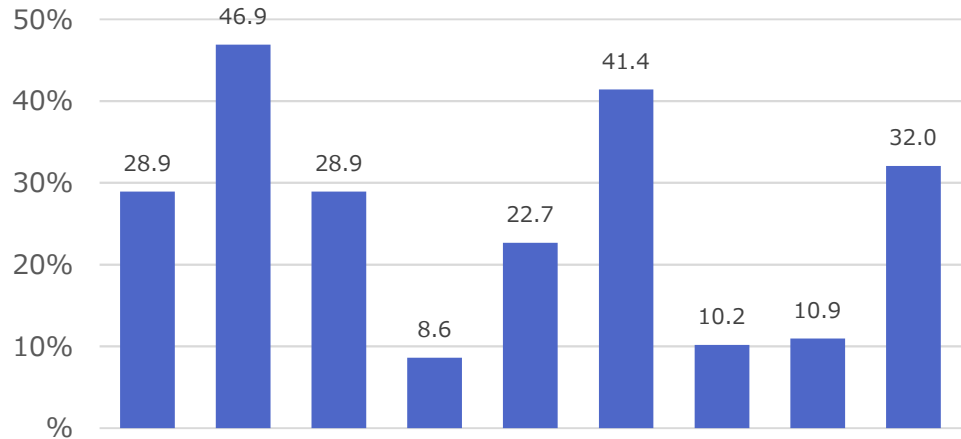
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問36 問34で「2. 南砺市内で引っ越したい」、「3. 南砺市外へ引っ越したい」と回答した方にお聞きます。  
 そう思う理由は何ですか。

**現在の住まいから引っ越したい理由の5割は「買い物など日常生活が不便」**

現在の住まいから引っ越したいと思う理由をみると、「買い物など日常生活が不便だから」が46.9%、次いで「公共交通が不便だから」が41.4%、「医療機関が充実していないから」が28.9%などとなっている。

図41 現在の住まいから引っ越したいと思う理由（MA）



		ら 通勤・通学が不便だか	買 い物など日常生活が 不便だから	医 療機関が充実してい ないから	ら 教育機関がよくないか	柄 近所づきあいなど土地 になじめないから	公 共交通が不便だから	い 子育て環境が充分でな いから	以 外にいるから	そ の他
R4 N=124		28.9	46.9	28.9	8.6	22.7	41.4	10.2	10.9	32.0
年 度 別	R3年 N=146	29.8	59.7	31.5	8.1	28.2	43.5	6.5	18.5	21.0
	R2年 N=149	32.2	57.5	32.9	7.5	23.3	52.7	7.5	9.6	23.3
	R1年 N=162	35.6	58.4	30.2	6.7	26.2	50.3	6.7	15.4	20.1
	H30年 N=145	37.0	47.5	35.2	9.9	19.8	49.4	6.2	9.3	25.9
	H29年 N=154	32.4	56.6	35.2	11.0	18.6	46.9	8.3	15.9	22.1
年 齢 別	18～19歳 N=2	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	20～29歳 N=25	60.0	36.0	16.0	8.0	12.0	44.0	8.0	4.0	20.0
	30～39歳 N=20	35.0	55.0	25.0	10.0	25.0	40.0	15.0	10.0	35.0
	40～49歳 N=19	31.6	52.6	36.8	15.8	21.1	36.8	21.1	5.3	36.8
	50～59歳 N=17	17.6	47.1	35.3	5.9	29.4	35.3	5.9	17.6	35.3
	60～64歳 N=14	14.3	50.0	35.7	7.1	42.9	71.4	7.1	7.1	35.7
	65～69歳 N=19	5.3	36.8	31.6	0.0	21.1	21.1	5.3	15.8	42.1
70歳以上 N=12	8.3	50.0	25.0	8.3	8.3	41.7	0.0	25.0	25.0	
地 域 別	城端地域 N=19	36.8	47.4	36.8	0.0	21.1	42.1	0.0	0.0	36.8
	平地地域 N=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	上平地地域 N=1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	利賀地域 N=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	井波地域 N=29	27.6	55.2	13.8	6.9	13.8	41.4	10.3	6.9	34.5
	井口地域 N=0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	福野地域 N=34	20.6	32.4	35.3	2.9	26.5	23.5	2.9	20.6	35.3
	福光地域 N=43	32.6	51.2	27.9	16.3	25.6	53.5	18.6	11.6	25.6

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。



問37 ご家庭に18歳未満のお子さん（弟、妹、子、孫等）がいらっしゃる方にお尋ねします。あなたのご家庭には、次のお子さんは何人いらっしゃいますか。

**全体の3割は家庭に18歳未満のお子さんがいる。**

18歳未満のお子さんの有無をみると、「いる」が32.4%、「いない」が67.6%となっている。

図42 18歳未満のお子さんの有無

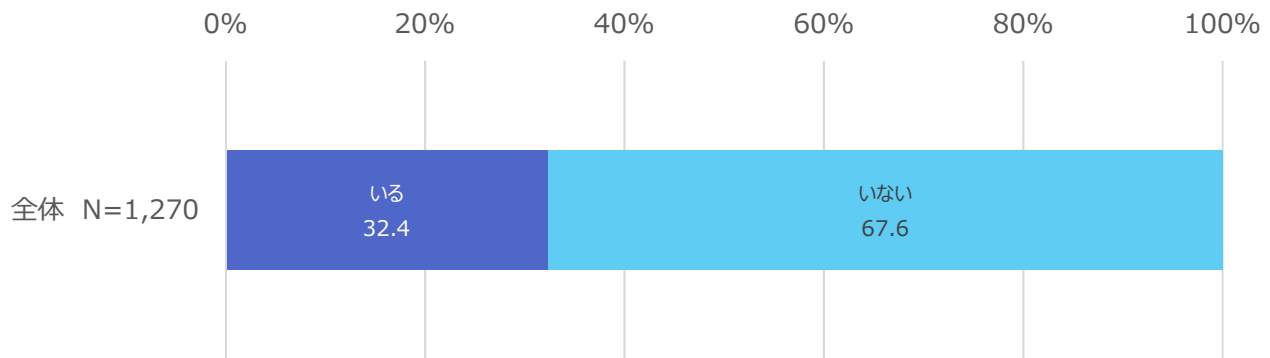
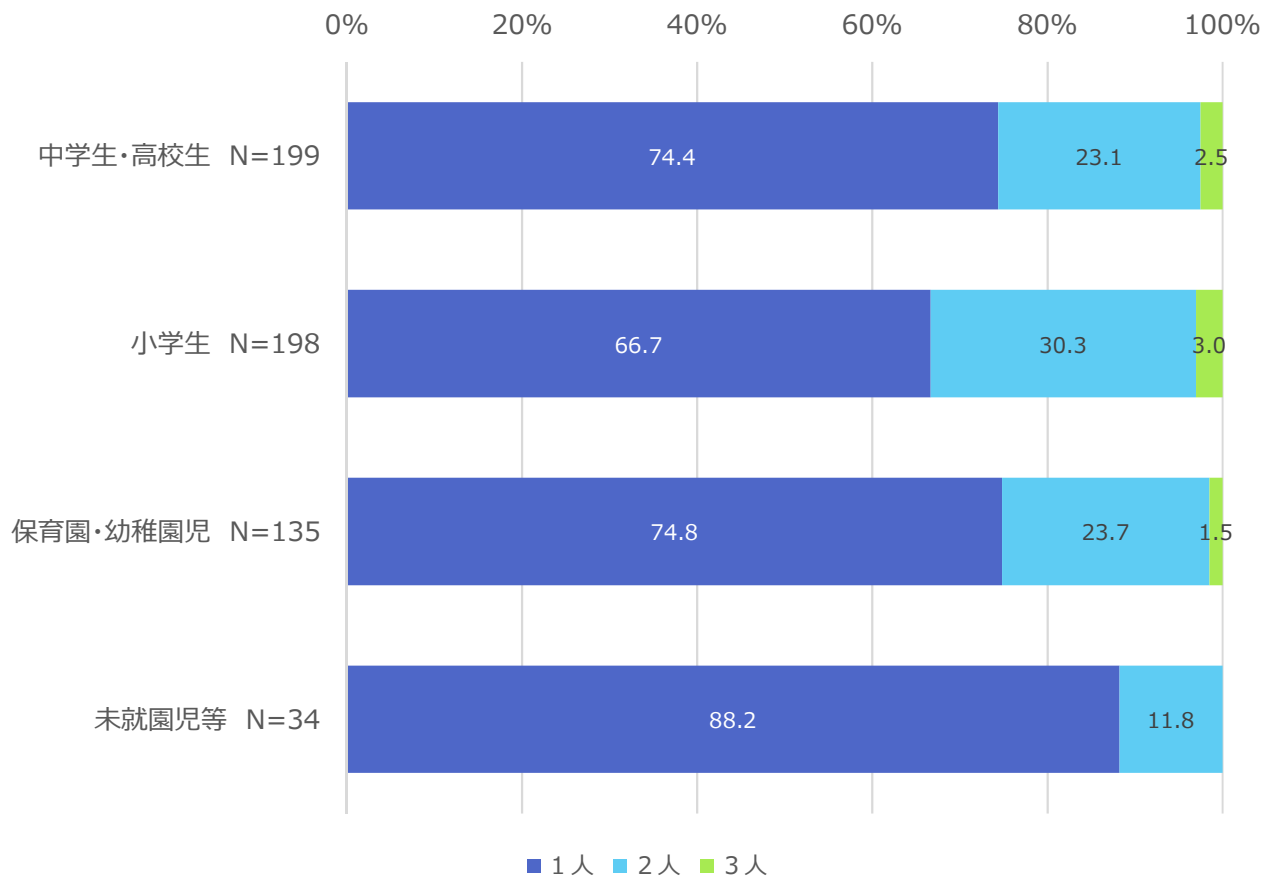


図43 18未満のお子さんの内訳 (MA)

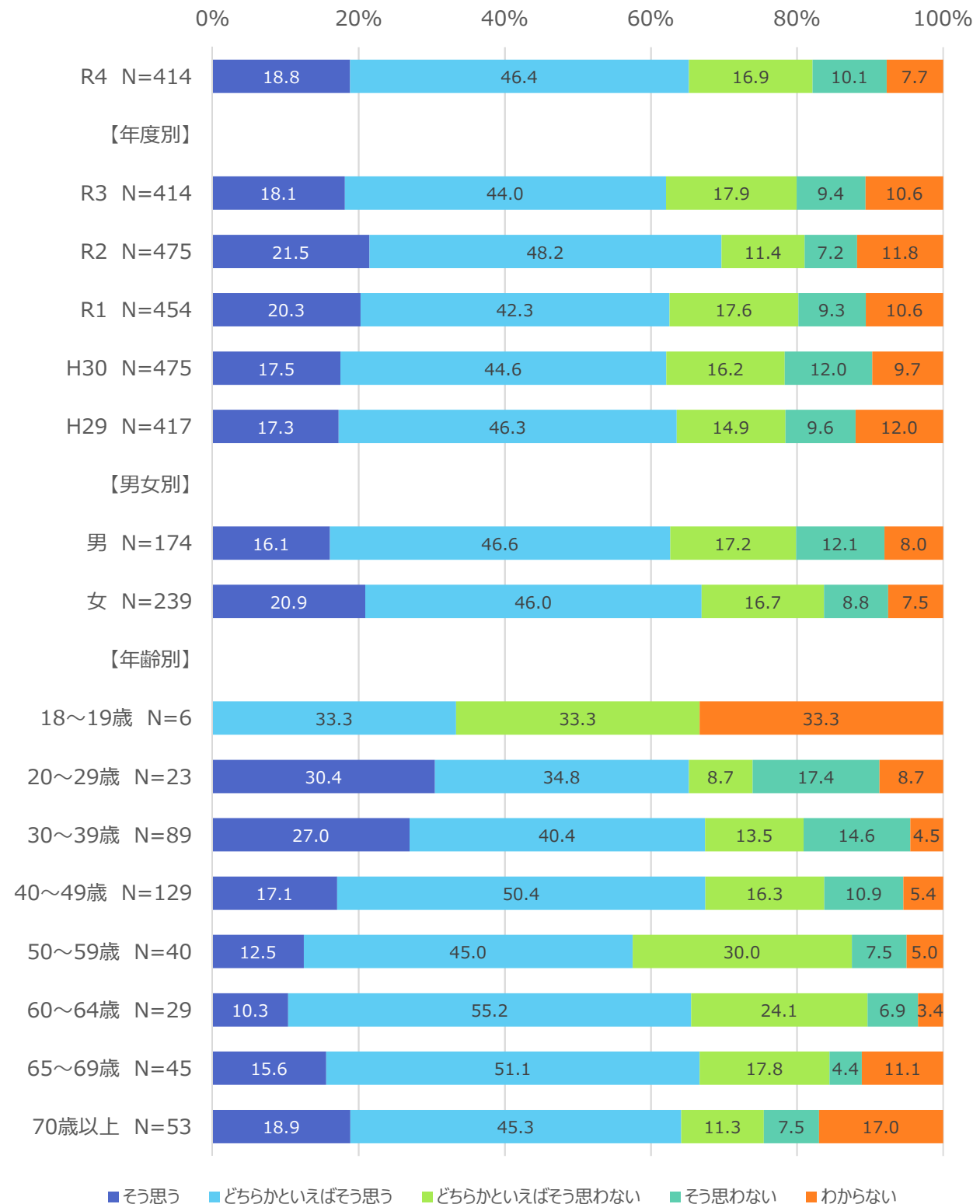


問38 ご家庭に18歳未満のお子さん（弟、妹、子、孫等）がいらっしゃる方にお尋ねします。あなたは、南砺市では就労しながら無理なく子育てをすることができますか。

**全体の6割は就労しながら無理なく子育てができていると思っている。**

就労しながら無理なく子育てをすることができるかをみると、「そう思う」が18.8%、「どちらかといえばそう思う」が46.4%、「どちらかといえばそう思わない」が16.9%、「そう思わない」が10.1%となっており、「そう思っている割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う）」が65.2%になっている。

図44 就労しながら無理なく子育てできるか

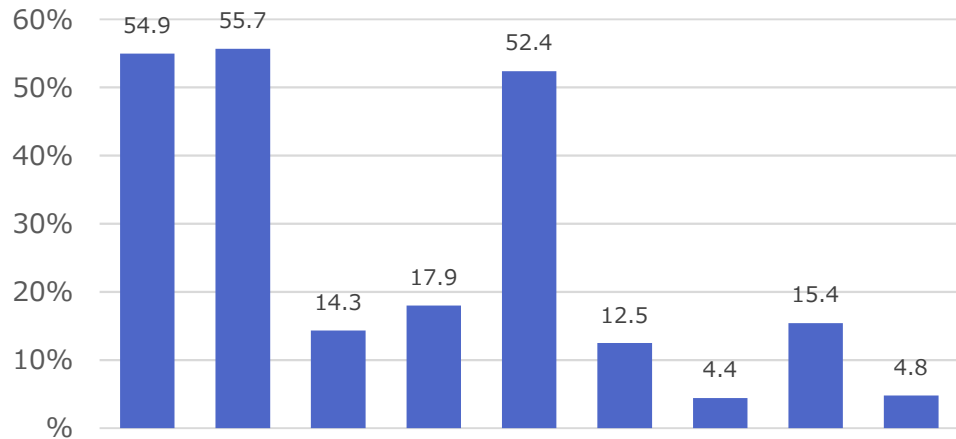


問39 問38で「1. そう思う」、「2. どちらかといえばそう思う」と回答した方にお聞きます。そう思う理由は何ですか。

**就労しながら無理なく子育てができると思う理由は「子どもを預ける場が充実しているから」が最も多い。**

就労しながら無理なく子育てができると思う理由をみると、「子どもを預ける場が充実しているから」が55.7%と最も多く、次いで「保育サービスが充実しているから」が54.9%、「医療費助成が充実しているから」が52.4%となっている。

図45 就労しながら無理なく子育てができると思う理由 (MA)



			保育サービスが充実しているから	子どもを預ける場が充実しているから	子どもを遊ばせる場が多いから	小児医療体制が整っているから	医療費助成が充実しているから	教育環境が充実しているから	相談サービスが充実しているから	周りに相談できる人・団体があるから	その他
R4 N=124			54.9	55.7	14.3	17.9	52.4	12.5	4.4	15.4	4.8
年度別	R3年	N=251	56.2	59.4	21.9	15.5	52.2	14.3	6.0	13.1	5.6
	R2年	N=323	59.1	61.0	25.4	19.5	53.9	10.8	5.0	14.6	5.3
	R1年	N=284	66.2	63.0	20.4	23.2	53.2	10.2	4.6	10.2	4.6
	H30年	N=297	63.6	60.3	19.5	22.2	53.2	10.8	5.4	11.4	3.0
	H29年	N=310	61.0	53.8	15.9	22.0	49.6	14.4	4.9	10.6	6.1
年齢別	18～19歳	N=1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	N=15	60.0	40.0	13.3	6.7	40.0	13.3	6.7	6.7	0.0
	30～39歳	N=63	61.9	50.8	20.6	19.0	52.4	6.3	4.8	30.2	4.8
	40～49歳	N=87	48.3	54.0	11.5	21.8	57.5	13.8	2.3	12.6	4.6
	50～59歳	N=24	41.7	45.8	16.7	20.8	66.7	29.2	8.3	25.0	4.2
	60～64歳	N=18	77.8	72.2	16.7	5.6	33.3	5.6	0.0	5.6	0.0
	65～69歳	N=31	51.6	71.0	12.9	16.1	48.4	9.7	3.2	6.5	6.5
70歳以上	N=34	55.9	58.8	8.8	17.6	50.0	14.7	8.8	5.9	8.8	
地域別	城端地域	N=41	48.8	46.3	12.2	17.1	63.4	7.3	2.4	9.8	4.9
	平地地域	N=5	60.0	60.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	上平地地域	N=5	100.0	60.0	20.0	20.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	利賀地域	N=2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	井波地域	N=48	58.3	70.8	16.7	20.8	47.9	4.2	0.0	22.9	4.2
	井口地域	N=4	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	福野地域	N=92	56.5	58.7	10.9	16.3	48.9	15.2	5.4	13.0	3.3
	福光地域	N=74	54.1	47.3	17.6	21.6	54.1	17.6	8.1	14.9	8.1

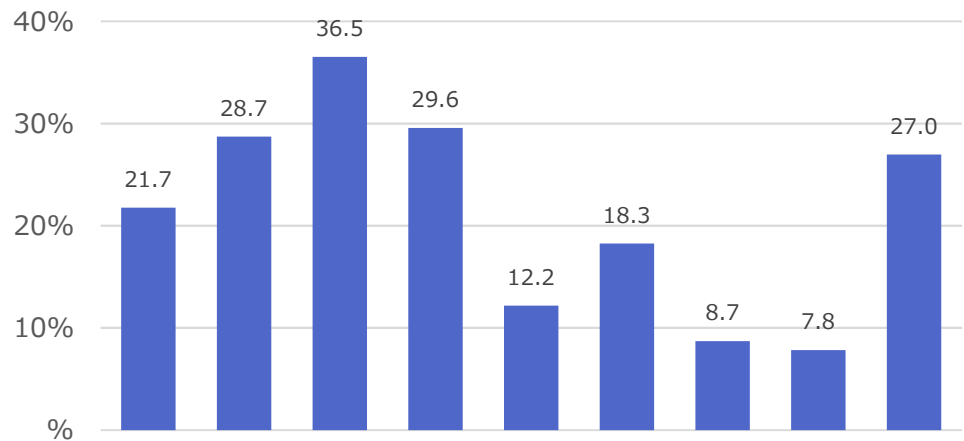
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問40 問38で「3. どちらかといえばそう思わない」、「4. そう思わない」と回答した方にお聞きます。そう思う理由は何ですか。

**就労しながら無理なく子育てができると思わない理由は「子供を遊ばせる場が少ないから」が最も多い。**

就労しながら無理なく子育てができると思わない理由をみると、「子供を遊ばせる場が少ないから」が36.5%と最も多く、次いで「小児医療体制が不十分だから」が29.6%となっている。

図46 就労しながら無理なく子育てできると思わない理由 (MA)



		保育サービスが不十分だから	子どもを預ける場が少ないから	子どもを遊ばせる場が少ないから	小児医療体制が不十分だから	医療費助成が不十分だから	教育環境が不十分だから	相談サービスが不十分だから	周りに相談できる人・団体がいないから	その他
R4 N=115		21.7	28.7	36.5	29.6	12.2	18.3	8.7	7.8	27.0
年度別	R3年 N=88	22.3	29.5	41.1	33.0	16.1	27.7	13.4	11.6	23.2
	R2年 N=106	22.7	25.0	38.6	30.7	10.2	22.7	9.1	10.2	28.4
	R1年 N=131	26.4	27.4	30.2	26.4	8.5	27.4	6.6	7.5	17.9
	H30年 N=93	16.0	16.8	33.6	35.1	19.8	22.9	9.9	13.0	26.7
	H29年 N=123	24.5	22.4	32.7	35.7	17.3	24.5	14.3	11.2	27.6
年齢別	18～19歳 N=2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	20～29歳 N=6	16.7	16.7	83.3	50.0	33.3	50.0	50.0	0.0	0.0
	30～39歳 N=24	25.0	33.3	50.0	29.2	4.2	16.7	4.2	4.2	29.2
	40～49歳 N=36	13.9	33.3	27.8	25.0	13.9	19.4	2.8	5.6	38.9
	50～59歳 N=18	33.3	27.8	38.9	38.9	16.7	22.2	11.1	16.7	16.7
	60～64歳 N=10	20.0	20.0	30.0	30.0	0.0	30.0	20.0	10.0	20.0
	65～69歳 N=9	44.4	44.4	55.6	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0
	70歳以上 N=10	10.0	10.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0
地域別	城端地域 N=16	37.5	37.5	43.8	37.5	6.3	6.3	18.8	0.0	18.8
	平地地域 N=2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0
	上平地地域 N=2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	利賀地域 N=1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	井波地域 N=27	11.1	22.2	33.3	22.2	18.5	7.4	7.4	14.8	37.0
	井口地域 N=3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	福野地域 N=31	29.0	32.3	35.5	29.0	16.1	19.4	12.9	9.7	19.4
	福光地域 N=33	15.2	33.3	42.4	39.4	9.1	33.3	3.0	6.1	21.2

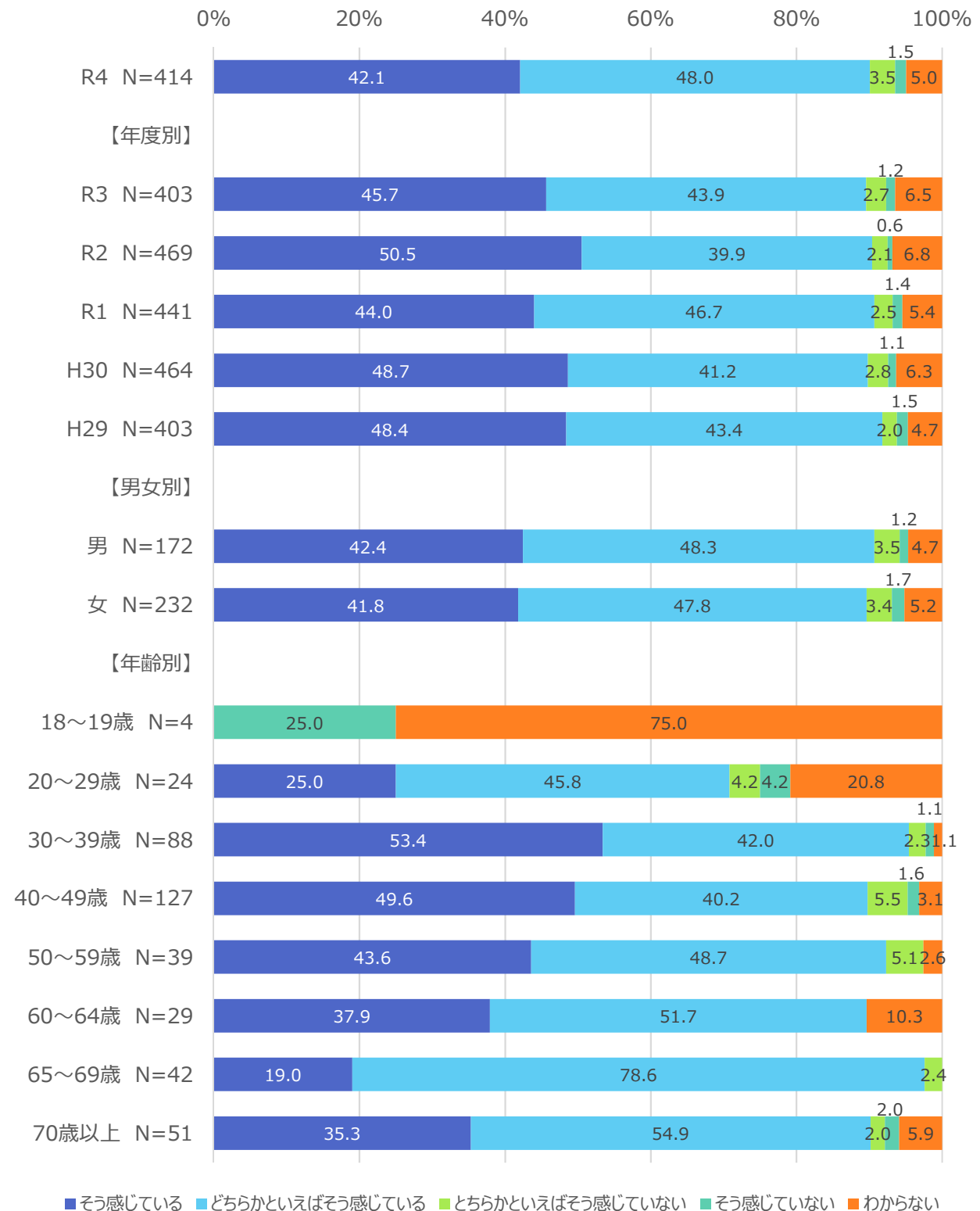
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問41 ご家庭に18歳未満のお子さん（弟、妹、子、孫等）がいらっしゃる方にお尋ねします。あなたは、子育てに喜びや生きがいを感じていますか。

**18歳未満のお子さんがある方の9割は子育てに喜びや生きがいを感じている。**

子育てに喜びや生きがいを感じるかをみると、「そう感じている」が42.1%、「どちらかといえばそう感じている」が48.0%となっており、「そう感じている割合（「そう感じている」+「どちらかといえばそう感じている）」は90.1%となっている。

図47 子育てに喜びや生きがいを感じるか



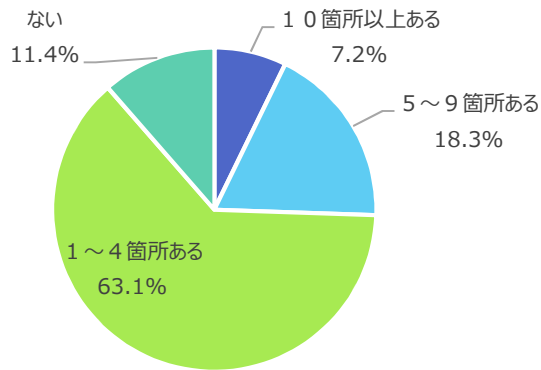
問42 あなたが友人や知人に、ぜひお勧めしたい南砺市内の文化や景観はいくつありますか。

**全体の約9割は友人や知人にお勧めしたい南砺市内の文化や景観がある。**

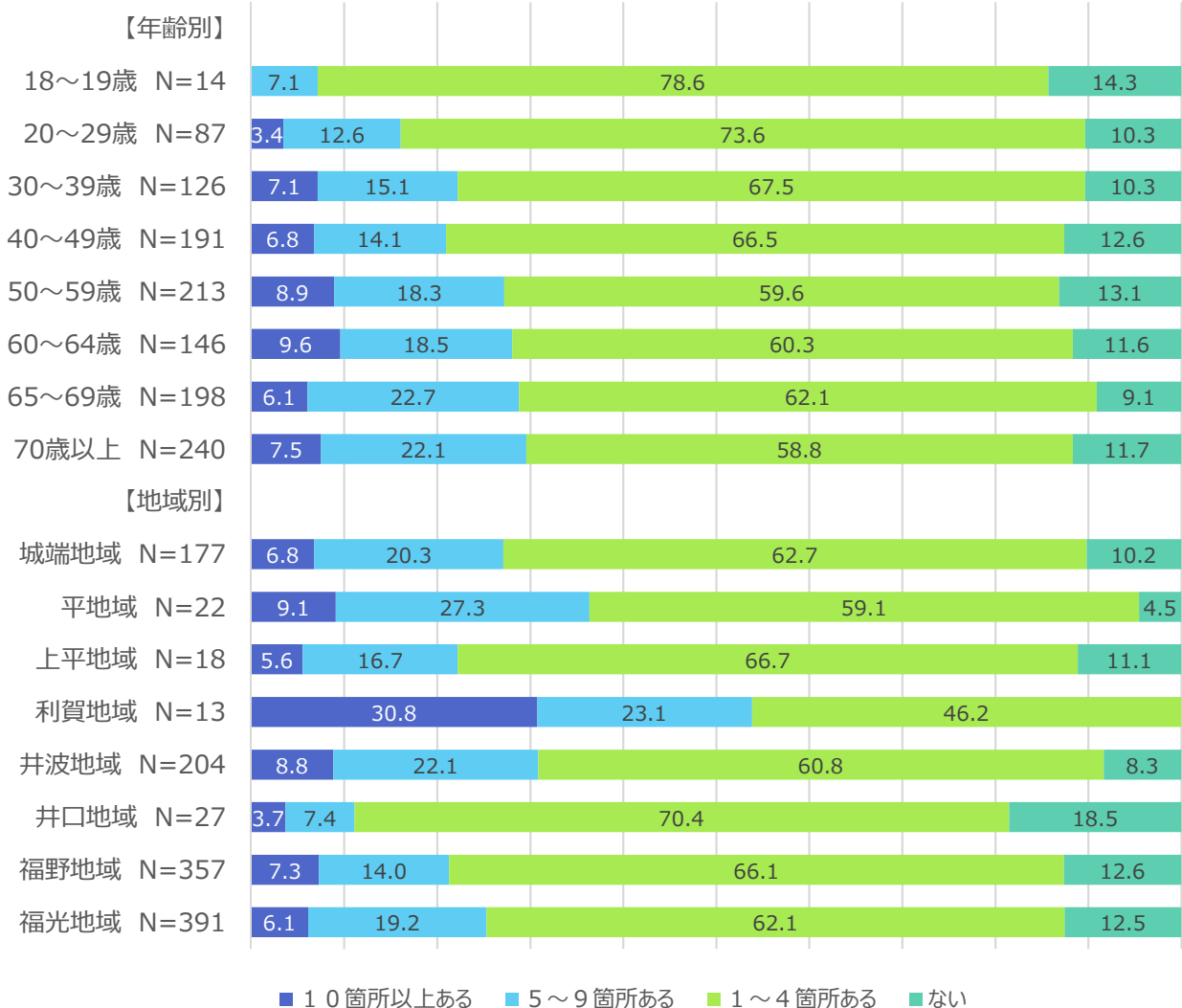
友人や知人にお勧めしたい南砺市の文化や景観があるかをみると、「10箇所以上ある」が7.2%、「5～9箇所ある」が18.3%、「1～4箇所ある」が63.1%となっており、「1箇所以上ある割合（「10箇所以上ある」+「5～9箇所ある」+「1～4箇所ある」）が88.6%となっている。

地域別にみると利賀地域は「1箇所以上ある割合」が100.0%と最も多くなっている。

図48 友人や知人にお勧めしたい南砺市の文化や景観の個数 N = 1,218



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



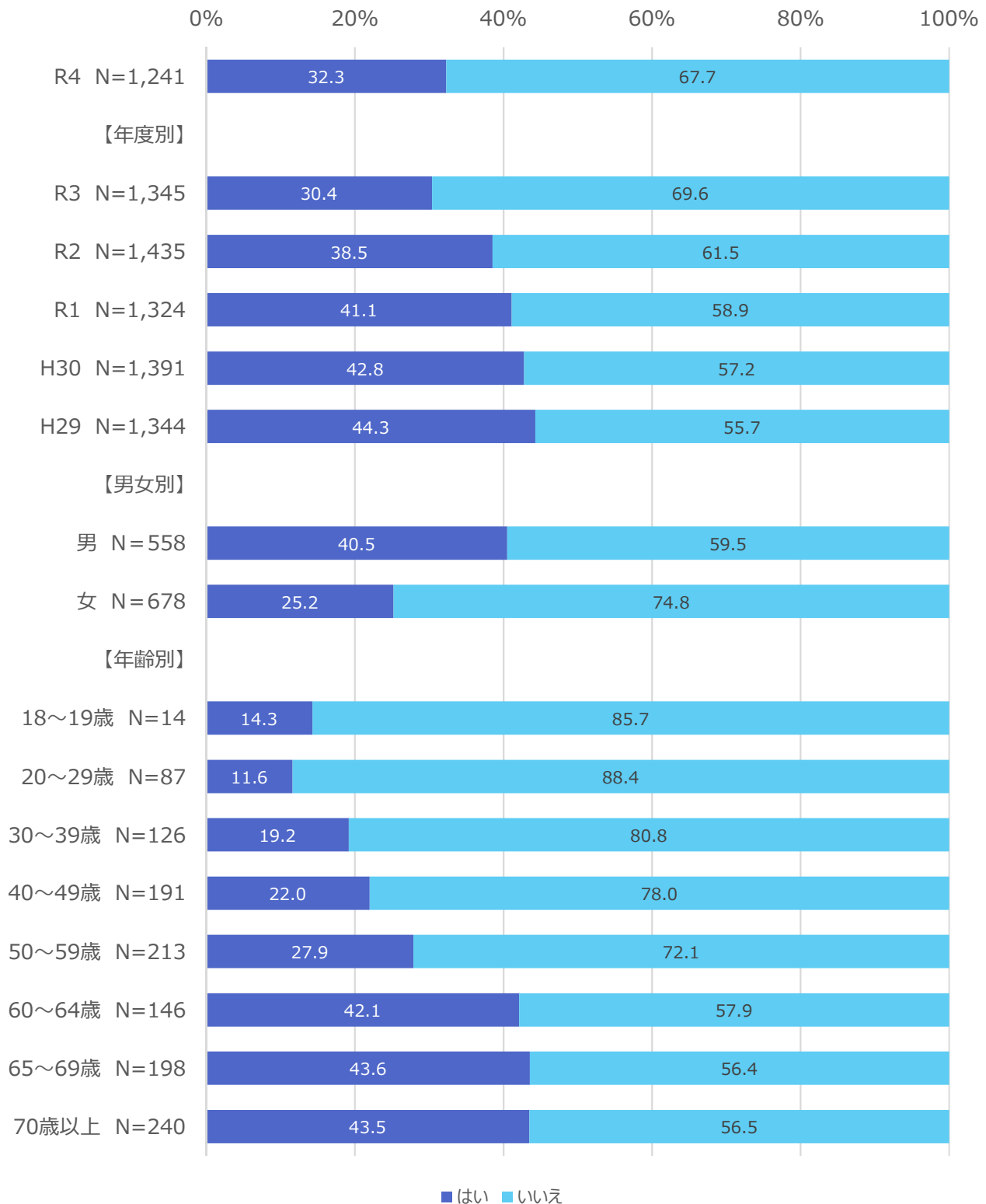
問43 あなたは、過去1年間にボランティア活動（団体による清掃活動等）に参加しましたか。

**全体の3割は過去1年間にボランティア活動に参加している。**

ボランティア活動への参加状況を見ると、「はい（参加した）」が32.3%、「いいえ（参加していない）」が67.7%となっている。

年度別にみると、「はい（参加した）」は昨年までは減少傾向にあったが今年度は増加し、年齢別にみると、年齢が高いほど「はい（参加した）」が多い傾向にある。

図49 ボランティア活動への参加状況



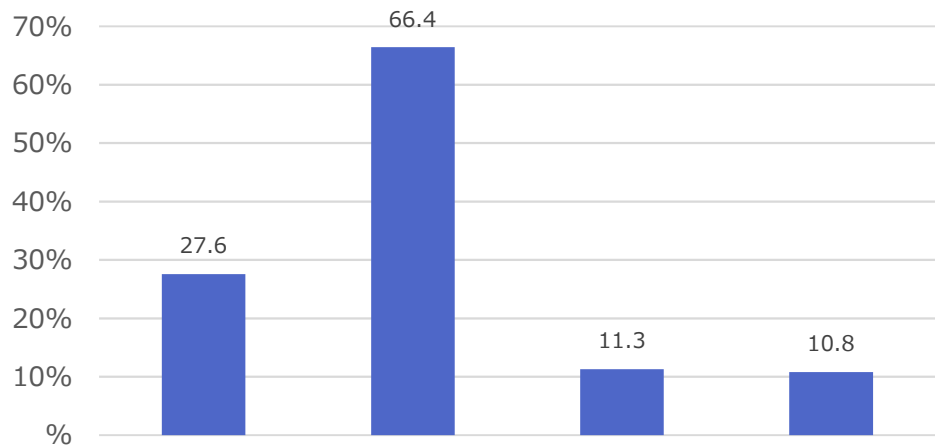
問44 問43で「1. はい」と回答した方にお聞きます。活動内容はどのようなものですか。

**ボランティア活動の内容は約6割が「環境分野」となっている。**

ボランティア活動に参加したことがある方について、その活動内容をみると、「環境分野」が66.4%、「福祉分野」が27.6%、「教育分野」が11.3%となっている。

地域別にみると、井口地域は「福祉分野」が他に比べて多くなっている。

図50 ボランティア活動の内容 (MA)



			福祉分野	環境分野	教育分野	その他
R4 N=399			27.6	66.4	11.3	10.8
年度別	R3年	N=552	22.7	67.2	7.9	12.6
	R2年	N=547	23.0	74.8	9.4	7.8
	R1年	N=597	21.4	71.8	11.0	8.0
	H30年	N=586	20.1	74.2	11.4	7.5
	H29年	N=636	18.6	75.4	8.7	7.7
年齢別	18～19歳	N=3	33.3	66.7	0.0	0.0
	20～29歳	N=11	0.0	81.8	9.1	9.1
	30～39歳	N=24	8.3	66.7	25.0	16.7
	40～49歳	N=42	4.8	59.5	35.7	9.5
	50～59歳	N=59	27.1	71.2	6.8	13.6
	60～64歳	N=63	19.0	76.2	9.5	4.8
	65～69歳	N=87	36.8	66.7	9.2	9.2
	70歳以上	N=109	41.3	58.7	4.6	13.8
地域別	城端地域	N=55	34.5	58.2	14.5	9.1
	平地地域	N=9	33.3	55.6	22.2	22.2
	上平地地域	N=9	22.2	77.8	11.1	33.3
	利賀地域	N=9	33.3	77.8	11.1	0.0
	井波地域	N=76	30.3	71.1	10.5	6.6
	井口地域	N=10	50.0	30.0	0.0	20.0
	福野地域	N=107	25.2	69.2	12.1	13.1
	福光地域	N=120	23.3	66.7	10.0	9.2

※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

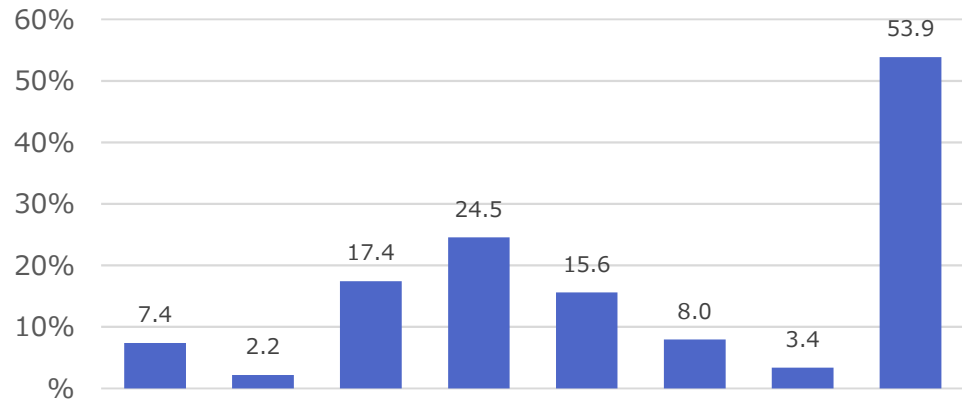


問45 協働のまちづくりとは、市民、市民団体、事業者及び市が協力して、地域の課題解決に取り組むまちづくりの手法のことです。あなたは、どのような協働のまちづくりに取り組んでいますか。

**全体の5割は協働のまちづくりに取り組んでいない。**

協働のまちづくりへの取り組み状況を見ると、「自治会、町内会が主体で実施するまちづくり事業」が24.5%で他のまちづくり事業と比べて最も多いが、「特に何も行ってない」が53.9%と最も多くなっている。

図51 協働のまちづくりへの取り組み状況 (MA)



		市が主体で実施するまちづくり事業	国又は県が主体で実施するまちづくり事業	地域づくり協議が主体で実施するまちづくり事業	自治会・町内会が主体で実施するまちづくり事業	地域の団体が主体で実施するまちづくり事業	ボランティア団体等が主体で実施するまちづくり事業	企業等が社会貢献事業として実施するまちづくり事業	特に何も行ってない
R4 N=1,194		7.4	2.2	17.4	24.5	15.6	8.0	3.4	53.9
年度別	R3年 N=1,271	6.7	1.7	13.4	27.4	15.2	5.4	2.4	56.7
	R2年 N=1,378	8.4	2.5	15.2	32.1	17.1	6.5	3.8	51.5
	R1年 N=1,258	-	3.7	-	-	17.5	6.1	2.8	53.2
	H30年 N=1,317	-	2.1	-	-	17.4	5.8	2.4	57.9
	H29年 N=1,246	-	2.6	-	-	17.7	6.2	2.5	57.5
年齢別	18～19歳 N=15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	20～29歳 N=88	8.0	3.4	6.8	4.5	0.0	1.1	4.5	84.1
	30～39歳 N=124	10.5	2.4	8.1	25.0	7.3	6.5	4.8	61.3
	40～49歳 N=186	9.1	3.2	8.1	18.3	7.0	10.8	3.8	63.4
	50～59歳 N=214	7.5	3.7	18.7	20.1	8.4	10.7	5.1	52.8
	60～64歳 N=149	8.1	0.7	21.5	34.9	16.8	1.3	4.0	47.0
	65～69歳 N=192	6.8	1.0	28.1	29.7	23.4	9.4	1.0	42.7
	70歳以上 N=224	4.5	1.3	22.8	32.1	33.9	10.3	1.8	41.5
地域別	城端地域 N=171	7.0	3.5	17.0	19.9	17.0	4.1	2.9	56.1
	平地域 N=22	4.5	0.0	50.0	9.1	36.4	0.0	4.5	27.3
	上平地域 N=17	5.9	5.9	29.4	23.5	23.5	11.8	5.9	58.8
	利賀地域 N=13	7.7	0.0	38.5	15.4	46.2	15.4	7.7	23.1
	井波地域 N=202	9.4	2.0	15.8	29.2	19.8	8.9	2.5	51.5
	井口地域 N=26	3.8	0.0	23.1	15.4	19.2	7.7	0.0	50.0
	福野地域 N=348	5.7	1.1	15.5	27.9	13.2	9.2	4.3	54.0
	福光地域 N=386	8.5	2.8	16.3	23.3	11.7	8.3	2.8	56.5

※H29～R1は設問内容に相違あります。

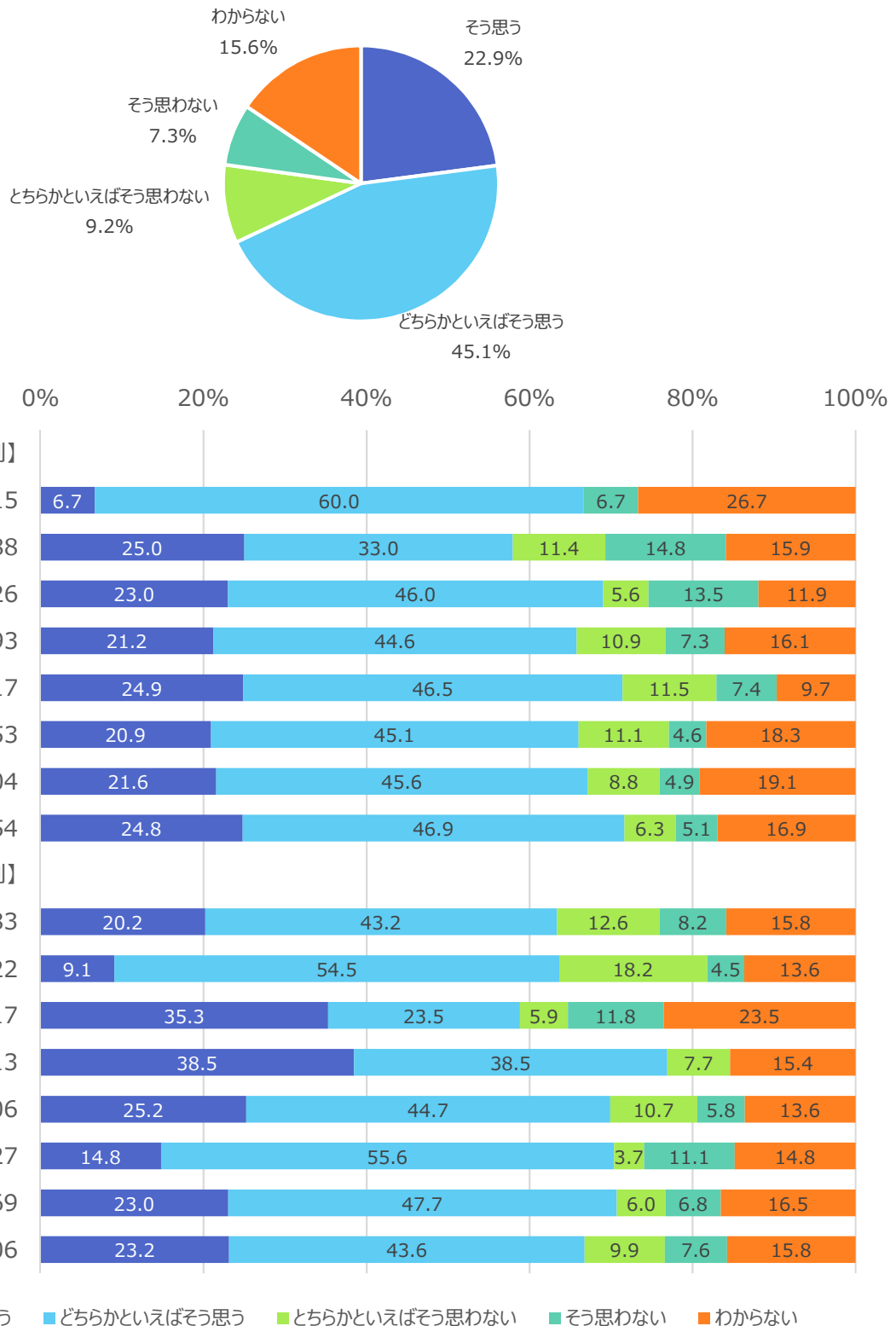
※1つの質問に対して複数回答を求めた設問のため、個々の比率の合計は100%と一致しません。

問46 あなたは、「みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる」と思いますか。

**全体の約7割が「みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になる」と思っている。**

みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になるという思いについてみると、「そう思う」が22.9%、「どちらかといえばそう思う」が45.1%、「どちらかといえばそう思わない」が9.2%、「そう思わない」が7.3%となっている。年齢別でみると、20～29歳は「そう思う割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）」が58.0%と最も低くなっている。

図52 みんなで知恵を出し合い、行動すれば住んでいる地域が今より元気になると思う N=1,253



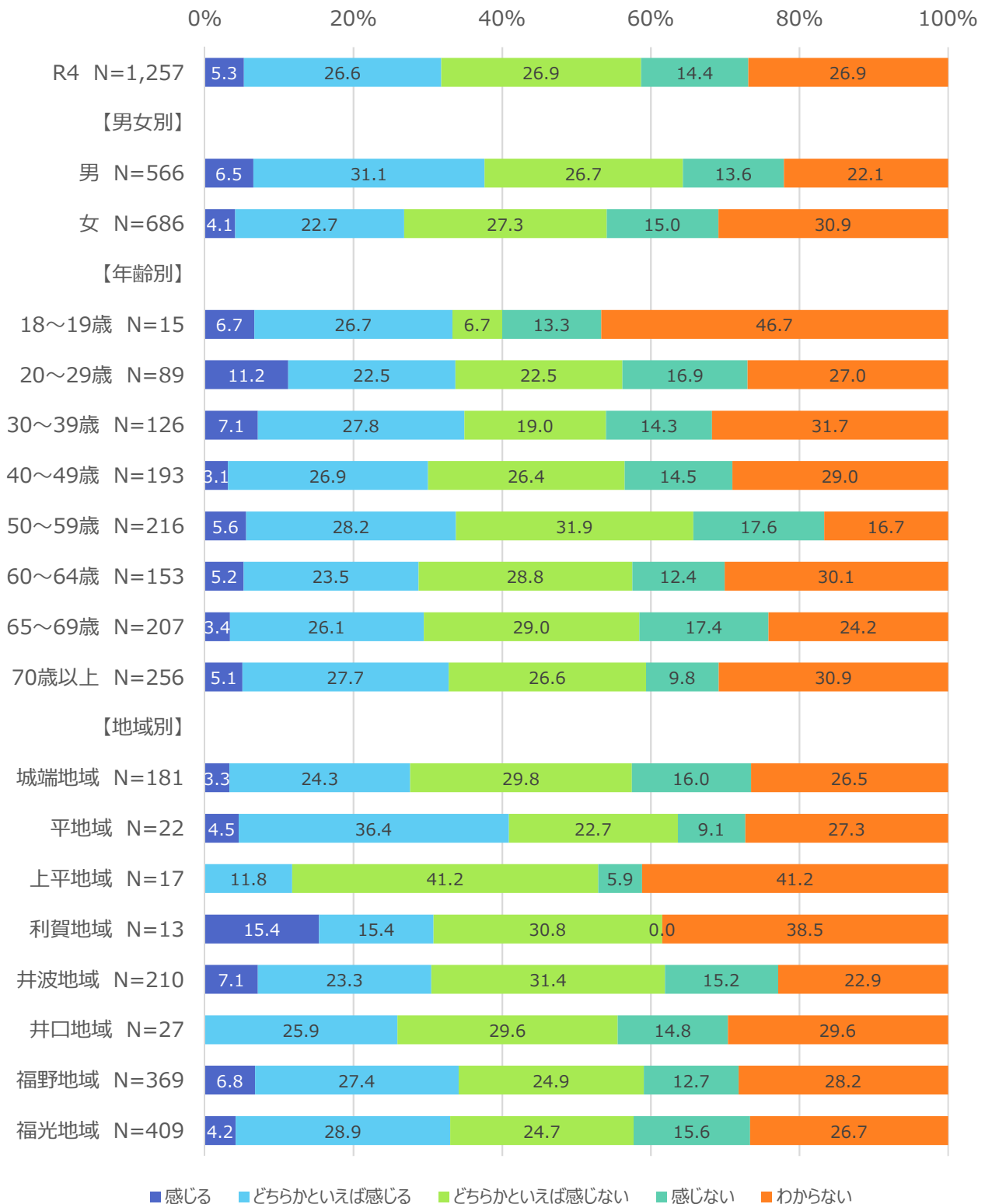
問47 あなたは、南砺市が男性も女性も性別に関わらず生き生きと活躍できる市だと感じますか。

**全体の約3割は南砺市が性別に関わらず生き生きと活躍できる市だと感じている。**

南砺市が性別に関わらず生き生きと活躍できる市だと感じるかについてみると、「感じる」が5.3%、「どちらかといえば感じる」が26.6%、「どちらかといえば感じる」が26.9%、「感じない」が14.4%などとなっている。

男女別にみると、男性が女性と比べて「そう感じる割合（「そう感じる」+「どちらかといえば感じる）」が多く、37.6%となっている。

図53 南砺市が性別に関わらず生き生きと活躍できる市だと感じるか



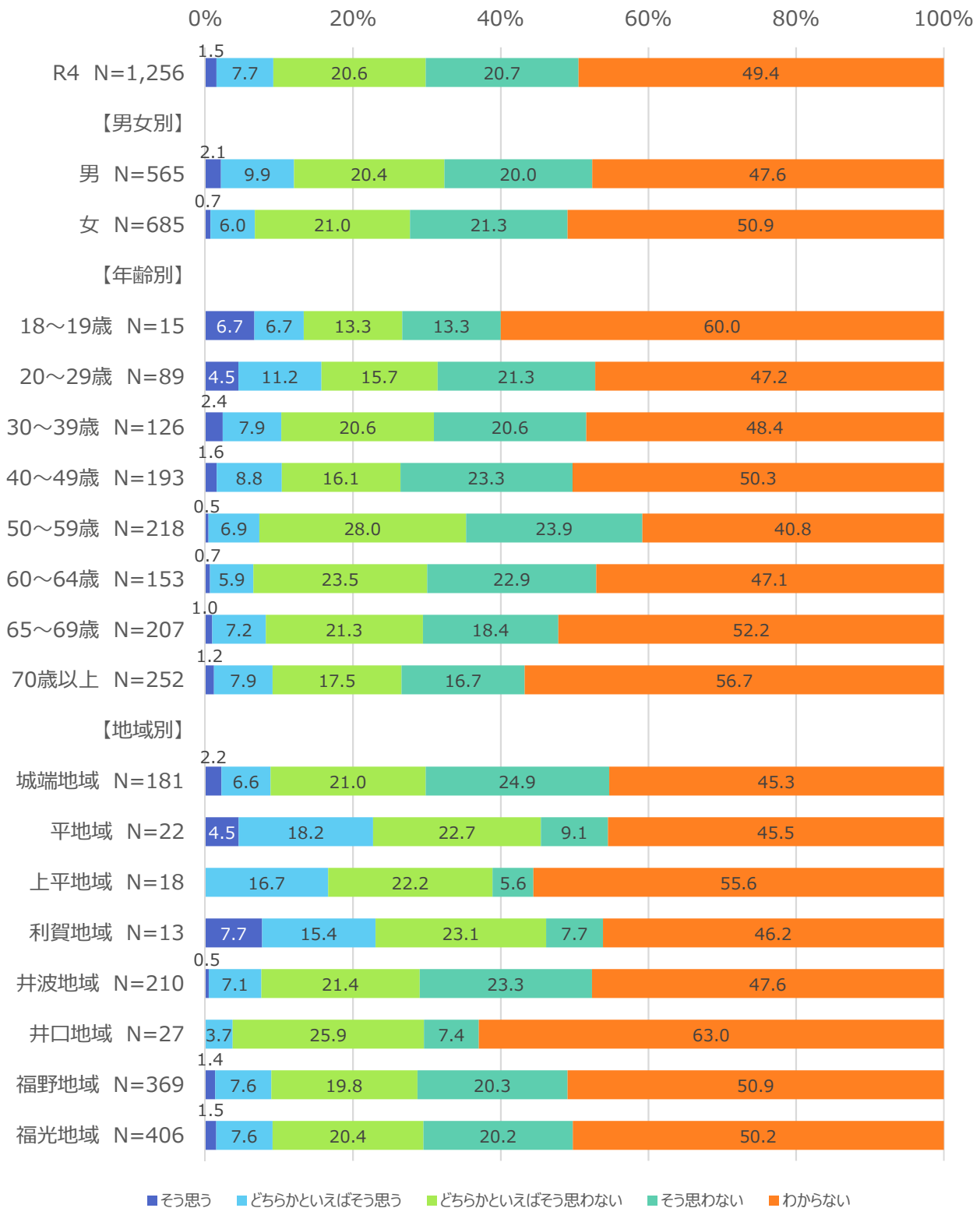
問48 あなたは、南砺市が「ジェンダーギャップ（性別による格差）」の解消に取り組んでいると思いますか。

**全体の約4割が南砺市が「ジェンダーギャップの解消」に取り組んでいないと思っている。**

南砺市が「ジェンダーギャップの解消」に取り組んでいると思うかについてみると、「そう思う」が1.5%、「どちらかといえばそう思う」が7.7%、「どちらかといえばそう思わない」が20.6%、「そう思わない」が20.7%などとなっている。

また、全体の49.4%が「わからない」となっており、年齢別にみると、年齢が高くなるにつれ「わからない」が増加する傾向となっている。

図54 「ジェンダーギャップの解消」への取り組んでいると思うか



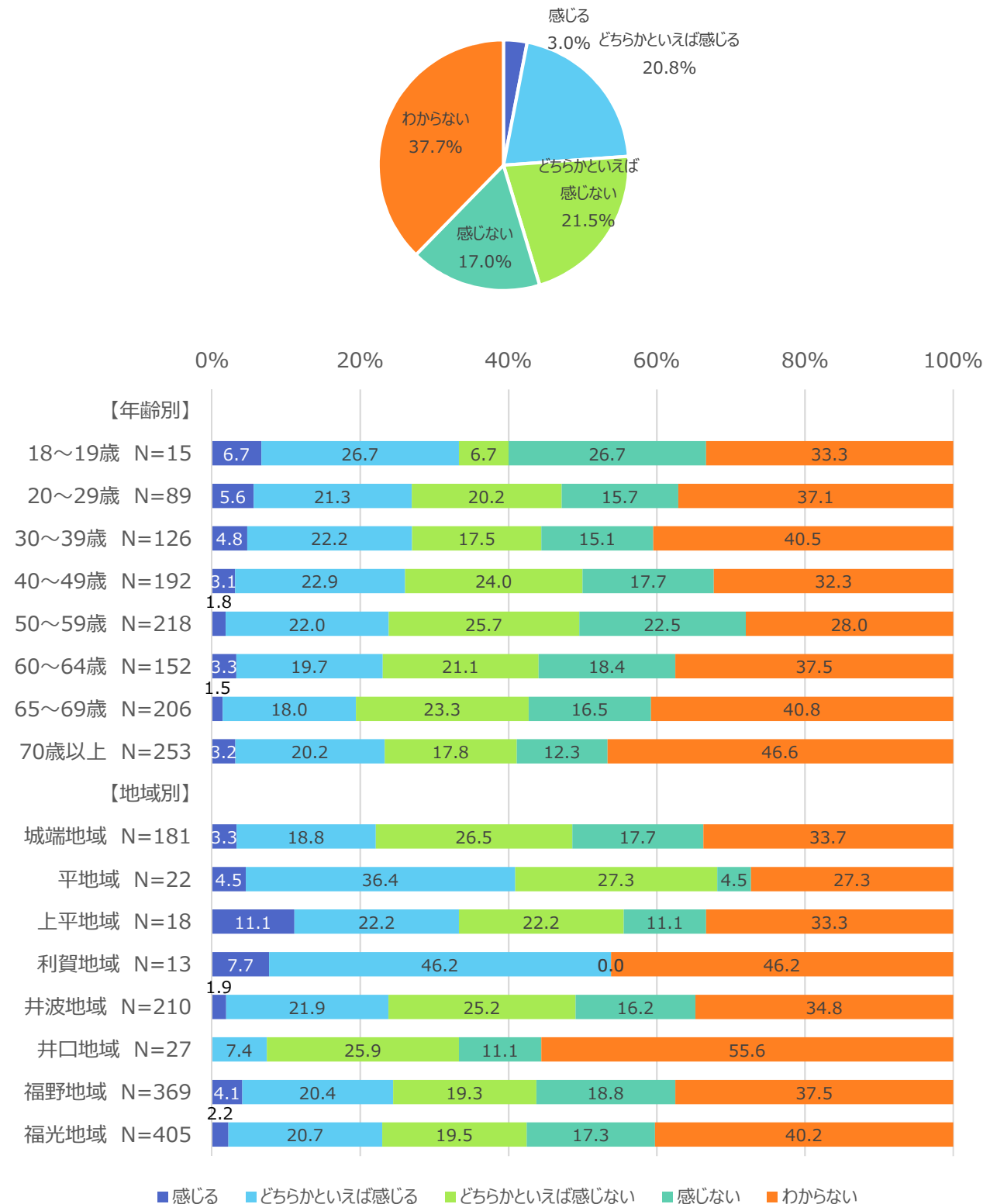
問49 あなたがお住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか。

**全体の2割は自分体の地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じている。**

お住まいの地域に文化や言語が異なる人々を理解しようとする雰囲気があるかについてみると、「感じる」が3.0%、「どちらかといえば感じる」が20.8%、「どちらかといえば感じない」が21.5%、「感じない」が17.0%などとなっている。

年齢別にみると、全年齢で昨年度より「わからない」が増加しており、70歳以上は「わからない」が46.6%と最も多くなっている。

図55 お住まいの地域に文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があるか N=1,253



問49 あなたがお住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか。

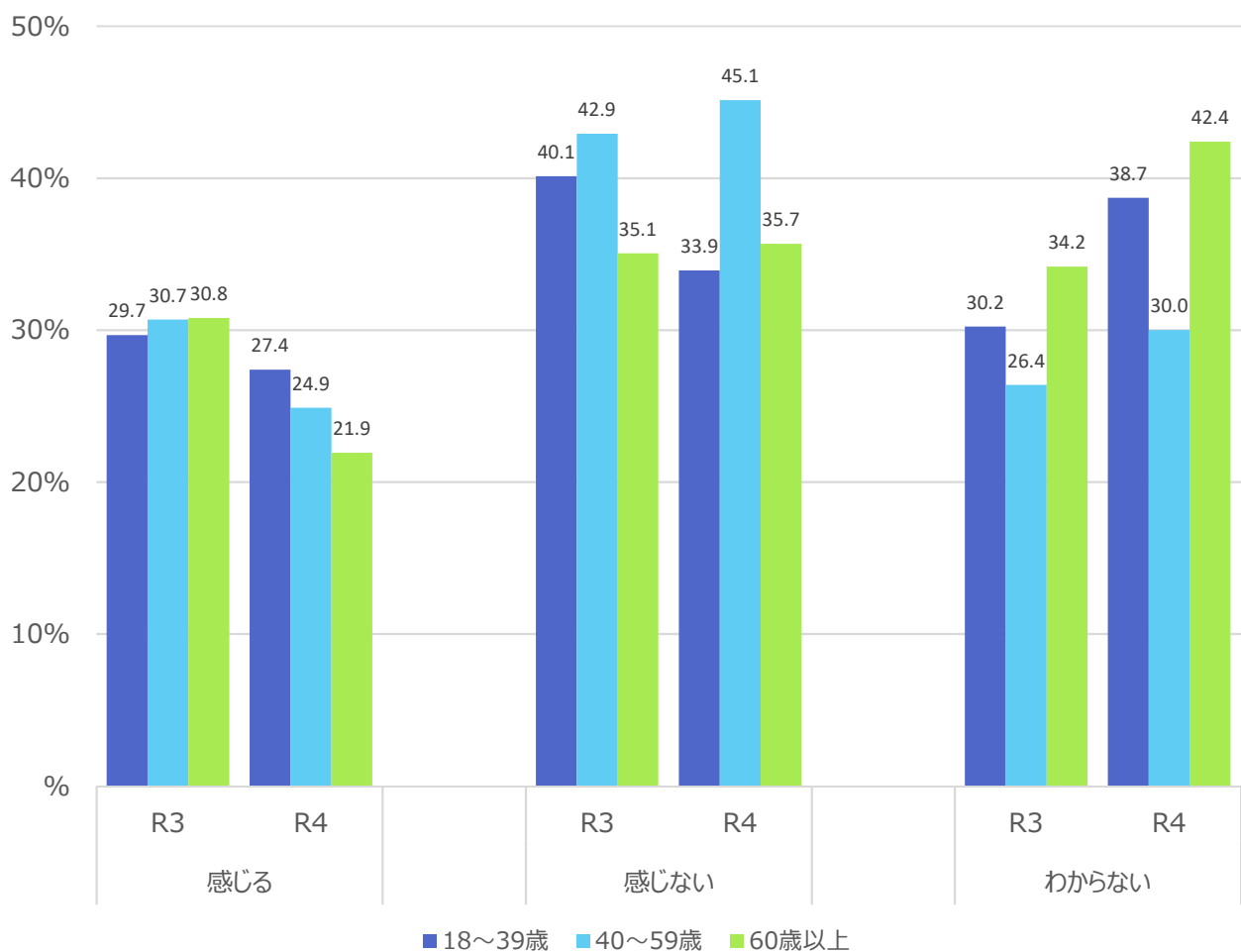
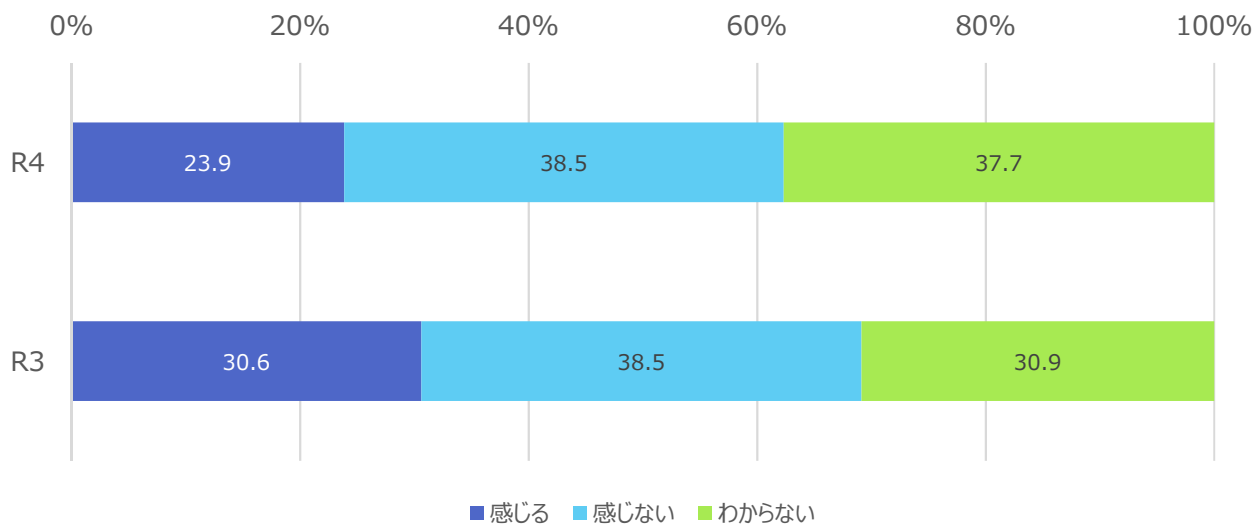
**文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気がわからない割合が増加している。**

お住まいの地域に文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気を感じる割合の推移についてみると、「感じない」が38.5%と変化がなく、「わからない」が6.8%増加している。

年齢別にみると、「感じない」が若い年齢では6.2%減少しているが、40歳以上では変化が少なく、「わからない」が全年齢で増加している。

図56 お住まいの地域に文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気を感じる割合の推移

N=1,253



問50 あなたは、南砺市が発信している次の情報を利用していますか。利用している場合、それらの内容はわかりやすいと思いますか。

**全体の7割が広報なんどを利用し、利用者の8割が広報なんどをわかりやすいと思っている。**

南砺市が発信する情報の利用状況についてみると、広報なんどを「利用している」が74.4%、南砺市ホームページを「利用している」が35.5%、南砺市フェイスブックを「利用している」が3.2%、南砺市ラインを「利用している」が2.2%、南砺市ツイッターを利用しているが1.0%となっている。

図57 南砺市が発信する情報の利用状況

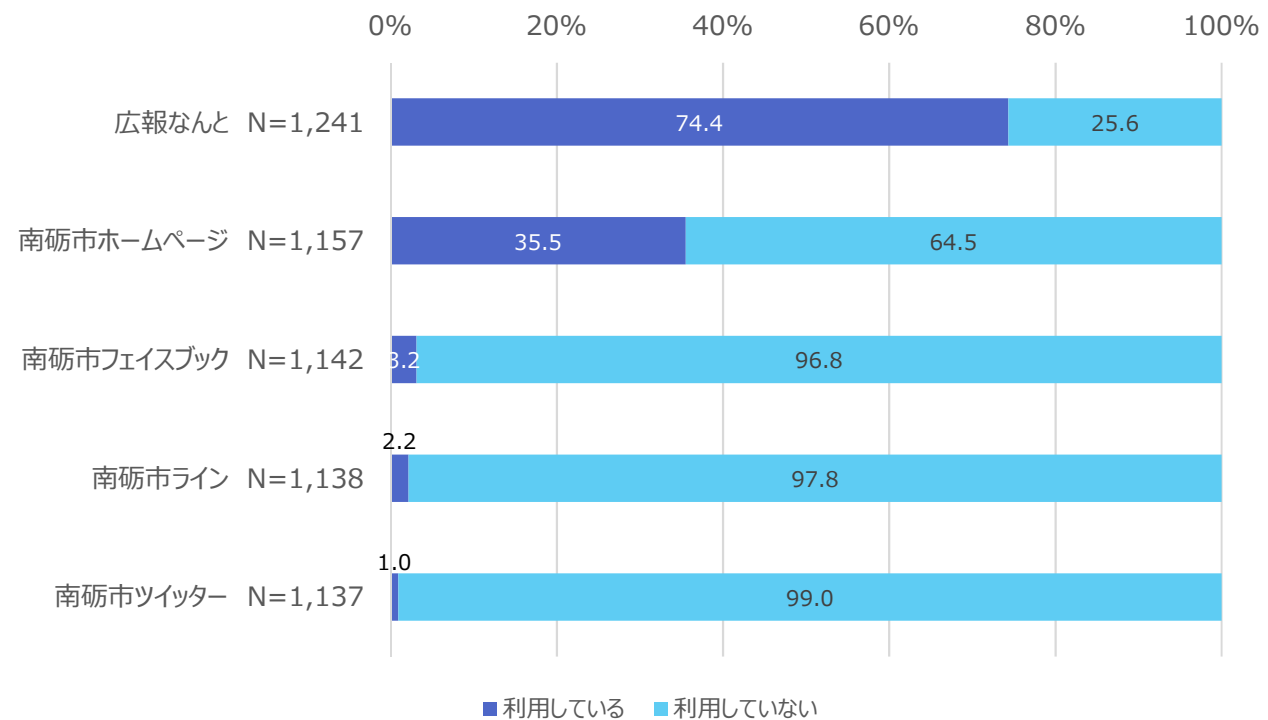
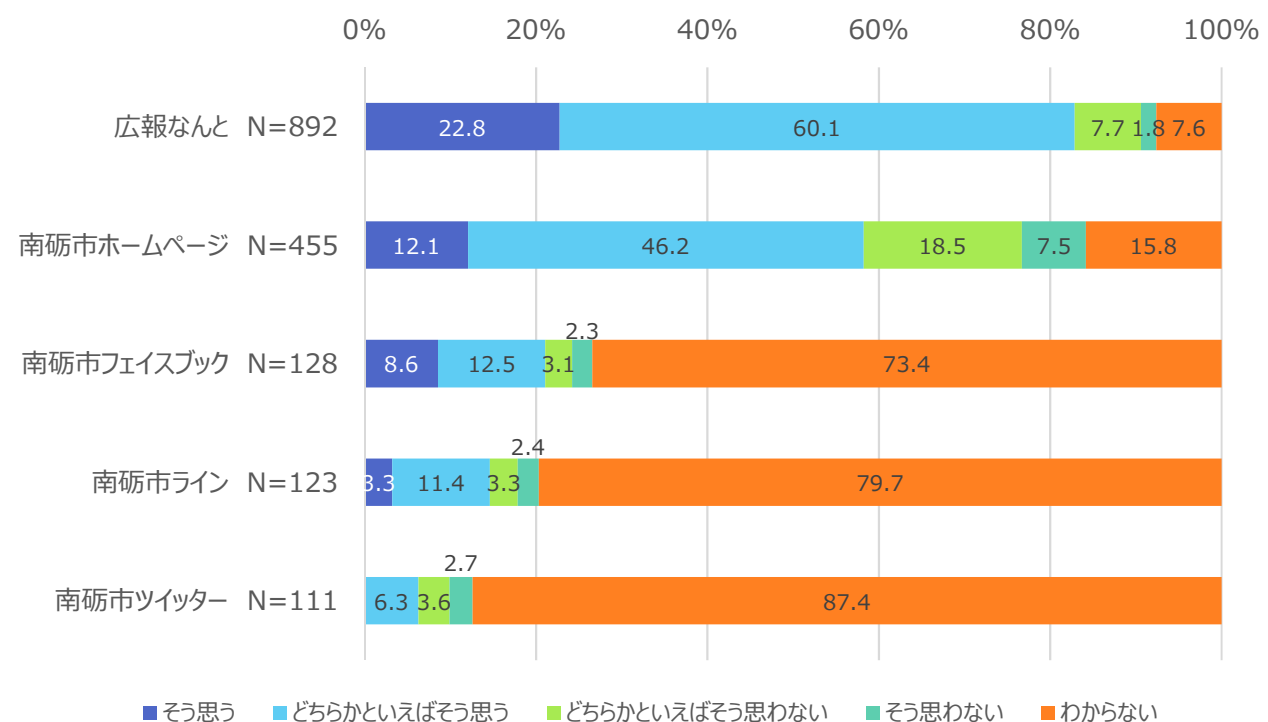


図58 南砺市が発信する情報のわかりやすさ

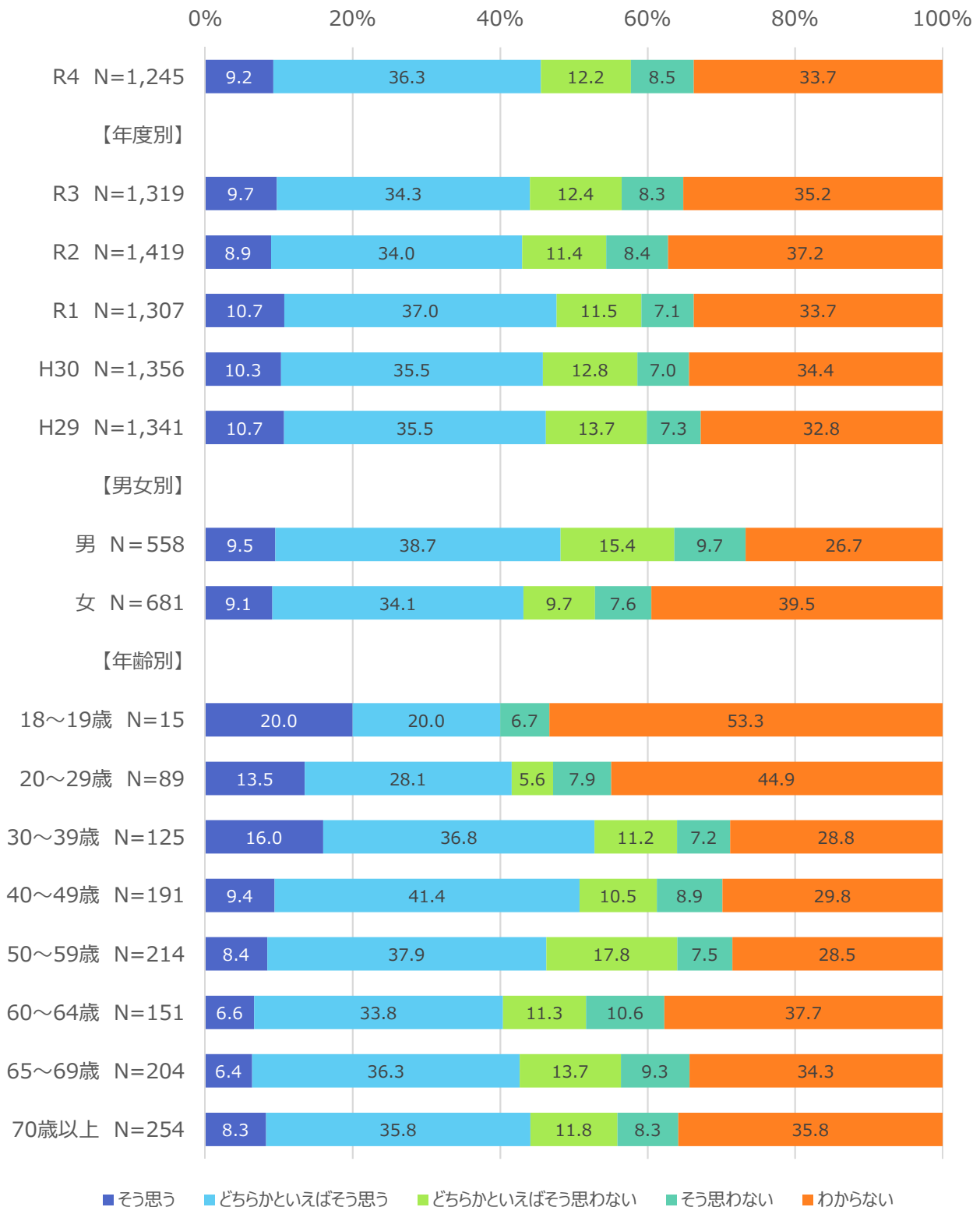


問51 あなたは、南砺市の行政サービス（市役所の仕事）の水準は適正だと思いますか。

**全体の約4割は南砺市の行政サービスの水準が適切だと思っている。**

南砺市の行政サービスの水準をみると、「そう思う」が9.2%、「どちらかといえばそう思う」が36.3%、「どちらかといえばそう思わない」が12.2%、「そう思わない」が8.5%となっており、「そう思う割合（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）」が45.5%となっている。

図59 南砺市の行政サービス水準



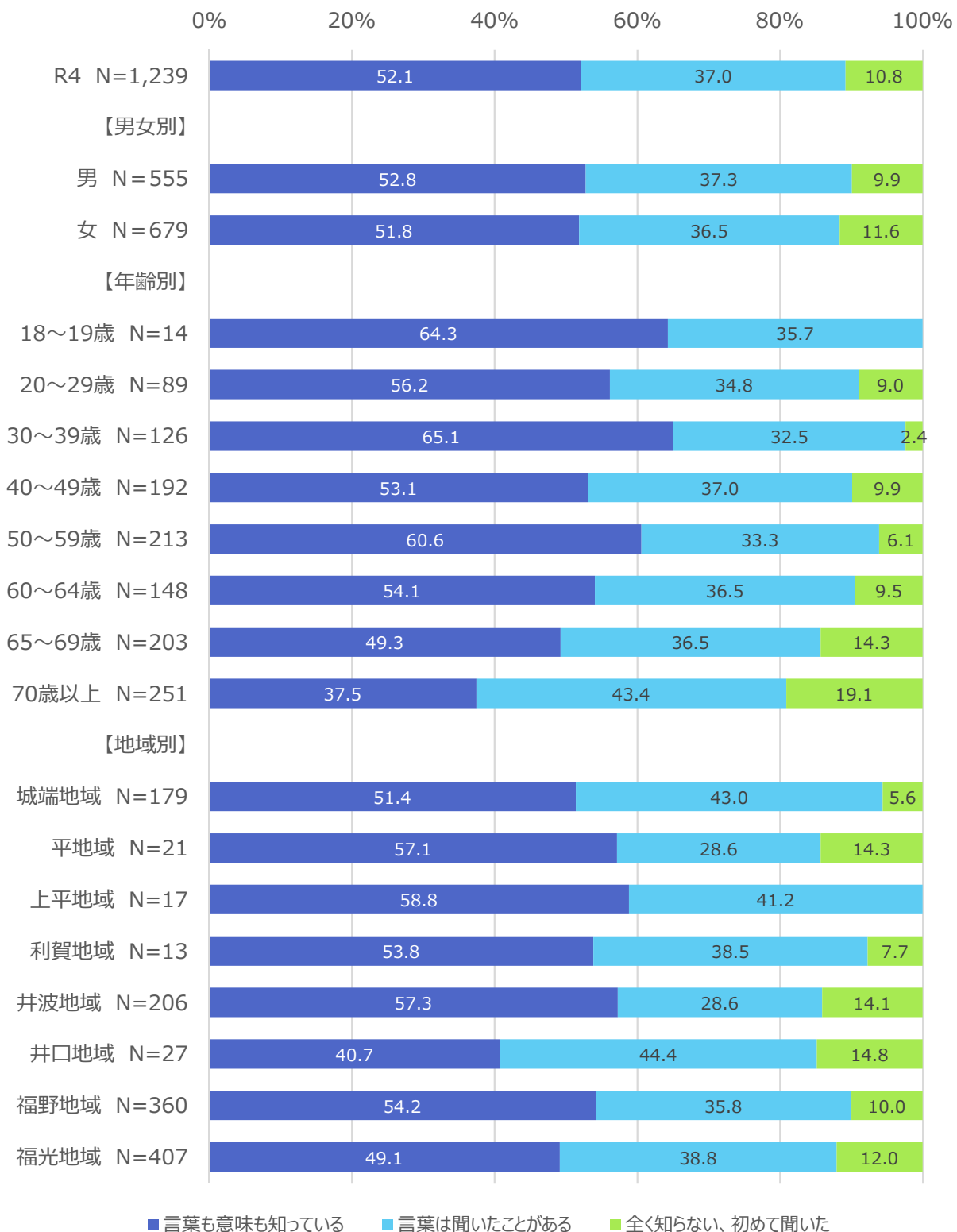


問52 あなたは「SDG s」についてどの程度知っていますか。

**全体の約5割はSDG sの意味を知っている。**

SDG sの認知についてみると、「言葉も意味も知っている」が52.1%、「言葉は聞いたことがある」が37.0%、「全く知らない、初めて聞いた」が10.8%となっている。

図60 SDG sの認知状況

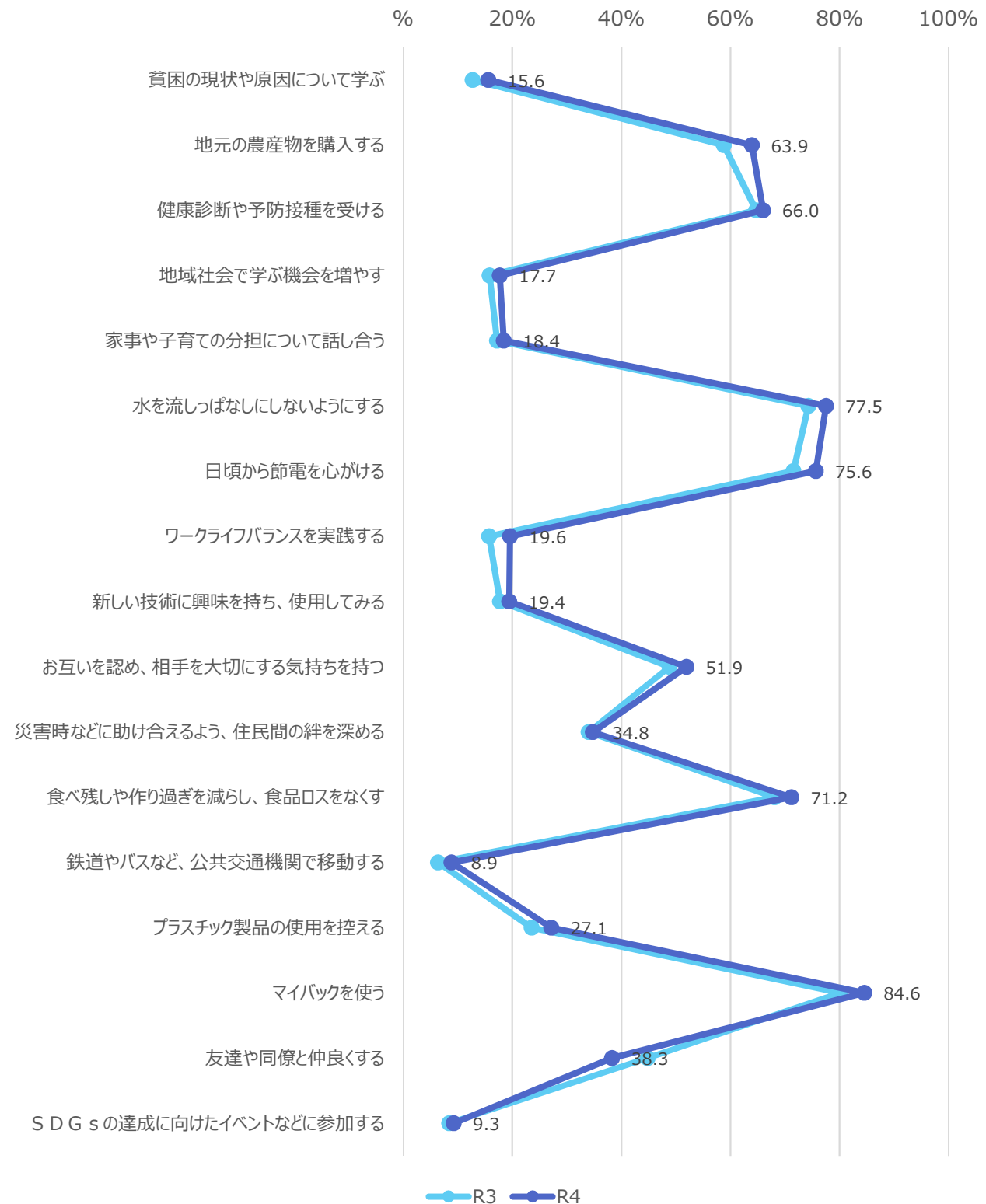


問53 「SDG s」の達成には身近な行動が大切です。あなたが取り組めると思うものは何ですか。

**SDG s の取り組みで最も取り組めると思うものは「マイバックを使う」**

SDG s の取り組めると思うものについてみると、「マイバックを使う」が84.1%で最も多く、次いで「水を流しっぱなしにしないようにする」が77.5%、「日頃から節電を心がける」が75.6%となっている。

図61 SDG s の取り組めると思う行い (MA) N=1,231

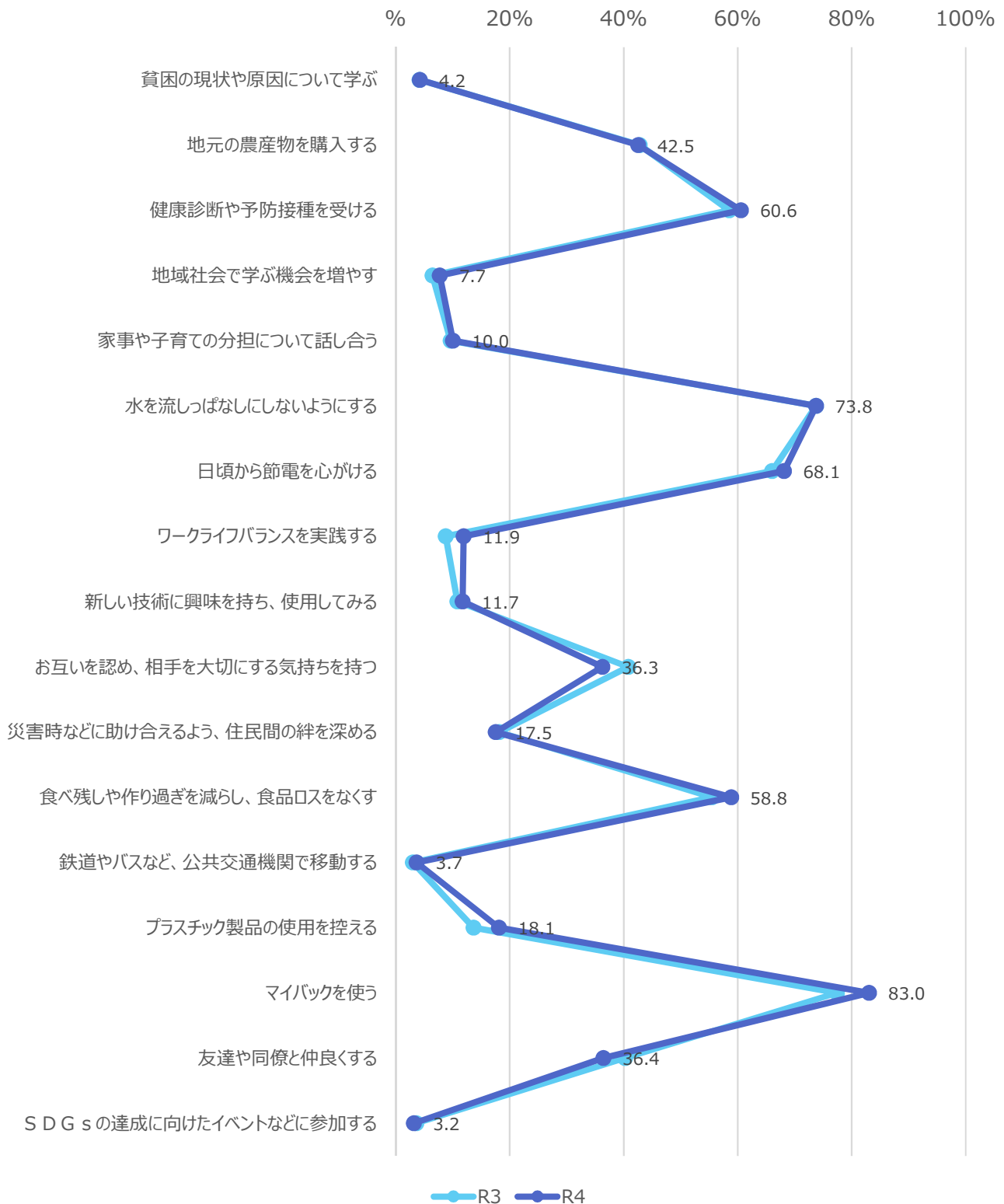


問54 実際に取り組んでいるものは何ですか。

**実際に取り組んでいるSDG sの行動で最も多いのは「マイバックを使う」**

SDG sで実際に取り組んでいる行動についてみると、「マイバックを使う」が83.0%で最も多く、次いで「水を流しっぱなしにしないようにする」が73.8%、「日頃から節電を心がける」が68.1%となっている。

図62 実際に取り組んでいる行い (MA) N=1,227

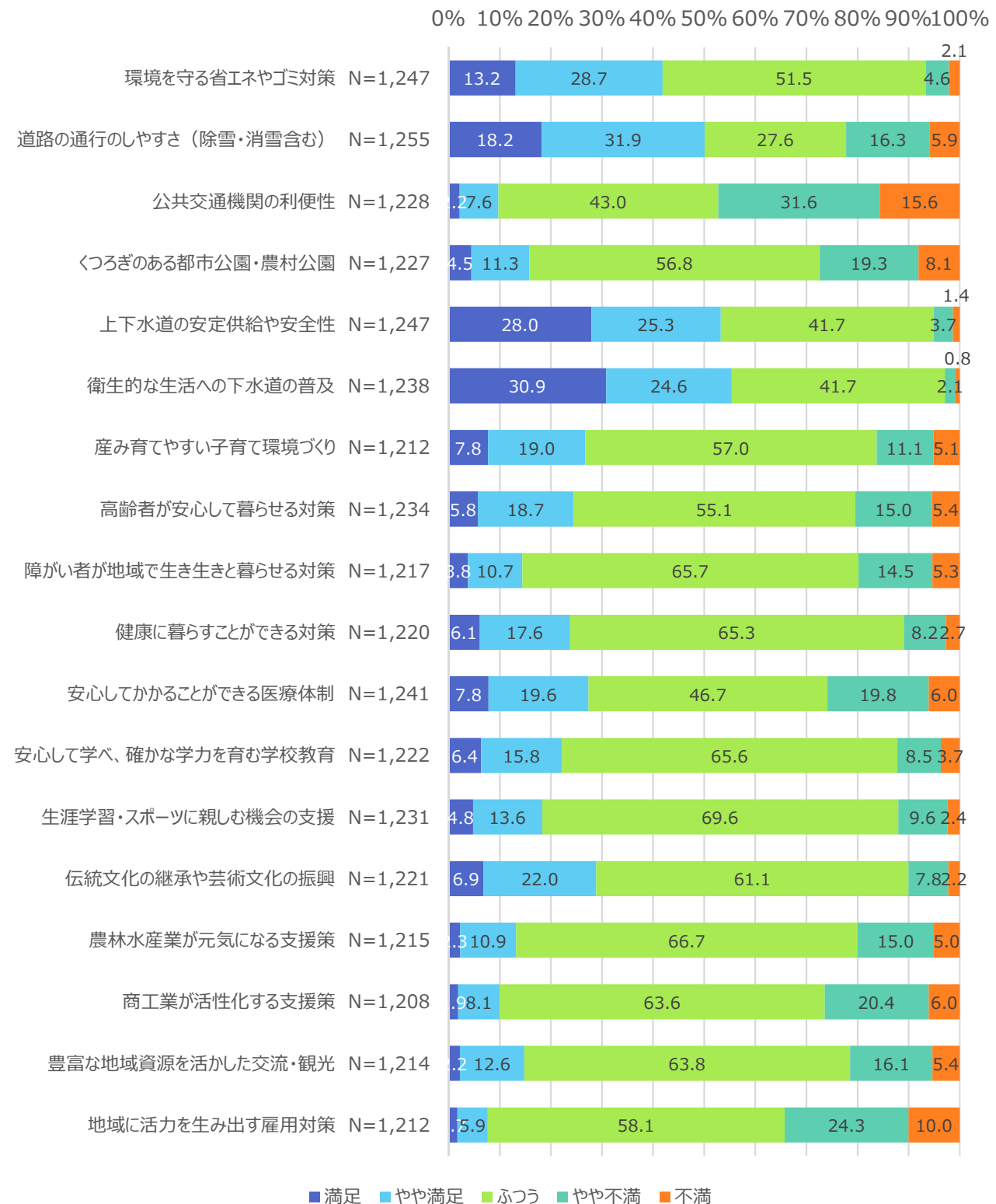


問55 最後に、南砺市の市政への満足度をお聞きます。

**市政への満足度が最も高いのは「衛生的な生活への下水道の普及」**

市政への満足度をみると、「満足」の割合は「衛生的な生活への下水道の普及」が30.9%と最も多く、次いで「上下水道の安定供給や安全性」が28.0%、「道路の通行のしやすさ」が18.2%、「環境を守る省エネやゴミ対策」が13.2%となっている。

図63 市政への満足度



■ 満足度ポイント表示

満足度が最も低いのは「公共交通機関の利便性」となっている。

満足度の割合から算出したポイント（5点満点）をみると、「衛生的な生活への下水道の普及」が3.826ポイントと最も高く、次いで「上下水道の安定供給や安全性」3.748ポイント、「環境を守る省エネやゴミ対策」が3.463ポイントとなっており、一方で「公共交通機関の利便性」が2.491ポイントと最も低くなっている。

図64 満足度ポイント

順位	項目	ポイント
1	衛生的な生活への下水道の普及	3.826
2	上下水道の安定供給や安全性	3.748
3	環境を守る省エネやゴミ対策	3.463
4	道路の通行のしやすさ（除雪・消雪含む）	3.402
5	伝統文化の継承や芸術文化の振興	3.236
6	健康に暮らすことができる対策	3.163
7	産み育てやすい子育て環境づくり	3.131
8	安心して学べ、確かな学力を育む学校教育	3.127
9	生涯学習・スポーツに親しむ機会の支援	3.087
10	高齢者が安心して暮らせる対策	3.044
11	安心してかかることができる医療体制	3.033
12	障がい者が地域で生き生きと暮らせる対策	2.931
13	農林水産業が元気になる支援策	2.905
14	豊富な地域資源を活かした交流・観光	2.903
15	くつろぎのある都市公園・農村公園	2.848
16	商工業が活性化する支援策	2.795
17	地域に活力を生み出す雇用対策	2.652
18	公共交通機関の利便性	2.491

■ 満足度ポイントの計算方法

$$\frac{「満足(%)」 \times 5 + 「やや満足(%)」 \times 4 + 「ふつう(%)」 \times 3 + 「やや不満(%)」 \times 2 + 「不満(%)」 \times 1}{100}$$

※少数第4位を四捨五入している

### Ⅲ 自由意見集計

#### 1. 記入状況

記入数 270 通：アンケート回収数 1,270 通に対し約 21.3%に当たります。

#### 2. 意見分類一覧

回答いただいたご意見を次のように分類しました。

主な分類	件数
移住・定住	3 件
医療	6 件
環境・衛生	12 件
観光	5 件
地域間	10 件
公共施設	18 件
公共交通	27 件
情報	9 件
子育て・教育	20 件
商工・企業誘致	29 件
人口減少・少子化・高齢化	21 件
税金・公共料金	5 件
地域	15 件
土地	5 件
道路・除雪	47 件
農林業	9 件
福祉	11 件
防災	8 件
市政全般・その他	30 件
窓口・職員	14 件

### 3. 意見詳細

ご意見の概要は次の通りです。

分類	主な意見	件数
移住・定住	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 結婚や住宅を建てる際に補助金が他の町より少ない気がする。もし、南砺市が県外からの移住者を増やしたい、住みやすい地域にしたいのであればもっと出すべきだと思う。(20 代男性)</li> <li>■ 移住し、新居を建てています。移住の補助金も条件が合わず、市から土地を買った時も利活用ではないということで補助金をもらえず、移住の利点が全然ありませんでしたので不満です。(30 代女性)</li> <li>■ 空き家に人がもっと住みやすい環境にして都会に PR をすればよいのではないかと思う。(60 代男性)</li> </ul>	3

分類	主な意見	件数
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 午後から学校が終わった後に安心して受診できる小児科を整備して欲しいです。午前中のみ受診させるには学校を休ませる必要があり不便です。(30 代女性)</li> <li>■ 小児科医が少ないと思うし、診察時間が短く、仕事が終わってからでは受診できないため、医療体制に不安がある。(40 代男性)</li> <li>■ 南砺市民病院・南砺中央病院を受診してもすぐに紹介状を出される。結果、治療していただくまで何日も何週間もかかってしまうことが何回もあった。(40 代男性)</li> <li>■ 10～20 年先、すべての人が安心して利用できる病院体制を作してほしい。(40 代男性ほか)</li> <li>■ 1 歳半健診がコロナ禍だということにすごく人数が多く、会場を 2 ケ所にするとか、別日にするなど人数を分けるとかできたのではないか。(40 代女性)</li> </ul>	6

分類	主な意見	件数
環境・衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 再生エネルギーに力を入れてほしい。(20 代女性)</li> <li>■ ごみ袋の氏名記入をなくしてほしい。記入しなくても分別できています。(30 代女性)</li> <li>■ 日中の除草剤散布は子供たちが外にいない時間帯にするよう、市で声掛けをしてほしい。看板等でわかる様にしてほしい。(30 代女性ほか)</li> <li>■ SDG s の取組は他市より進んでいると思います。(40 代女性)</li> <li>■ 南砺市に来て 10 年目。一番びっくりしたのがゴミ出しが夜間という事。これは本当に便利だし感謝したいことの一つです。(40 代女性)</li> <li>■ 川や田んぼにゴミを捨てる人が今年は特に多かった。(70 代女性ほか)</li> <li>■ 資源ゴミの回収をもっと頻繁にしてほしい。(70 代男性)</li> </ul>	12

分類	主な意見	件数
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ レジャー系のアクティビティにもっと力を入れてほしい。(30代男性)</li> <li>■ なんと泊まるキャンペーンをまたやってほしい。(40代女性)</li> <li>■ 人間ドックと組み合わせた観光をしてほしい。(50代男性)</li> <li>■ 桜ヶ池はいい観光資源になると思う。あの景観は、ムーミンの世界を思わせる。北欧みたいな設備を作ればよいのではないか。(60代女性)</li> <li>■ 市の観光や、県外からの誘客導入にエキスパートがいないのでは？他の市や県外との連携に消極的で取り残されそうに思う。人的資源が指定管理者制度でうまくいっている所もあるが、不安な所もある様に思える。(70代男性)</li> </ul>	5

分類	主な意見	件数
地域間	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行政が福光へまとめたのは少し不満。8つの地区の中心にあるべきかと思う。(50代女性)</li> <li>■ 福野地域の発展が感じられない。福光だけが発展すればいいと思っているようだ。(60代女性)</li> <li>■ 公共施設等への設備投資や行政サービスの充実度に地域間の不公平感がある。(60代男性ほか)</li> <li>■ 行政の目が人口の多い町部の方に向きすぎと感じる。(70代男性)</li> <li>■ 各地域の衰退が著しく、市町村合併は昭和の大合併を超える大失敗となっている。すべてが合併前より不便又は悪くなっている。(70代男性)</li> <li>■ 各々の地区に生業が有り、2～3地区の合併のような行政サービスは難しいと思う。(70代男性)</li> </ul>	10

分類	主な意見	件数
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 福光高校を廃校にする意味はあったのか疑問である。(20代男性)</li> <li>■ 福光高校跡地を有意義に活用してほしい。(60代男性)</li> <li>■ 市内の体育館が有料なことが不満。(30代男性)</li> <li>■ スポーツ施設や文化施設の利用料値上げに反対します。(70代男性)</li> <li>■ 子供が遊べる公園、遊具がもっとあればよい。(30代女性ほか)</li> <li>■ 屋内型の遊び場を充実してほしい。(40代男性ほか)</li> <li>■ 福光地内の小中学校統合はいつから対応されるのでしょうか。(50代男性)</li> <li>■ 人口が減少しているのに、新しい学校、新しい病院の建設はやめるべき。(70代女性ほか)</li> <li>■ 福野の旧企業跡地の利活用について、既に大まかなプランも作成されていますが、この中で住宅施設の建設は全く意味がない。将来的に居住者がいない空き家になることが目に見えていることから、居住施設は取り止めるべきかと思う。(60代男性)</li> </ul>	18



分類	主な意見	件数
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公共交通機関での小矢部へのアクセスを良くしてほしい。(10代女性)</li> <li>■ 加越線の後を利用した公共交通があればよい。石動まで移動できれば金沢や関西方面の移動も便利になると思う。(60代女性)</li> <li>■ バスをもう少し増やしてほしい。(20代男性)</li> <li>■ 一人一人に寄り添った公共交通機関の運用で、高齢者が安心して免許返納できるまちづくりをしてほしい。(30代男性ほか)</li> <li>■ ライトレールよりも完全自動運転の将来を見据え、個々の人や観光客に合わせた交通網を作ってはどうか。(30代男性)</li> <li>■ 車がなければ子供の送迎ができず、「親の車」をあてにせざるをえない環境で大変です。(40代女性)</li> <li>■ 南砺市で2つしかない高校の前に「高校前」というバス停があれば、もっとバスを利用できるのかなと思う。(40代女性)</li> <li>■ 子供が高校へ通うための公共交通手段が悪い。(40代女性)</li> <li>■ 金沢行のバスが6月で閉鎖とのことですが、朝と夕方は座れず危ないため、市営バスに森本駅行きの新設又は加越能バスの増便をしてほしい。(50代女性)</li> <li>■ 城端線をLRTにするより、まずは乗客増の施策をお願いしたい。イベントや祭りの際に帰りの切符の助成など、城端線での来訪を進める施策があってもいいと思う。(50代男性)</li> <li>■ なんバスの利用者が少ないので、タクシーのような少人数向けの車を走らせ、乗り合いにしたほうがよいのではないか。(70代女性)</li> </ul>	27

分類	主な意見	件数
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行政手続きがネットやアプリなどで対応できるようになってほしいと思う。奨学金の支払いや行政の支払をキャッシュレスで支払えると助かる。(20代男性)</li> <li>■ 各家のインターネットを無料化し、一人暮らしの孤立化をなくしてはどうか。(30代男性)</li> <li>■ 自治体アプリの導入を支援してほしい。高齢者が長を務める自治会ではこのようなDXを発案するのは難しく、費用面の問題もあるため、市から支援があると助かる。(30代女性)</li> <li>■ 携帯の電波が山の方に行くにつれて無いので、行政と事業者で協力し解消してほしい。(40代男性)</li> <li>■ デジタル化も必要ですが、防災と高齢化のデジタルディバイド(格差)を考えると、電力がなくても意思疎通・処理ができる方法を残してほしい。(50代男性)</li> <li>■ 何でもデジタル化せず、簡単に短くわかりやすい情報を広めてほしい。(60代女性)</li> <li>■ 高齢者の私にとってインターネットを利用するのは難しいが、市政について知りたいこともあります。(70代女性)</li> </ul>	9

分類	主な意見	件数
子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供に対してのサポート、給付金などを手厚くしてほしい。(20代女性ほか)</li> <li>■ 校外区からの登下校にスクールバスの利用をできるようにしてほしい。(30代男性)</li> <li>■ 小学生の人数がどんどん少なくなり、今後このまま子育てできるのか心配です。(30代女性)</li> <li>■ 放課後児童クラブの利用条件が厳しい。(30代女性)</li> <li>■ 小矢部から来ると、子供の支援が少し残念に感じる。市役所の窓口は態度が冷たいし、検診も葉書で教えてもらえないのが二児の母としてはつらい。支援センターはとても活用させていただきました。(30代女性)</li> <li>■ 子どもにとってのびのび遊べる空間がほとんどない。もっと子供が遊べる場所がほしい。(30代女性ほか)</li> <li>■ 南砺市は子育て支援は充実しているが、環境が不十分と感じる。遊び場がなく、お店も学校のをそろえる際は砺波まで行かなければならない。(30代女性)</li> <li>■ 保育料が増えても良いので、保育園の持ち物のお茶、ごはん、布団を保育園で用意してほしい。(30代女性)</li> <li>■ コドモのアプリで保育園の普段の写真を購入できるようにしてほしい。(30代女性)</li> <li>■ 高校生の医療費を無償化してほしい。子育てサービスよりも養育費が少なくなるようなサポートの方がありがたい人が多いと思う。(30代女性)</li> <li>■ 新学期教育機関への提出書類を電子化してほしい。進学のために同じ書類を手書きしているので、簡素化もしくはマイナンバー活用で一元化できないか。保育園、小学校、中学校で情報を引き継ぎ、変更確認のみにできないか。(30代女性)</li> <li>■ 不妊治療を受けられる病院が少ない。(30代男性)</li> <li>■ 一人親世帯だけでなく、18歳未満の子供がいる家庭にもう少し目を向けてほしい。(40代女性)</li> <li>■ 南砺市は子育てが手厚いということで南砺市に家を建て、学童は砺波が18時までだが、南砺は延長すれば19時までということで決めたが、18時以降まで預ける人はほとんどおらず、何度も「子どもがかわいそう」と言われ、一生懸命迎えに行っているのが理解されず悲しい。形だけでなく、本当に必要としている人が安心して預けられるといいなと思う。(40代女性)</li> <li>■ 小学校に児童が少なく、友達が少ない。市内近隣の小学校との交流を増やし、一緒に遊べるくらいの仲の良さにしてほしい。(40代女性)</li> <li>■ 南砺市の保育園ではコドモを導入され、欠席連絡や保育園からのお知らせなどが非常に便利になった。小学校でもデジタル化が進んでほしい。(40代女性)</li> <li>■ PTA活動について、強制ではないといってもどこか強制的なのは暮らしていて苦痛です。(40代女性)</li> <li>■ かがやき保育園やどんぐり保育園ができ、学校はクーラーの設備が整い、アルビス・しまむら・ダイソー・コスモスも建設中ということで、本当に住みやすいし、子育てもしやすい地域だと思う。(40代女性)</li> </ul>	20

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市内にはニートと呼ばれる人が多数いるようだ。(60代男性)</li> <li>■子供の数が減っているのに、スクールバスに4年生からは乗れないのはなぜでしょうか。(70代女性)</li> <li>■国に働きかけ、文法より会話重視の英語教育をしてほしい。(70代男性)</li> </ul>	
--	---	--

分類	主な意見	件数
商工・ 企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地元に戻ってきたいと思うものの、働く場所がない。(10代男性)</li> <li>■若い人の働き口になる企業を呼び込んでほしい。(20代男性ほか)</li> <li>■paypayを積極的に市政に取り入れているが、恩恵があるのは極一部なので、商品券や市が独自に発行する金券の方が良いと思う。(20代男性)</li> <li>■市内に女性が働きたいと思う職業(アパレル、ファッション関係、食品関係、レストラン等)が増えると、若い女性の市外流出が防げると思う。(40代女性ほか)</li> <li>■南砺市にお店がない。もっと積極的に誘致すればよいと思う。(40代女性ほか)</li> <li>■住みやすい地域づくりを促すような施策を行うとともに、地域に根差した商工業を守る事にも取り組んでほしい。(50代男性)</li> <li>■働くところが無い。利賀のレヴォ、立野原のトレポーなどに魅力を感じてくる方もいるが、南砺市はPRが下手だと思う。(60代男性)</li> <li>■このままでよい。買い物も砺波市に行くので、近隣に少しあればよい。無理をしないで生活できるだけでいいのかなと思う。(60代男性)</li> <li>■生活環境が良くても、生活基盤を支える就業先など経済的な裏付けがないと若者は流出する。(60代男性)</li> <li>■地元商店が生き残れるよう、地元商店を利用する意識啓発が必要と思う。(70代男性)</li> <li>■最近テレワークによる労働形態が増えており、地方でも仕事ができるようになってきているので、建物の提供や法人税の優遇により誘致できないか。(70代男性)</li> <li>■自然豊かで住むには最高に良いが、飲食店関係が少なく寂しい。(70代女性)</li> </ul>	29

分類	主な意見	件数
人口減少・ 少子化・ 高齢化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■祭などの行事の後継者が不足しており、自分も地域の祭に協力しているが、このままでは数年後には祭ができないと思う。(20代男性)</li> <li>■南砺市の人口減少、高齢化は直近の問題で、予防してほしいが、外国人受け入れなど異文化で乱されたくない。(20代男性)</li> <li>■人口が増加する施策を望みます。(20代男性ほか)</li> <li>■もっと若者が住みたいと思うまちづくりを進めていかないと、若者の流出は止まらないと思う。(20代女性ほか)</li> <li>■子供が少なくこの先不安になる。若い女性はみんな市外へ行ってしまい残っているのは30代後半以降の独身男性が多い。(30代女性)</li> </ul>	21

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■家の近所に一人暮らしの老人や空き家が増え、私も家の管理をしていますが、全く持続可能とは思えない南砺市の暮らしに将来希望がもてません。(50代女性)</li> <li>■高齢化への対策、準備をしてほしい。(50代女性)</li> <li>■高齢者よりも10代～30代の若者を中心とした市政を望みます。(60代男性)</li> <li>■市民が市民を助けるという美名で行政がすることを肩代わりさせず、高齢化社会の中でもっと行政が実施することがあると思う。(60代男性)</li> <li>■子供たちが南砺市に帰らない状態の原因をもう少し現実的に考えて市政に反映し、少しでも出て行った子供たちが戻れる市にしてほしい。(60代女性)</li> <li>■人口減少や少子化について、具体的な対策や改善が示されていないと思われる。(60代男性)</li> <li>■若い世代が定住しないため、少子高齢化が益々進展しており、市政はこの課題を更に検討していただきたいと思う。(70代女性)</li> </ul>	
--	---	--

分類	主な意見	件数
税金・ 公共料金	<ul style="list-style-type: none"> <li>■水道料金を安くしてほしい。(10代男性ほか)</li> <li>■他市に比べると上下水道料金が高い。(30代男性)</li> <li>■土地・家屋の税金が高いので支払が大変です。(50代女性)</li> <li>■無理をして税金が高くなると困るので、無理をしないでほしい。(60代男性)</li> </ul>	5

分類	主な意見	件数
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>■家の周りの街灯が少なく、夜間が暗く怖い。(30代男性)</li> <li>■アートなオブジェを町に設置し地域を盛り上げてほしい。(30代女性)</li> <li>■地域の行事が多く、家を空ける日が多いため育児に支障がある。商工会、若連中、消防など最低限で行ってほしい。(30代女性)</li> <li>■祭りごとは3～4年に1回でよいと思う。(40代女性)</li> <li>■よいやさ祭で有料駐車場がいっぱいで待たされる観光客の方がいて申し訳なく感じた。せっかく来てくれたお客さんが不快な思いをしないよう工夫できないものかと感じた。(40代女性)</li> <li>■年功序列と男尊女卑が未だに根付いていると思う。(40代女性)</li> <li>■県外からきて何年も経ちますが、話せる人は一人も作っていませんし、いないままになりそう。(50代女性)</li> <li>■南砺市は頑張っていると思うが、みんなが参加したいという雰囲気を感じられず、参加しても疎外感があり、私はいつの間にかやめてしまっている。人の事をとやかく言う雰囲気も苦手。なので育った町だけど愛着が湧かない。(50代女性)</li> <li>■地域の行事は置き去りになる人がいるのではないか。(60代男性)</li> <li>■地区の老人会は加入者が減少し、自己中心的な考えが多くなっている。(60代女性)</li> </ul>	15

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地元は嫌いでないが、魅力があるかと聞かれたらすぐに答えられない。(60代男性)</li> <li>■ どうしたら地域の人がやる気をだせるのか？(70代女性)</li> <li>■ 補助金の制度が充実してきており、手を挙げた地区がその恩恵に浴することができるのは、地区のやる気を引き出す反面、格差の広がりが懸念される。(70代男性)</li> </ul>	
--	---	--

分類	主な意見	件数
土地	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 山、田について管理ができないので手放したいと思っているが、何もできない。(40代女性)ほか</li> <li>■ 放置された畑が増え、帰化植物による生態系の変化が心配されるため、除草に心がけていただければと思う。(50代女性)</li> <li>■ 南砺市として土地を安く購入できるシステムを作ってほしい。(60代男性)</li> </ul>	5

分類	主な意見	件数
道路・除雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 昨シーズンの除雪体制は後手にならないように動いている感があり安心できた。これからも続けてほしい。(20代男性)</li> <li>■ 除雪・消雪ともによくされておりとても走りやすい。(30代男性ほか)</li> <li>■ 融雪の井戸に補助金がほしい。(30代女性)</li> <li>■ 福野の小学生の通学路に極端に狭い場所が多いように感じる。見ていて危険を感じることがある。(30代女性ほか)</li> <li>■ 福光福野間の融雪区間が中途半端なのですべて融雪にしてほしい。(30代男性)</li> <li>■ 家の前の流雪溝の蓋が非常に重く、女性や年寄りでは開けられないので、軽い素材のものに変えてほしい。(30代女性)</li> <li>■ 高儀駅から直進の道がガタガタになっている。(40代男性)</li> <li>■ 自転車専用の道路がほしい。(40代男性)</li> <li>■ 道路が多く、舗装も必要ないと思う箇所もあるので、長期の維持管理費用を考え、中止や廃止を勧める。(40代男性)</li> <li>■ 大雪の時の除雪をこまめにしてほしい。(40代女性)</li> <li>■ 道路が着実に舗装されていき、まちがキレイです。(40代女性)</li> <li>■ 毎年大通りに出るまで除雪できずに会社を休む日があるので除雪に力をいれてほしい。(50代女性)</li> <li>■ 道路の白線や停止線が消えたままになっている箇所が多く、壊れたままのガードレールや設置されていない川沿いの道もある。安全に走りやすい道路になるよう、改善に努めてほしい。(50代女性ほか)</li> <li>■ 毎年除雪にムラがあり、毎年、頼まなければ除雪されないのはとても不思議です。(50代女性)</li> </ul>	47

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市道の草刈りや溝さらえなど、地元住民だけでは手に負えなくなりそうなので、市から人を派遣してもらいたい。(50代男性)</li> <li>■ 雪が積もると雪のやり場がなく、溶けなくて交通手段がとざされる日がある。(60代女性)</li> <li>■ 積雪期に融雪装置からほとんど水がでないので、水源を確保してほしい。水量に地域の格差があるように思う。(60代男性)</li> <li>■ 県道整備に関して市側が県への要請に対して十分に力を発揮していないのが不満。(70代男性)</li> <li>■ 除雪において行政は住民へのサービス意識が悪いと思う。(70代男性)</li> <li>■ 新しくできた道は歩道でも段差がなく、歩きやすいですが、まだまだ歩きにくい道が多く、安心して歩ける歩道を増やしてほしい。(70代女性)</li> <li>■ 河川内の草が成長して木になっているものもあるので、除草してほしい。(70代女性ほか)</li> </ul>	
--	--	--

分類	主な意見	件数
農林業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 農業を仕事にしており、南砺市に来たからこそできる仕事だと思っているが、農業で新しいことにチャレンジしている人を応援する補助金があればよいと思う。(30代女性)</li> <li>■ 跡取りがない兼業農家への支援をしてほしい。(30代女性)</li> <li>■ 農地を維持できない場合、どうすればいいかわからない。(30代女性)</li> <li>■ 農業で採算がとれるようにする事業に取り組んでほしい。(60代男性)</li> <li>■ 公社化、雇用と収入の安定、持続可能な組織といった農業の担い手対策が必要。(60代男性)</li> <li>■ 剪定枝の持ち込み場所を設けていただき大変助かった。(70代女性)</li> <li>■ 屋敷林維持の補助も含めて抜本的な検討をしてほしい。すべて一律で考えるのではなく、指定屋敷林を登録など、メリハリのある効果的な屋敷林対策を検討してほしい。(70代男性)</li> <li>■ 剪定枝の収集は5月末ではなく雪で折れた枝を処理する3月に必要です。(70代男性)</li> </ul>	9

分類	主な意見	件数
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 悩みがあっても相談できる人がいない方を対象に相談できる環境や、専門家や相談員を増やしていただけると、助かる人や心の支えになる人がたくさんいると思う。電話やLINEで直接顔を合わせず行えるものも需要があると思う。(20代女性ほか)</li> <li>■ 家庭でも地域でも、高齢者特有の価値観が子供たちに良くない影響を与えそうなので、ジェンダー、長子尊重、迷信による子育てへの干渉といったバイアスを教室やサロンで和らげる取組をしてほしい。(30代女性)</li> <li>■ 分譲マンションを誘致し、高齢者が集まって生活してもらおう環境があれば行政サービスを</li> </ul>	11

	<p>受けやすいと思う。(40代女性ほか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■自身が難病でフルタイム就業することができないが、身体障がい者でもないのに年金や手厚い保護は受けられず、この先が不安です。(50代女性)</li> <li>■障がい者ですが、見た目ではわからないので地域の役員など、立場が辛いことをせざるを得ない場合がある。(60代女性)</li> <li>■高齢者も若者も障害のあるなしにかかわらず、一緒に暮らせる街にしてほしい。(60代女性)</li> <li>■体の不自由は人が安心して出掛けることができるように、障がい者用のトイレやスロープ、ベンチ、車いす等の設置が進んでほしい。(60代男性)</li> <li>■精神障がい者の住みやすい環境を今以上に良くしてほしい。(70代女性)</li> </ul>	
--	--	--

分類	主な意見	件数
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>■防災などの履歴保持期間が短いので、せめて1日(24時間)新着に残るようにしてほしい。(30代女性)</li> <li>■防災無線の内容が防災アプリで読めるようにしてほしい。(50代女性)</li> <li>■防災無線の聞き直しサービスを知らなかったため、緊急時の連絡先を貼っておけるよう、紙にまとめたものがあつたらいいと思う。(50代女性)</li> <li>■中央防災センター(防災装備倉庫)みたいな設備を準備して安心して安全な南砺市をアピールしてほしい。(50代男性)</li> <li>■防災無線が聞こえない。内容が聞き取れない。(60代女性ほか)</li> <li>■2年前に熊が出た時、こんな時こそ無線で知らせるべきでした。家のすぐ近くにいたのに全く知らなくて、畑にでたりしていました。(70代女性)</li> </ul>	8

分類	主な意見	件数
市政・まちづくり全般・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■富山市に通勤していますが、渋滞で呉西からは不便。「コンパクトシティ」は市外からしたら意味ありません。(20代男性)</li> <li>■市民が南砺市を誇りに思える機会を多くしてほしい。(30代男性)</li> <li>■南砺市ならではの独自性のある事業も良いが、実際にそれが市民のためになっているか疑問なものもある。どうしても市がやらなくてはならない事業がどうかを選定し、一定の重心を置いていくことが大切な時期なのではないかと思う。(30代男性)</li> <li>■要望事項の開示と今後の方針を掲示し、市民に伝えてほしい。(40代男性)</li> <li>■未来像を明示してほしい。それによって残りたいと思う方は残るし、離れたい人は離れる。夢ではなく現実を明示してほしい。(40代男性)</li> <li>■南砺市はいろんな文化があって良いところです。その文化に関わる人が理解し、誇りをもつこと。複数の文化と文化の関係が良い関係を築けること。そしてみんなが手を取り合って前に進んでいける。そんなチームができればいいですよ。(40代男性)</li> <li>■様々な方向から考えを取り入れ、固定観念に囚われない仕組みづくりをしてほしい。</li> </ul>	30

	<p>(40代女性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一流の田舎暮らしと言っているが、何を以て一流なのか全くわからない。(40代男性)</li> <li>■ 催し物はほとんどが土、日、祝だが、土、日、祝は仕事を休むことができないため、金曜か月曜も含めてほしい。(50代女性)</li> <li>■ 「南砺市は世界遺産があるからお金持ち」(金沢市の同僚の意見)。「南砺市の人(は)は温かい(砺波や高岡に比べ)から休みの日でも南砺市に買い物に来るよ」(←小矢部市の同僚の意見。)(50代女性)</li> <li>■ 南砺市に住む人たちは、大人しい性格の人が多いと思うが、基本的に皆温かい雰囲気を持っていると思う。仕事は違う地域に行っているからこそ南砺市の何ともいえない良さを感じる。この雰囲気がずっと続いてほしい。(50代女性)</li> <li>■ リーダーとなる人の年齢を若くし、新しいアイデアを取り入れてほしい。(50代女性)</li> <li>■ 一歩ずつ着実に前に進んでいると思えるような市政を続けてほしい。(60代男性)</li> <li>■ 砺波市の発展に比べ、南砺市の発展度合いは見劣りする。(60代男性)</li> <li>■ いろんな事業について費用対効果を厳密に考慮してほしい。高校生発案の企画実現に1000万円かけていたが、もったいないと感じる。(60代男性ほか)</li> <li>■ 31地区の地域づくり協議会をトップが巡回し、市民とのコミュニケーションの場があるとよい。(60代男性)</li> <li>■ 5月初めに緑の羽根募金の依頼があったが、容易に市民から募金を徴収するようなことは考えてほしい。(70代男性)</li> <li>■ 市が進める政策を市民の人たちが理解できていないのではないか。(70代男性)</li> </ul>	
--	--	--

分類	主な意見	件数
窓口・職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 若者を積極的に採用してほしい。(30代男性)</li> <li>■ 行政センターで対応して下さる方が、ほんの一部ですが仏頂面だったり、相手に寄り添う気持ちが少ない対応だったりすることがあり、わからないことを聞きながら手続きする際にとっても気を遣った。(お互いですが)最低限のマナーが必要ではないかと思う。(30代女性)</li> <li>■ 市役所、病院へ行くことがあります。挨拶が少なく感じる。(30代女性ほか)</li> <li>■ 市役所が支所として分かれたら、福光はいいが、他の地域は大変になっている。窓口の方の対応があまり良いとはいえない。(40代女性)</li> <li>■ 人事異動で担当者が変わると、事業への熱意が申し送りされず、事業が中途半端になっている。(50代女性)</li> <li>■ 不慣れな年配者にも丁寧に窓口サービスができていて、昭和の時代と比べて非常に良くなっていると感じる。(60代男性)</li> <li>■ 職員の私語が多いのが不愉快です。(60代女性)</li> <li>■ 職員のプロ意識が足りないように感じる。(60代女性)</li> <li>■ 市役所の電気が遅くまで点いたり、メンタルの不調で休んでいると聞いたりすると、こ</li> </ul>	14



	<p>れ以上行政サービスを要求するのは無理ではないかと思う。(60代女性)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 市政に女性が少なく、女性のトップを嫌う人たちが大勢いることがおかしいと思う。(70代女性)</li><li>■ 市への問合せに対していつも満足な対応を頂けない。(70代女性)</li></ul>	
--	---	--